

土工標準図並びに構造物標準図一覧表

番号	図面
(土工)	
1-1	土工標準図 林業専用道
1-2	土工標準図 2級林道
1-3	土工標準図 軽車道
1-4	土工標準図 3級林道
1-5	土工標準図(横断勾配外)
(土留工・擁壁工)	
2-1	コンクリート擁壁 標準形式
2-2	コンクリート擁壁工 重力式
2-3	コンクリート擁壁工 2段式擁壁
3-1	コンクリートブロック積 標準形式
3-2	コンクリートブロック積工
4	木製校倉式土留工
5	木製ブロック積工
6	方格木枠工
7-1	ふとんかご積工
7-2	二重布団かご工
8	コンクリート土のう積工
9-1	カゴ枠積工 K08型
9-2	カゴ枠積工 K12型
9-3	カゴ枠 組立図
10-1	巨石練積工 控0.4~0.6m
10-2	巨石練積工 控0.6~0.8m
11	土台基礎
12	じゃかご工
13-1	木製枠工 標準図
13-2	木製枠工 早見表

番号	図面
15	
(排水施設工)	
16	C.G.P暗渠工
17	H.P暗渠基礎工
参考	H.P暗渠工 土かぶり厚
18-1	無孔P.E.P暗渠工
18-2	有孔P.E.P暗渠工
19	結束暗渠工
20	
21	
22	
23-1	グレーチング横断溝L型
23-2	グレーチング横断溝L型 2連式
23-3	グレーチング T-14 300用
23-4	グレーチング T-14 400用
23-5	グレーチング T-14 500用
24	
25	木製路面排水工
参考	横断溝の布設勾配
27	
28	
29	
30	素堀側溝
31	コンクリート側溝
32-1	R.C.U側溝 添えコン有
32-2	R.C.U側溝 添えコン無
33	R.C.L側溝

番号	図面
34	
35	
36	
37-1	コルゲートU字フリューム A型
37-2	コルゲートU字フリューム B型
38	鉄筋コンクリートフリューム
39	P型U字溝
40	
41	
42	
43	流木除け工 H型
44-1	集水枡工 SM80
44-2	集水枡工 SM120
45	飛水防止用作工物
46	
47	
48	
(柵工・筋工)	
49-1	木柵工(A) 柵高1.0m
49-2	木柵工(C) 柵高1.0m控無
49-3	木柵工 柵高0.45~0.55m
50	丸太筋工 横木3本・鉄筋杭
51	
52	
53	
(路盤工)	
54	コンクリート路面工

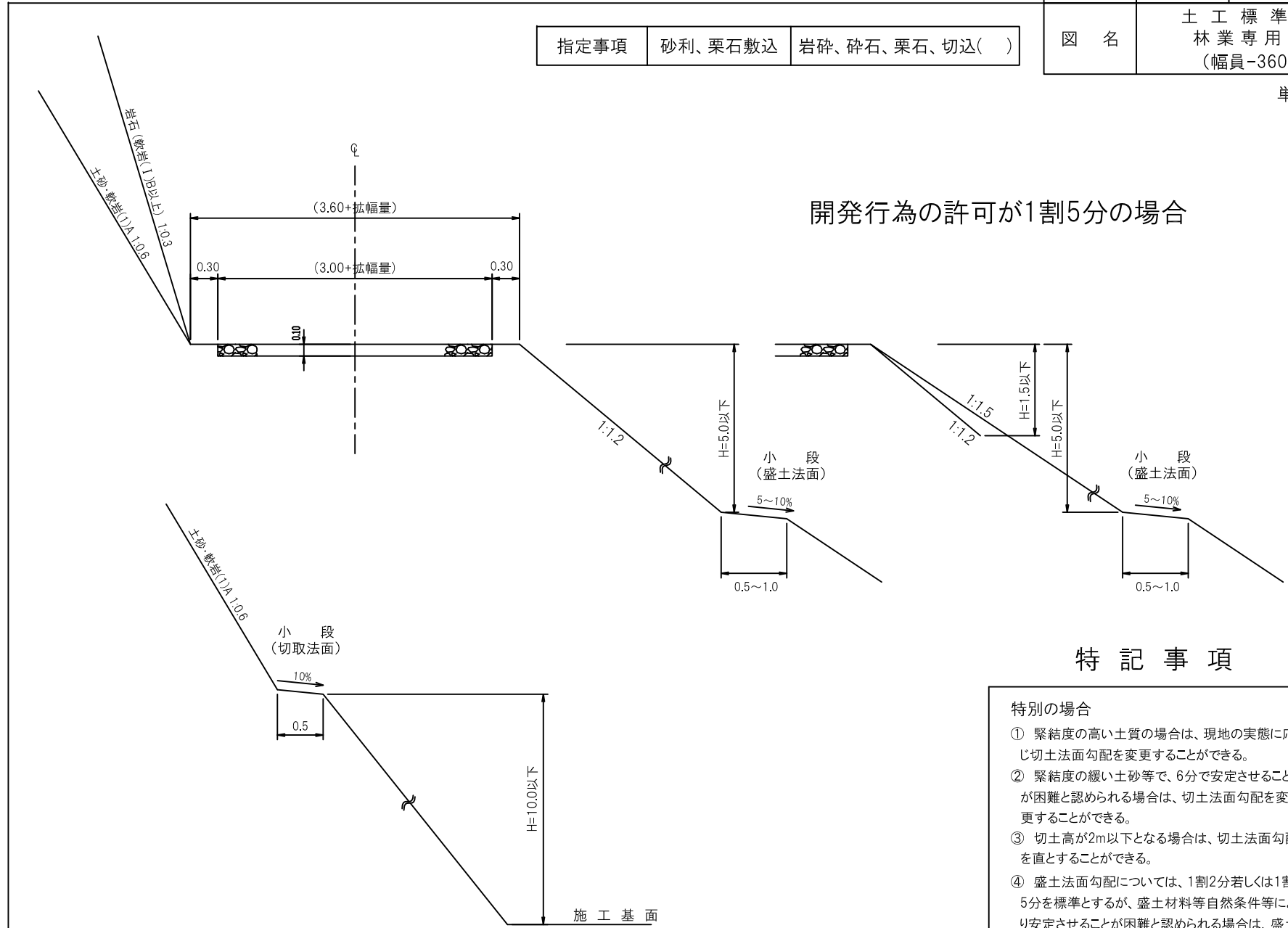
番号	図面
55	丸太路盤基礎工
56	木製カーブ
57	
58	
59	
(法面保護工)	
60	吹付種子配合表
61	厚層基材吹付工
62	客土吹付工
63	種子吹付工
64-1	特殊モルタル吹付工 A
64-2	特殊モルタル吹付工 B
65	植生ネット伏工
66	
67	
68	
(道路付属・その他)	
69-1	林道標識 起点(A型)
69-2	林道標識 起点(B型)
69-3	林道標識 起点(C型)
70	林道標識 距離標
71	カーブミラー設置工
72	木製ガードレール
73	
74	
75	
76	

図面番号	1-1	令和3年
図名	土工標準図 林業専用道 (幅員-360)	

指定事項	砂利、栗石敷込	岩砕、碎石、栗石、切込()
------	---------	----------------

単位 m

開発行為の許可が1割5分の場合



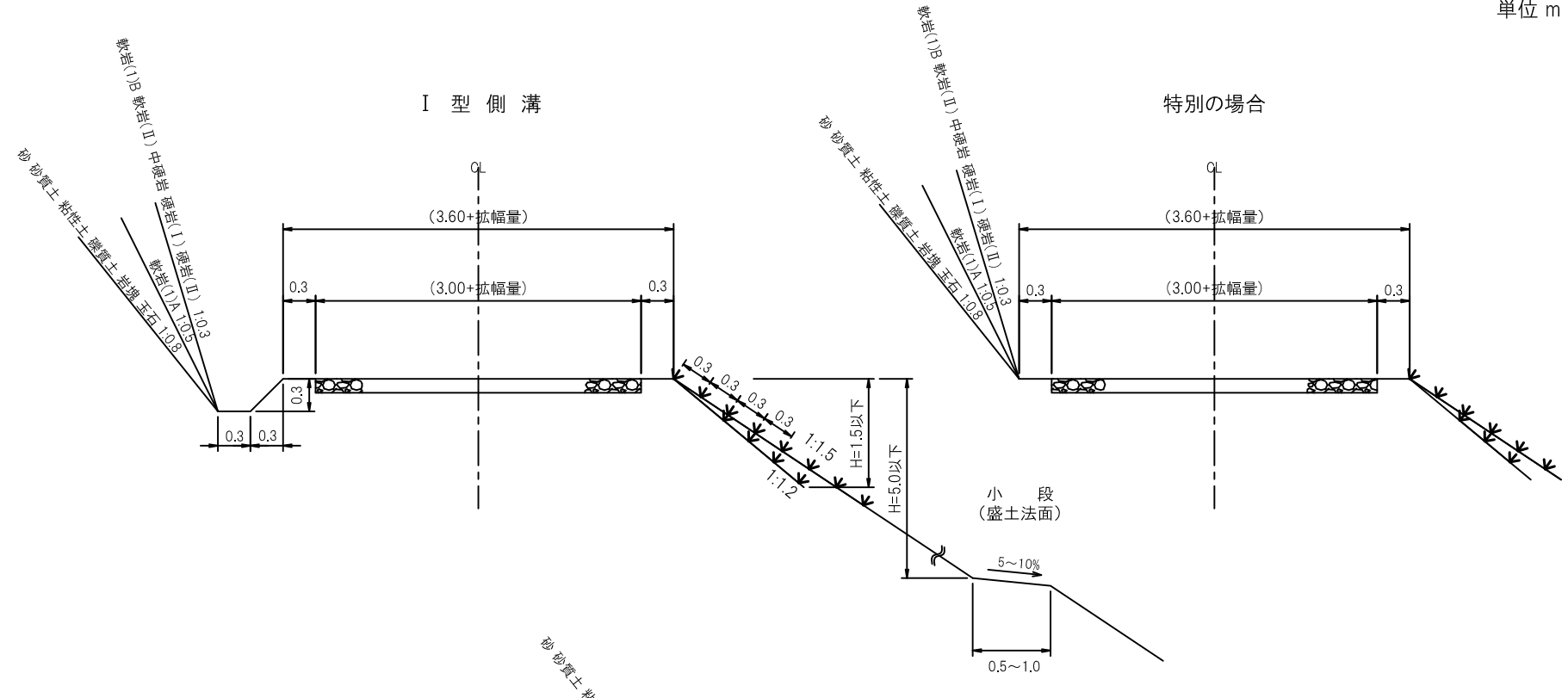
特記事項

- 特別の場合
- ① 緊結度の高い土質の場合は、現地の実態に応じ切土法面勾配を変更することができる。
 - ② 緊結度の緩い土砂等で、6分で安定させることが困難と認められる場合は、切土法面勾配を変更することができる。
 - ③ 切土高が2m以下となる場合は、切土法面勾配を直とすることができる。
 - ④ 盛土法面勾配については、1割2分若しくは1割5分を標準とするが、盛土材料等自然条件等により安定させることが困難と認められる場合は、盛土法面勾配を変更することができる。

図面番号	1-2	令和3年
図名	土工標準図 2級林道 (幅員-360)	

指定事項	砂利、栗石敷込	岩砕、碎石、栗石、切込()
------	---------	----------------

単位 m



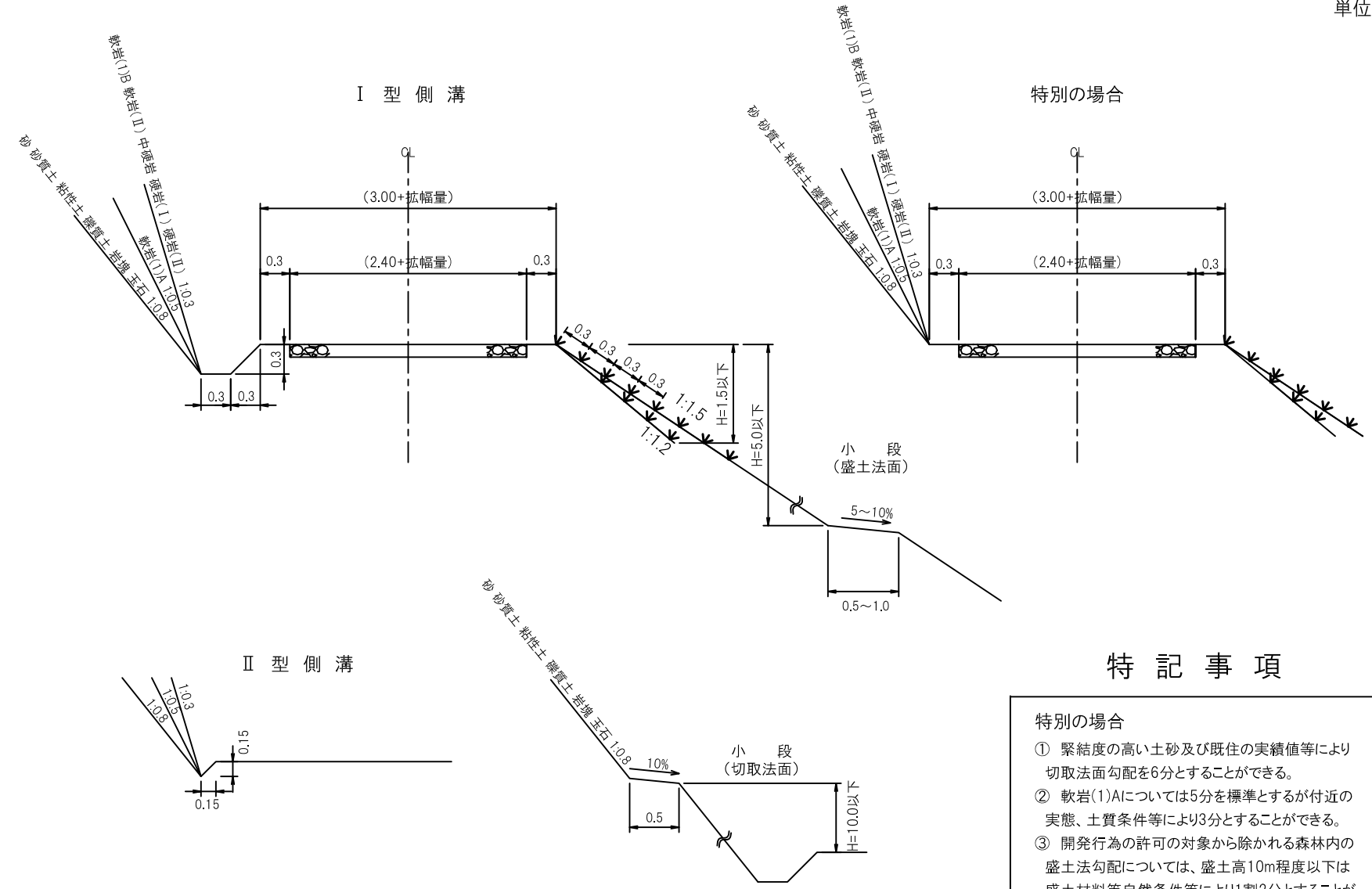
特記事項

- 特別の場合
- ① 緊結度の高い土砂及び既往の実績値等により切取法面勾配を6分とすることができる。
 - ② 軟岩(1)Aについては5分を標準とするが付近の実態、土質条件等により3分とすることができる。
 - ③ 開発行為の許可の対象から除かれる森林内の盛土法勾配については、盛土高10m程度以下は盛土材料等自然条件等により1割2分とすることができる。

図面番号	1-3	令和3年
図名	土工標準図 軽車道 (幅員-300)	

指定事項	砂利、栗石敷込	岩砕、碎石、栗石、切込()
------	---------	----------------

単位 m



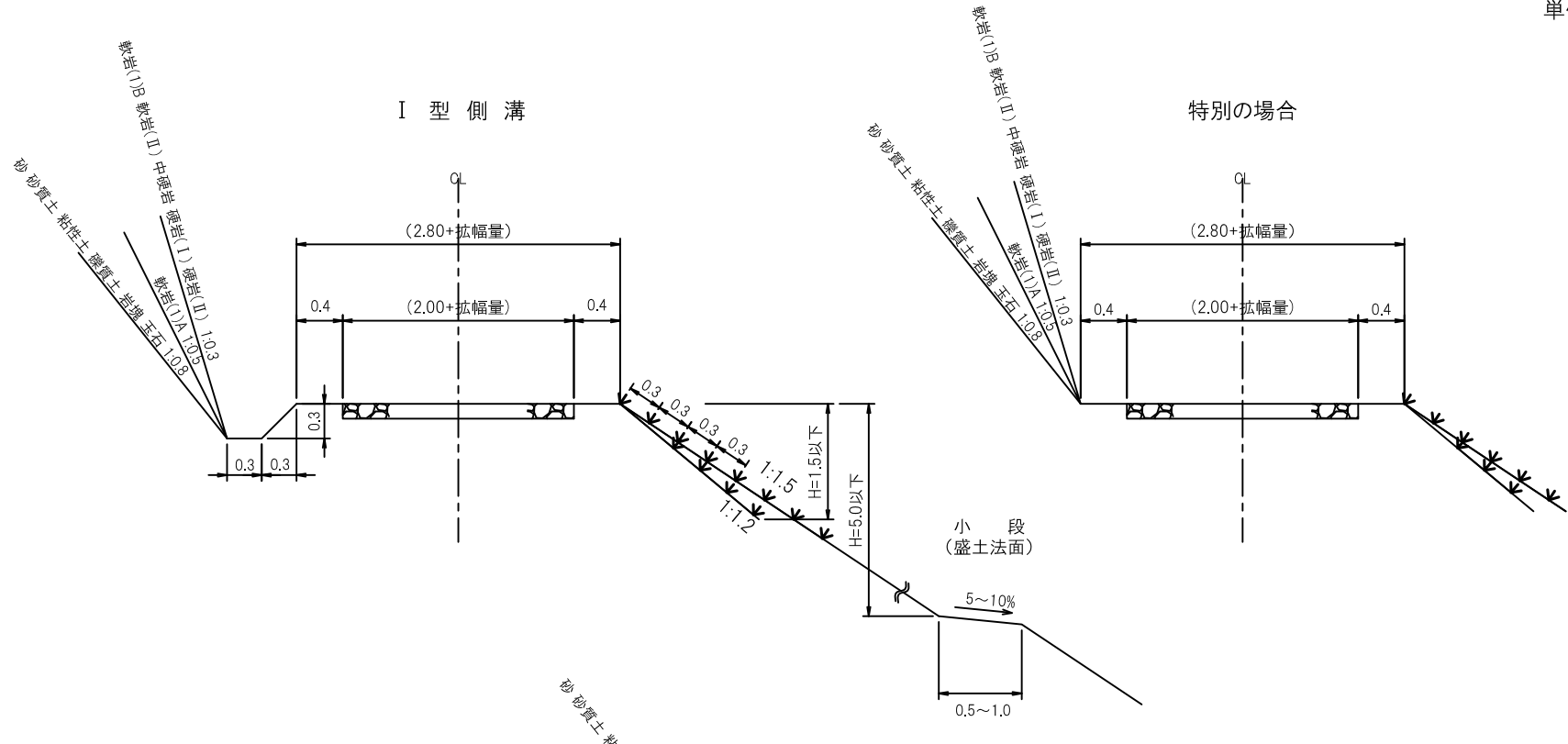
特記事項

- 特別の場合
- ① 緊結度の高い土砂及び既往の実績値等により切取法面勾配を6分とすることができる。
 - ② 軟岩(1)Aについては5分を標準とするが付近の実態、土質条件等により3分とすることができる。
 - ③ 開発行為の許可の対象から除かれる森林内の盛土法勾配については、盛土高10m程度以下は盛土材料等自然条件等により1割2分とすることができる。

図面番号	1-4	令和3年
図名	土工標準図 3級林道 (幅員-280)	

指定事項	砂利、栗石敷込	岩砕、碎石、栗石、切込()
------	---------	----------------

単位 m



特記事項

- 特別の場合
- ① 緊結度の高い土砂及び既往の実績値等により切取法面勾配を6分とすることができる。
 - ② 軟岩(1)Aについては5分を標準とするが付近の実態、土質条件等により3分とすることができる。
 - ③ 開発行為の許可の対象から除かれる森林内の盛土法勾配については、盛土高10m程度以下は盛土材料等自然条件等により1割2分とすることができる。

片勾配

曲線半径がきわめて大きい場合を除き、設計速度、曲線半径、地形の状況を勘案し、8%以下の片勾配を附する。

	1級(2車線),1級A	1級B,2級,3級	片勾配
曲線半径	35m未満	10m未満	8%以下
	—	10m以上16m未満	6%以下
	35m以上40m未満	16m以上20m未満	5%以下

- (1) 1級(2車線)、1級Aの30m未満及び1級B、2級、3級の15m未満の場合は、摩擦係数を増大させた場合に対応する数値である。
- (2) 片勾配のすりつけは緩和区間とする。
- (3) 積雪寒冷の度の著しい地域等においては6%を限度としてもよい。
- (4) 林業専用道については原則片勾配を附さない。

附記

自動車道、2級、3級については、設計の段階では省略するが、施工の段階では必要に応じて設けるものとする。但し横断面図には表さない。

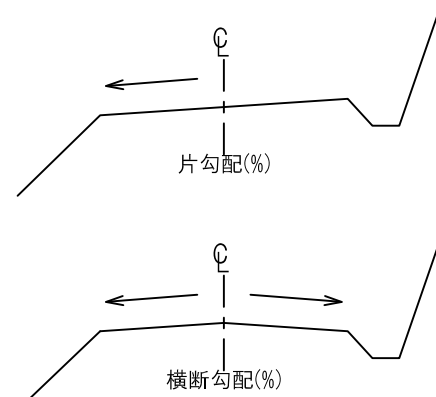
縦断線形における縦断曲線の長さ

区分	設計速度 km/h			
	40	30	20	15
設置延長	35m	25m	20m	20m

平面線形における拡幅の緩和距離

区分		緩和区間	
		内側	外側
1級	A	8m	8m
	B	6	8
2級	A	6	8
	B	6	8
3級	A	4	4
	B	4	4
林業専用道		8	8

* 外側欄は外側に拡幅を設けた場合



横断勾配

(1) 片勾配を附する場合を除き下表を標準とする。

区分	横断勾配(%)
砂利道	5以下
セメントコンクリート舗装道	1.5以上2.0以下
アスファルトコンクリート舗装道	1.5以上2.0以下

附記

2級、3級の自動車道については、設計段階では省略するが、施工の段階では必要に応じて設けるものとする。但し、横断面図には表さない。

合成勾配

(1) 合成勾配は下表を標準とする。

区分	合成勾配(%)	
1級	2車線のもの	別途計算
	1車線のもの	14
2級	16	
3級	18	

(1) 次式により算定する。

$$S = \sqrt{(i^2 + j^2)}$$

S=合成配合(%)

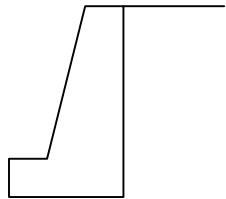
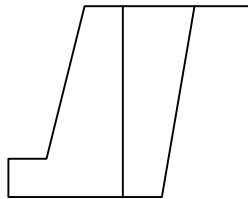
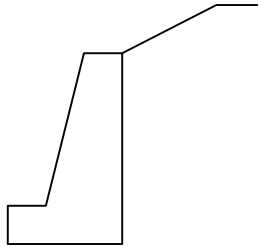
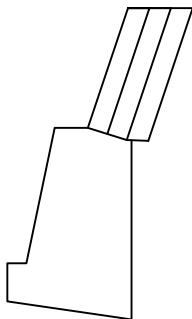
i=横断勾配または片勾配(%)

j=横断勾配(%)

図面番号	2-1	平成23年
図名	コンクリート擁壁工 標準形式	

指定事項	コンクリート	1号 40mm 18N/mm ²
	水 抜	塩ビ管(VU) φ75mm薄肉管 4m ² /1箇所以上
	基礎材	φ5~15cm 割栗石

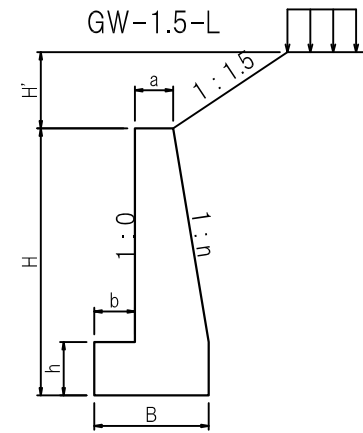
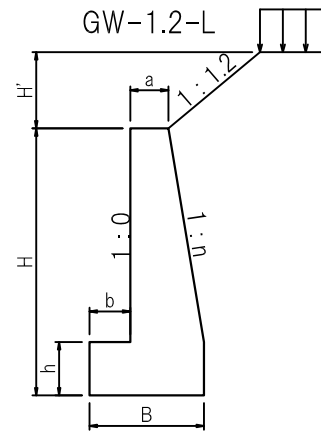
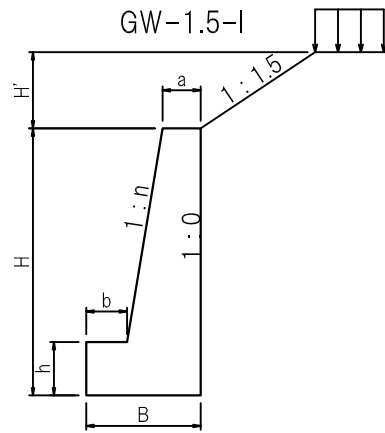
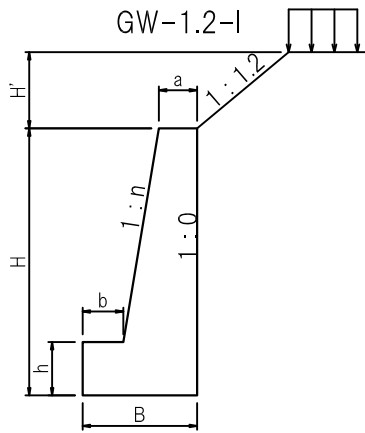
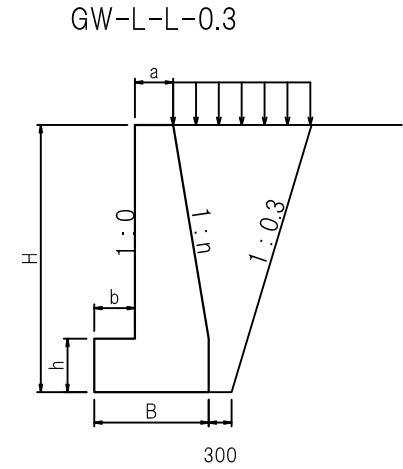
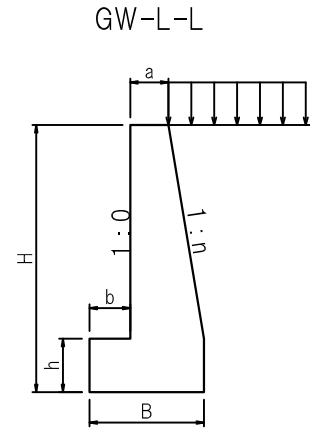
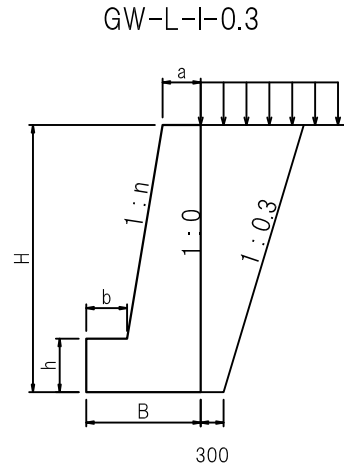
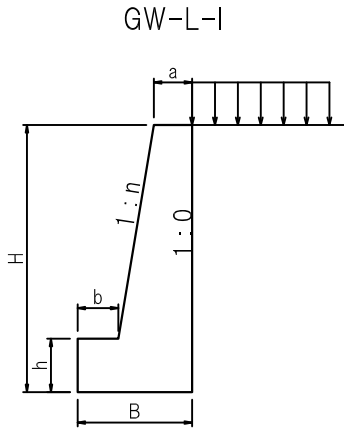
標 準 形 式

型 式	路 側 擁 壁		盛土法止擁壁
	盛 土	地山接近	
重力式 コンクリート	 GW-L-I GW-L-L	 GW-L-I-0.3 GW-L-L-0.3	 GW-1.2-I GW-1.5-I GW-1.2-L GW-1.5-L
2段式 擁 壁	 TW-L-N		

図面番号	2-2	平成19年
図名	コンクリート擁壁工 標準図(2)	

重力式コンクリート擁壁

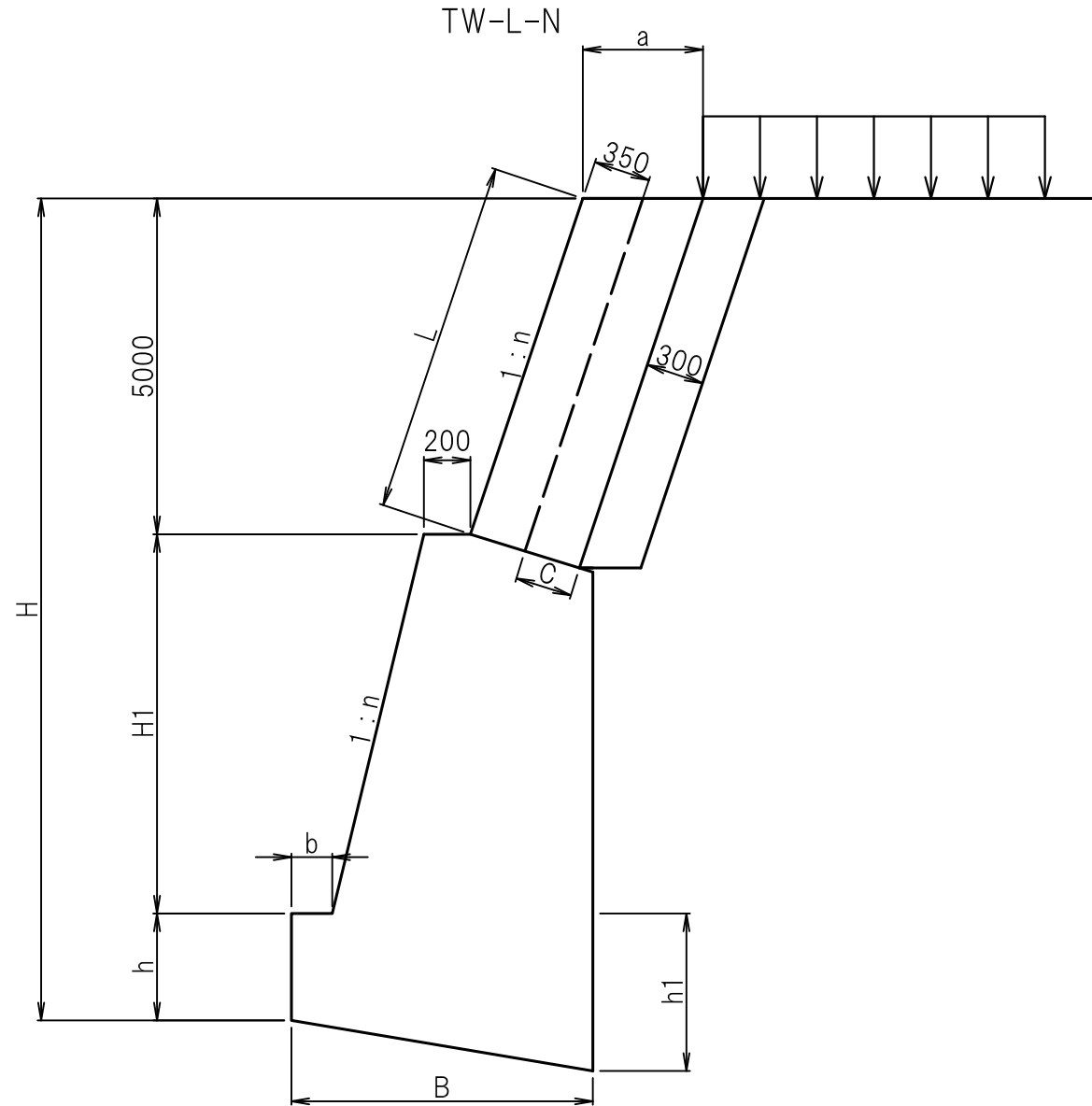
単位 mm



図面番号	2-3	平成19年
図名	コンクリート擁壁工 標準図(3)	

2 段 式 擁 壁

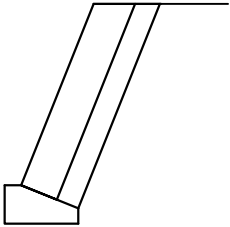
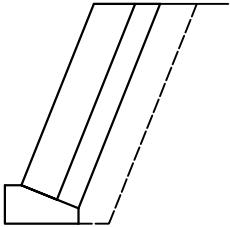
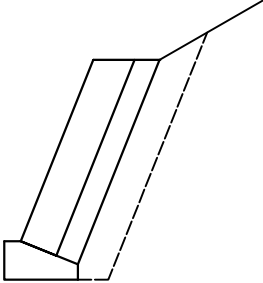
単位 mm



図面番号	3-1	平成23年
図名	コンクリートブロック積 標準形式	

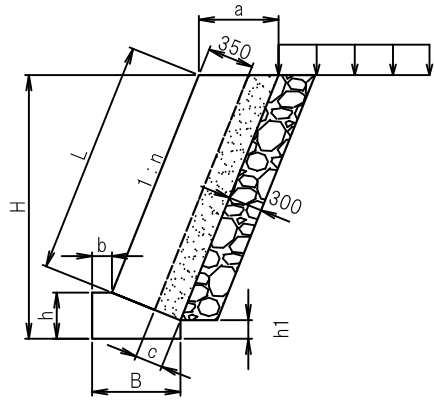
指 定 事 項	胴込・裏込	6号 25(20)mm 18N/mm ²
	水 抜	塩ビ管(VU) φ75mm薄肉管 4㎡/1箇所以上
	裏込材	φ3~15cm 岩砕 φ0~4cm 砕石(RC)
	基礎コンクリート	4号 25(20)mm 18N/mm ²
	基礎材	φ5~15cm 割栗石

標準形式

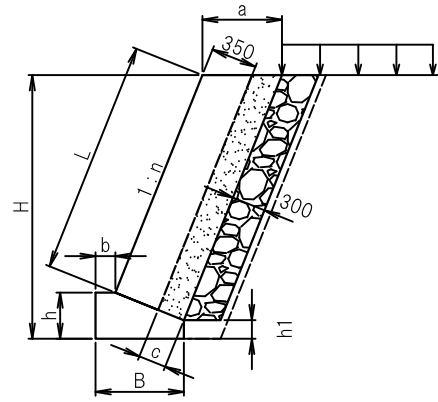
型 式	路 側 擁 壁		切土法止擁壁
	盛 土	地山接近	
コンクリート ブロック	 <p>BW-L-N</p>	 <p>BW-L-N-0.3</p>	 <p>BW-1.2-N-0.3 BW-1.2-N-0.6 BW-1.2-N-0.3(裏コンなし) BW-1.2-N-0.6(裏コンなし)</p>

図面番号	3-2	平成19年
図名	コンクリートブロック積 標準図	

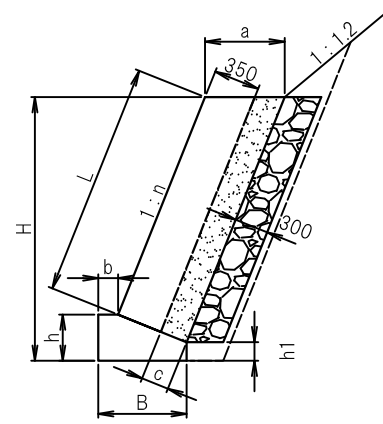
BW-L-N



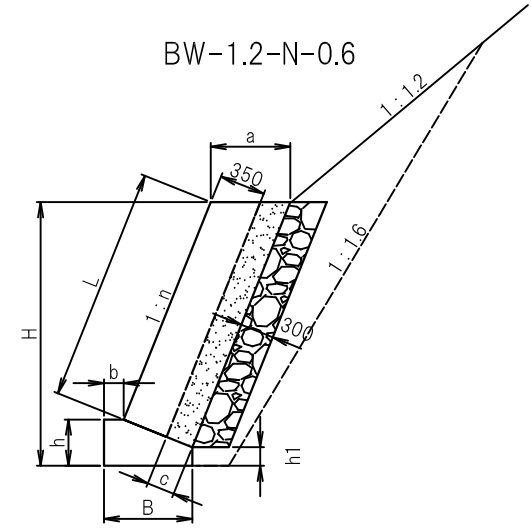
BW-L-N-0.3



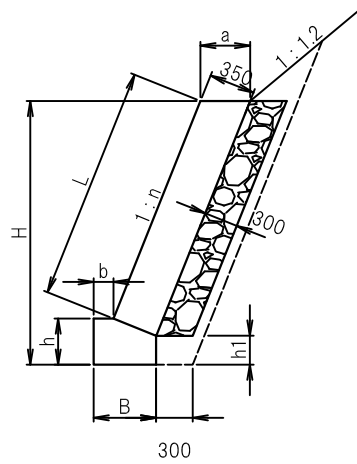
BW-1.2-N-0.3



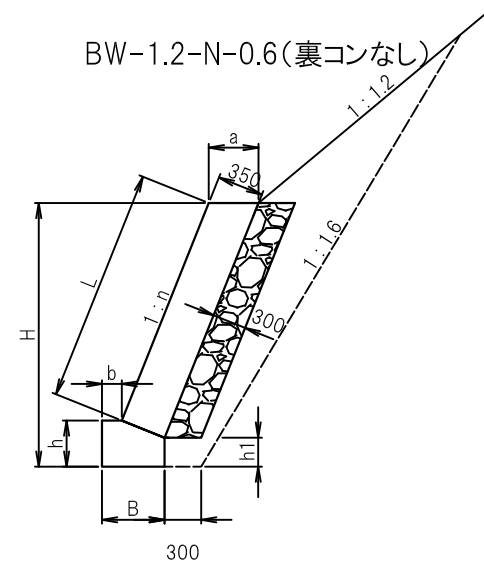
BW-1.2-N-0.6



BW-1.2-N-0.3(裏コンなし)



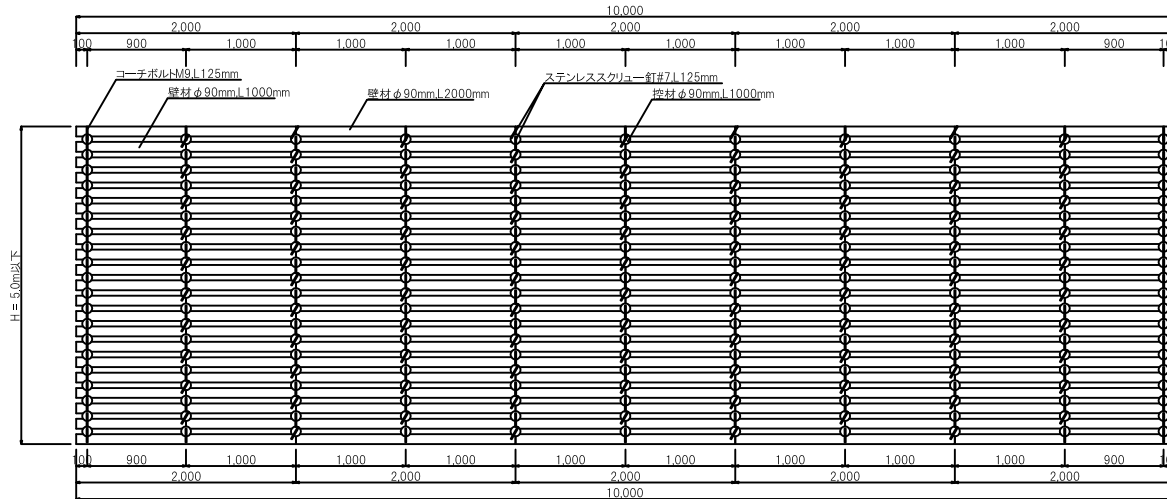
BW-1.2-N-0.6(裏コンなし)



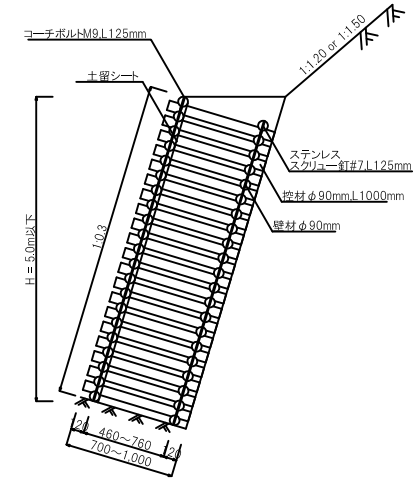
図面番号	4	平成13年
図名	木製校倉式土留工 標準図	

単位 mm

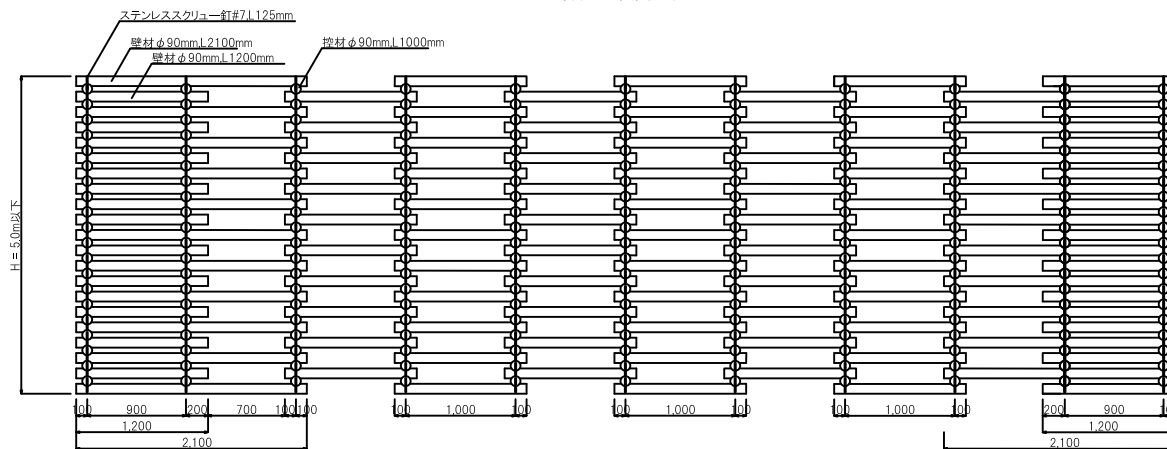
正面（展開）図



断面図



背面（展開）図



名 称	規 格	数 量		単 位	摘 要
		盛土タイプ	切土タイプ		
壁材(前)	Φ90 L=1,000mm	6.8		本	防腐処理材
	Φ90 L=2,000mm	33.2		本	防腐処理材
壁材(後)	Φ90 L=1,200mm	29.3		本	防腐処理材
	Φ90 L=2,100mm	7.3		本	防腐処理材
控材	Φ90 L=1,000mm	75.1		本	防腐処理材
	Φ90 L=700mm		75.1	本	防腐処理材
スクルー釘	L=125mm	53.17		本	
コーチボルト	Φ9 L=125mm	5.0		本	溶融亜鉛鍍金
土留シート	T=5 L=1,000mm	11.0		m ²	ヤシマット(ロス含む)
中詰土		7.8	5.0	m ³	現場発生土

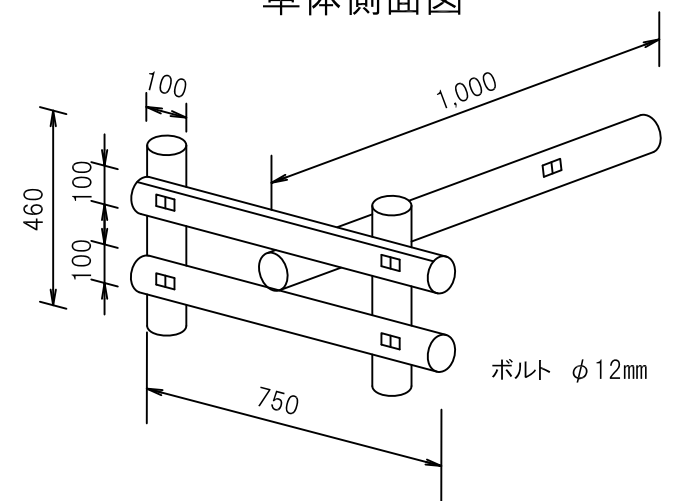
中詰材料は、土質により現場発生土が使用できない場合がある。
 なお、排水等を期待し、玉石・岩幹等を中詰材料とした場合は土留シートは不要とする。

注入前処理	深浸潤特殊・圧縮処理加工
加圧注入処理	JIS A 9002による
保存処理薬剤	マイレックACQ(JIS K 1570,ACQ-1)
品質規格	JASK4,AQ屋外製品部材 (吸収量5.2kg/m ³ 以上)

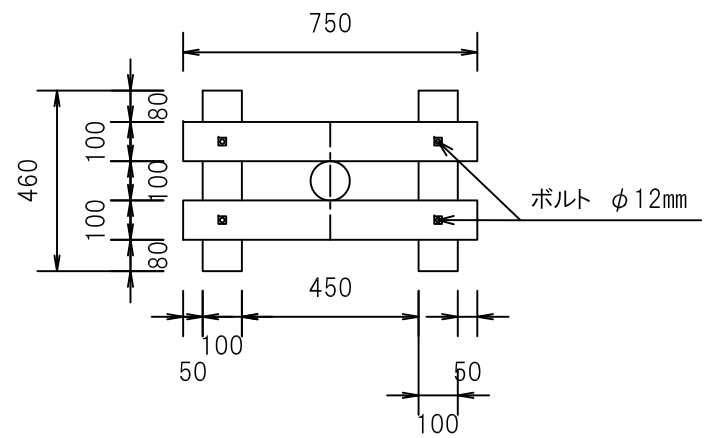
図面番号	5	平成23年
図名	木製ブロック積工 標準図	

単位 mm

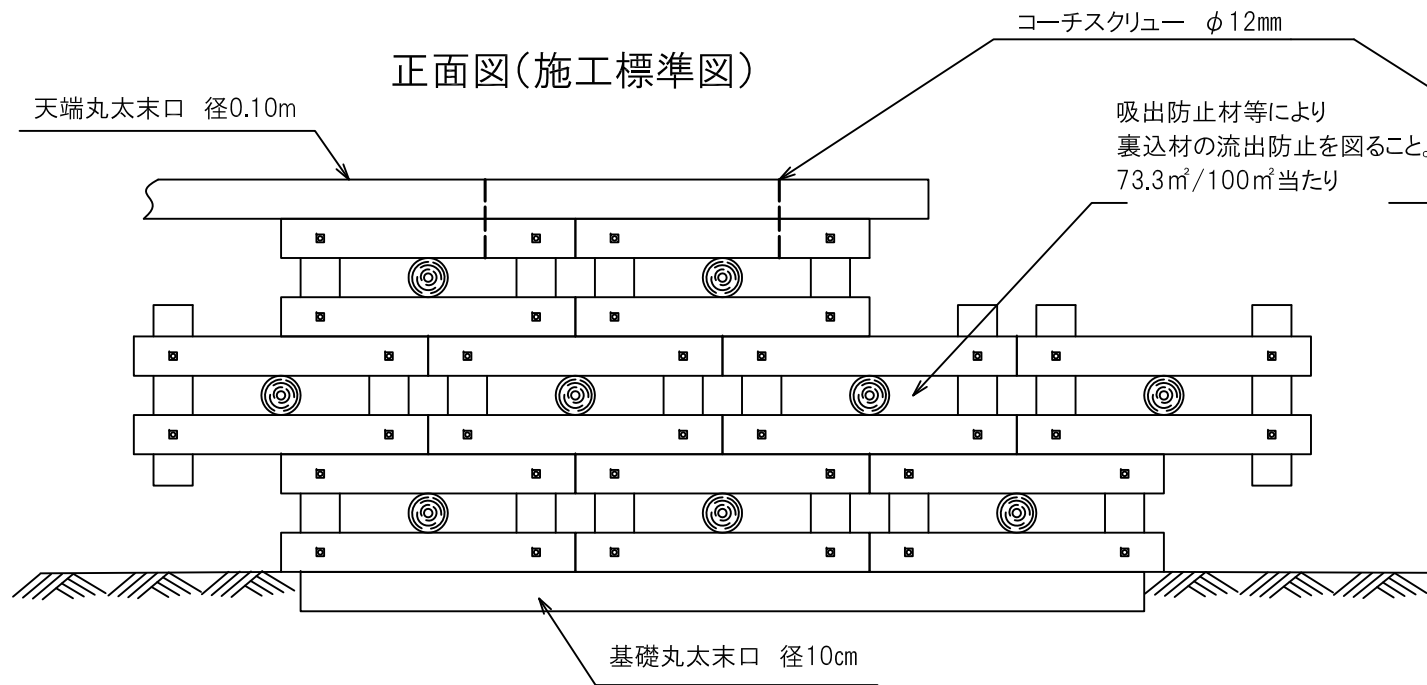
単体側面図



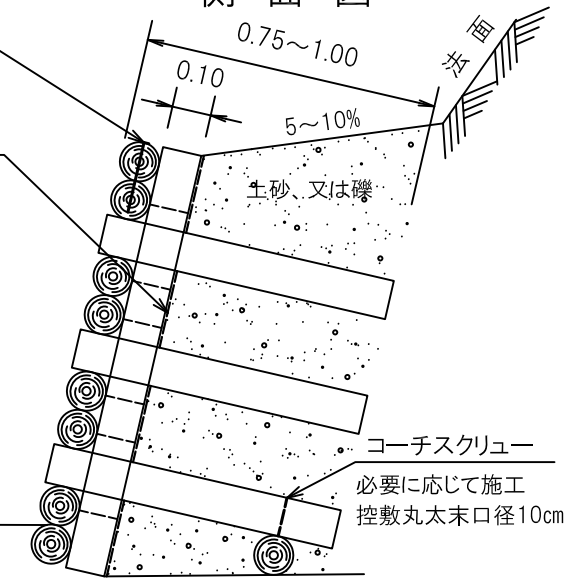
単体正面図



正面図(施工標準図)



側面図



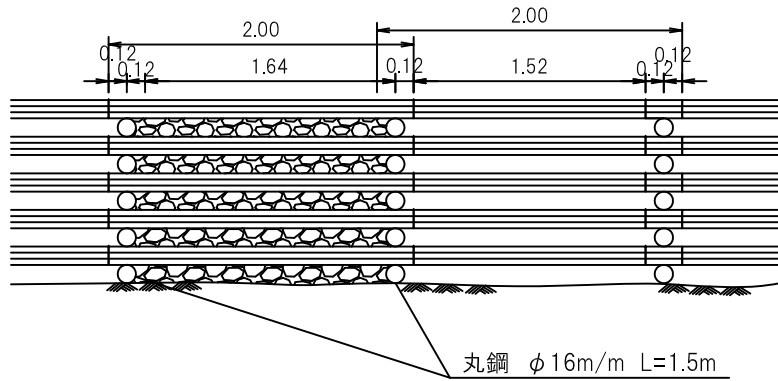
吸出防止材等により
裏込材の流出防止を図ること。
73.3㎡/100㎡当たり

必要に応じて施工
控敷丸太末口径10cm

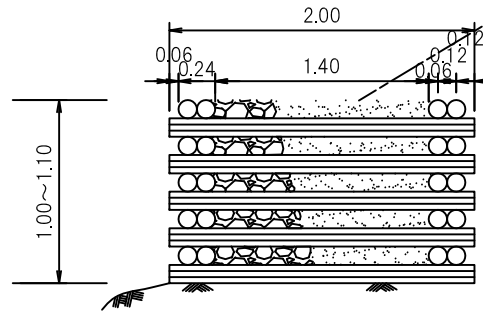
図面番号	6	平成23年
図名	方格木柵工 標準図	

単位 m

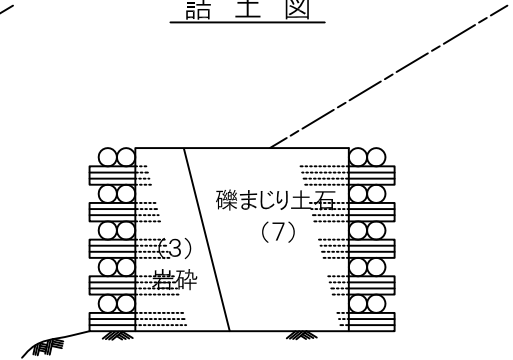
正面図



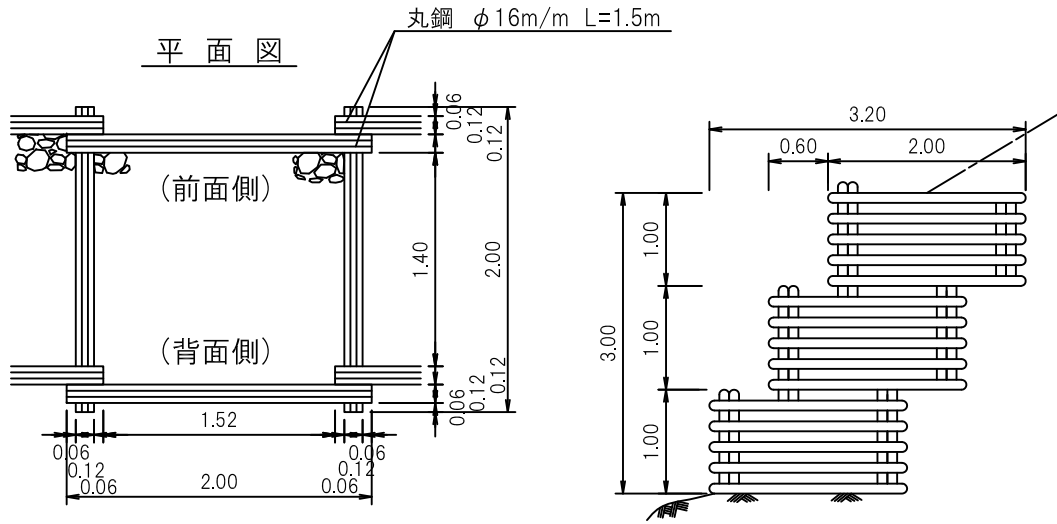
断面図



詰土図



平面図



種別	区分	1 柵 当 り			m当り (1/1.8)	
		長 m	本	1本当たり 数量	数量	
丸太	φ9~12cm(平均10cm)	2.0	15	0.02m ³	0.300m ³ 0.167m ³	
丸鋼	φ16mm	1.5	4	0.002t	0.008t 0.004t	
岩碎	φ0.15~0.50m	1.52×1.64×1.0×0.3		0.748m ³	0.416m ³	
礫まじり土石		1.52×1.64×1.0×0.7		1.745m ³	0.969m ³	
摘 要		最終柵材料として右を 加算する。			丸 太	0.100m ³
					丸 鋼	(2本)0.004t

図面番号	7-1	平成23年
図名	ふとんかご積工 標準図	

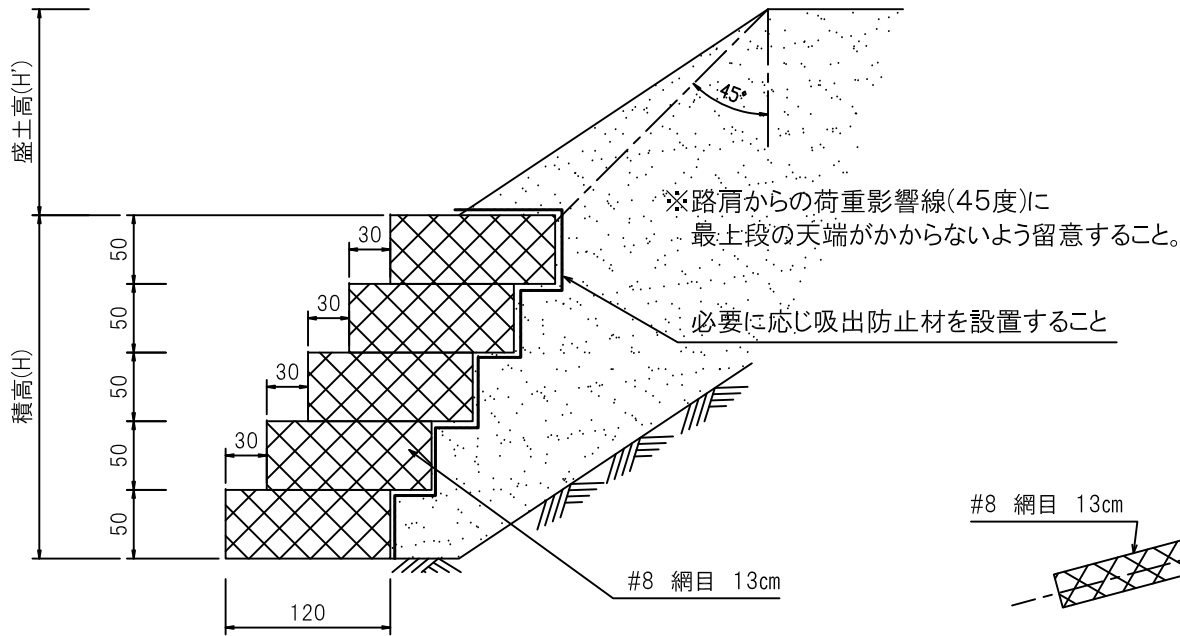
単位 cm

ふとんかご積工

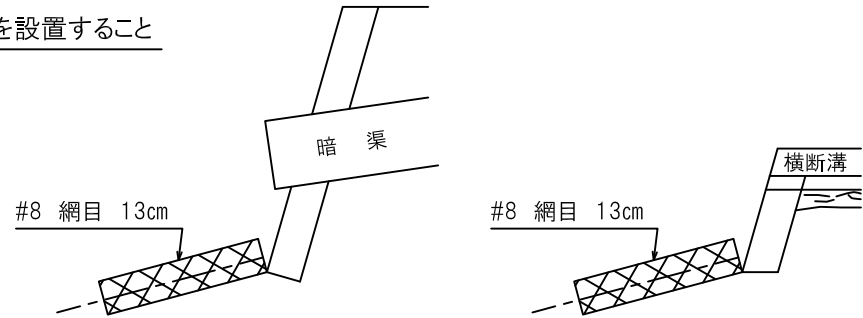
盛土(H')2.0m以下 積高(H) 3.5mまで

盛土(H')2.0mを越える場合 積高(H) 2.5mまで

指定事項	詰石	φ15cm内外 割栗石
------	----	-------------



流末工(水叩工)



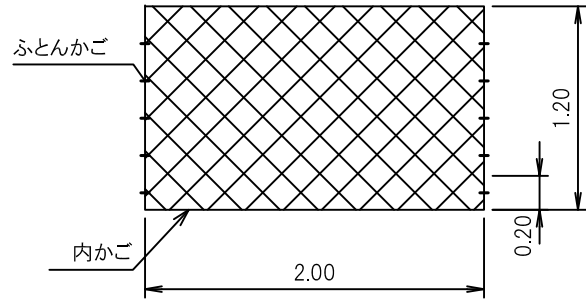
ふとんかご規格寸法 数量表 (m当たり)

用線	網目	規格		詰石
		高さ	幅	
#8mm (4.0)	13cm	40cm	120cm	0.46m ³
		50cm	120cm	0.57m ³
		60cm	120cm	0.68m ³

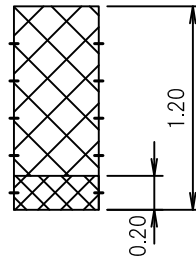
図面番号	7-2	平成23年
図名	二重ふとんかご工 標準図	

単位 m

平面図

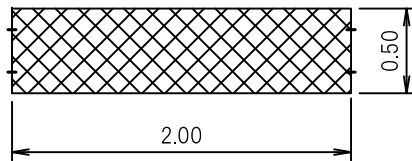


側面図



指定事項	外かご	8#網目 13cm 50×120cm 開放型
	内かご	部材明細書のとおり
	土砂	岩砕、良質土（現場採取）

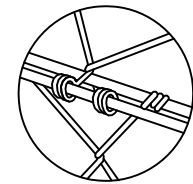
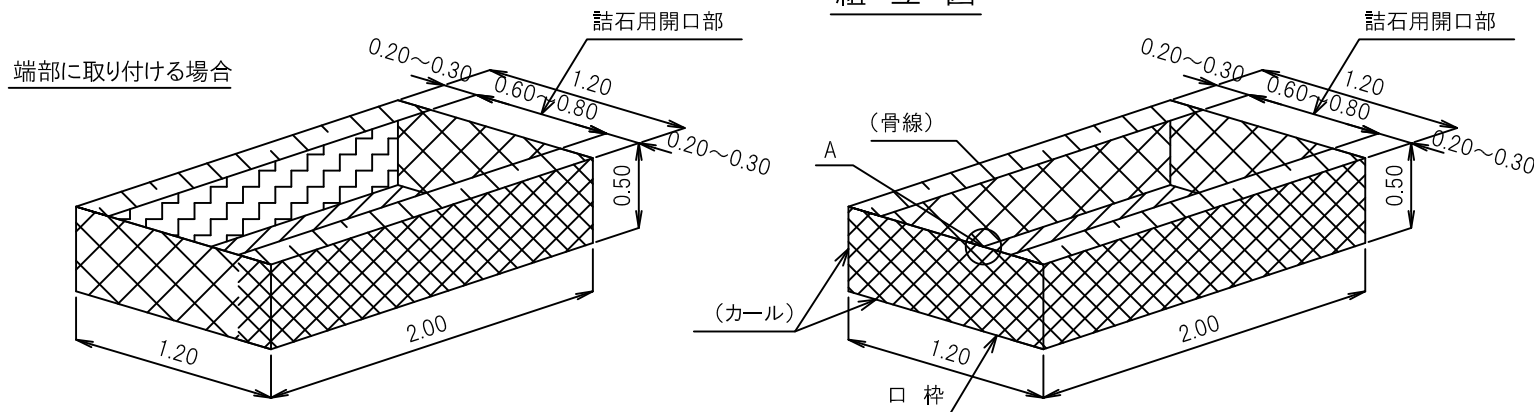
正面図



部材明細書

名称	線径	網目	規格		
			長さ	幅	高さ
ふとんかご	(8#)4.0m/m	130.0m/m	2.0m	1.2m	0.5m
内かご	(10#)3.2m/m	32.0m/m	2.4m	/	0.5m
内かご	(10#)3.2m/m	32.0m/m			1.2m

組立図



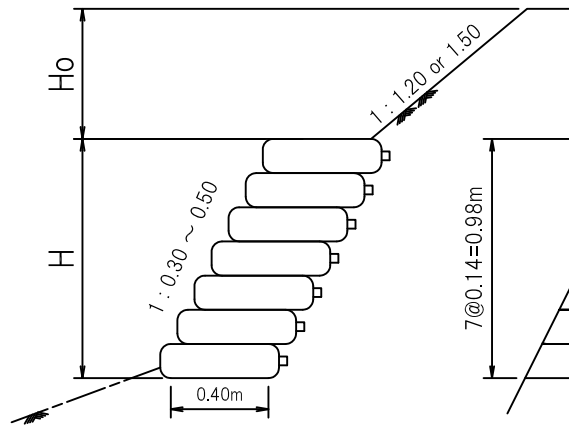
A部詳細図

図面番号	8	平成23年
図名	コンクリート土のう積工 標準図	

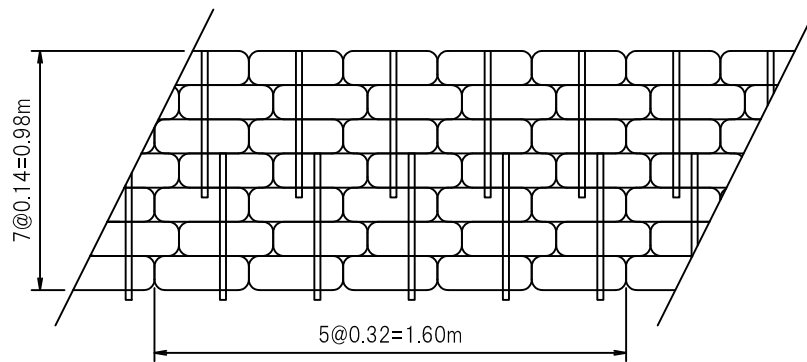
材 料 表				10㎡当たり
種 別	規 格	数 量	単 位	備 考
コンクリート	4号 25(20)mm 18N/mm ²	4.0	㎡	ロスは含まない
土のう	620mm×480mm	223	袋	仕上がり寸法 0.32×0.40×0.14m
異形鉄筋	Φ22mm SD345 L=0.5m	74 (112.5)	本 (kg)	

現場条件により、必要に応じ水抜パイプ、または暗渠工等の呑口に使用する場合は遮水シートを施工すること。
(水抜パイプについては、塩ビ管(VU)φ75mmを1箇所/4㎡以上を目安とする。)

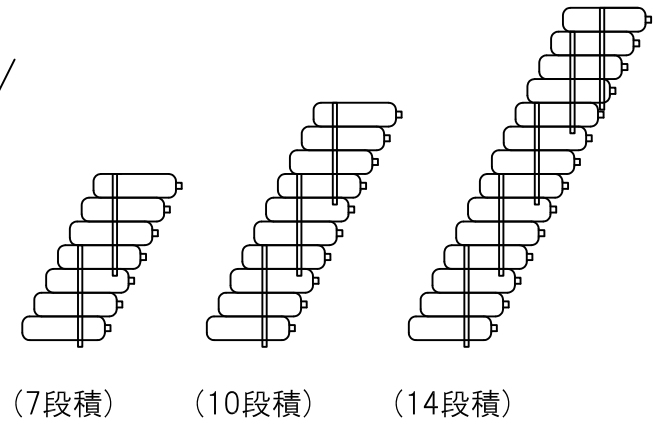
断面図



正面図と配筋図



断面配筋図



積高限界表(H)

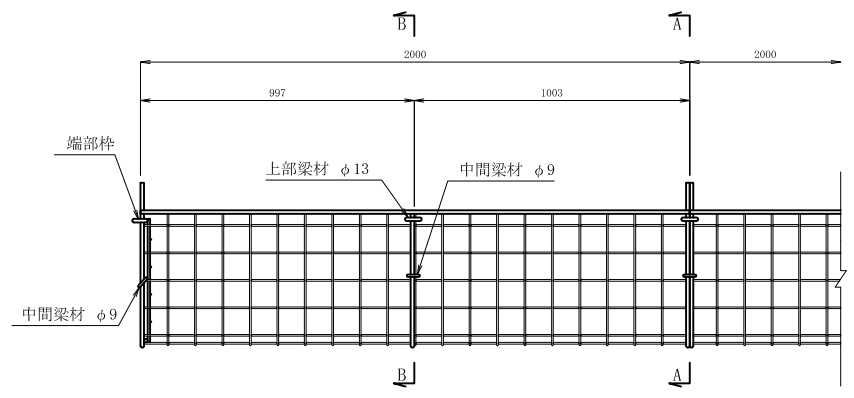
設計条件		地盤:土砂(μ=0.6) 背面土:普通土(φ=35°)						地盤:土砂(μ=0.7) 背面土:普通土(φ=35°)					
		1 : 1.50			1 : 1.20			1 : 1.50			1 : 1.20		
盛土高(Ho)	盛土勾配	3分		4分		5分		3分		4分		5分	
	積勾配	3分	4分	5分	3分	4分	5分	3分	4分	5分	3分	4分	5分
0.5m まで		10段積まで (1.40m)	14段積まで (1.96m)	※17段積まで	7段積まで (0.98m)	10段積まで (1.40m)	14段積まで (1.96m)	14段積まで (1.96m)	※17段積まで	※21段積まで	10段積まで (1.40m)	14段積まで (1.96m)	※21段積まで
1.0m まで		7段積まで (0.98m)	10段積まで (1.40m)	14段積まで (1.96m)	7段積まで (0.98m)	7段積まで (0.98m)	10段積まで (1.40m)	10段積まで (1.40m)	14段積まで (1.96m)	※17段積まで	7段積まで (0.98m)	10段積まで (1.40m)	14段積まで (1.96m)
1.5m まで		7段積まで (0.98m)	10段積まで (1.40m)	14段積まで (1.96m)	—	7段積まで (0.98m)	7段積まで (0.98m)	10段積まで (1.40m)	14段積まで (1.96m)	※17段積まで	7段積まで (0.98m)	7段積まで (0.98m)	10段積まで (1.40m)
2.0m まで		7段積まで (0.98m)	10段積まで (1.40m)	14段積まで (1.96m)	—	—	7段積まで (0.98m)	10段積まで (1.40m)	14段積まで (1.96m)	※17段積まで	—	7段積まで (0.98m)	10段積まで (1.40m)
2.5m まで		7段積まで (0.98m)	10段積まで (1.40m)	14段積まで (1.96m)	—	—	—	10段積まで (1.40m)	10段積まで (1.40m)	14段積まで (1.96m)	—	—	7段積まで (0.98m)
3.0m まで		7段積まで (0.98m)	10段積まで (1.40m)	14段積まで (1.96m)	—	—	—	10段積まで (1.40m)	10段積まで (1.40m)	14段積まで (1.96m)	—	—	—

注1) 積高は2.0m程度(14段積)までを目安とし、※は参考値である。
注2) 原則、直接路肩には施工しない。

図面番号	9-1	平成23年
図名	かご枠積工 (K08型) 標準図	

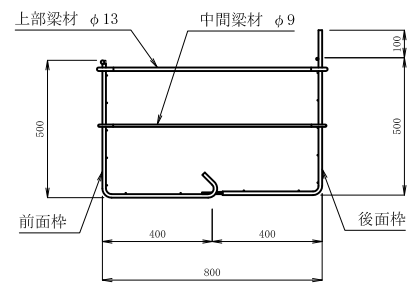
かご枠積工 (08タイプ) 標準図

正面図

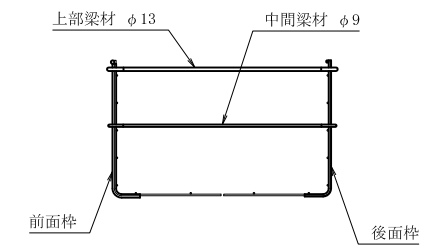


断面図

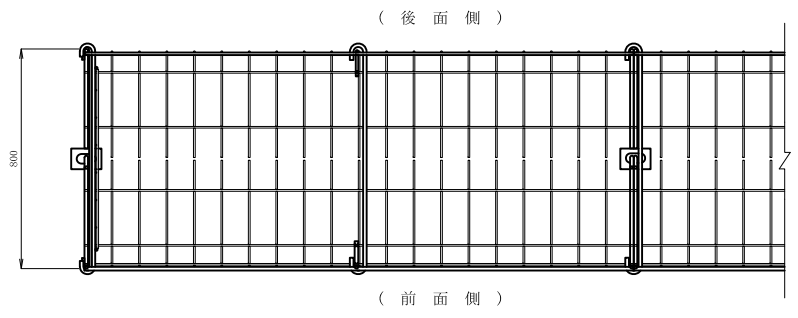
A-A矢視



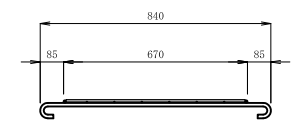
B-B矢視



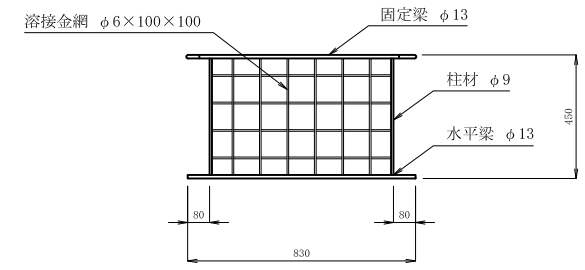
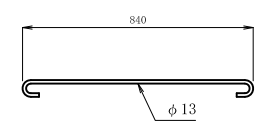
平面図



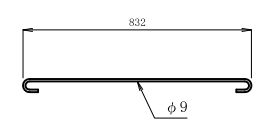
端部枠



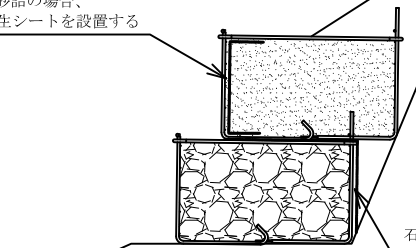
上部梁材



中間梁材



土砂詰の場合、
植生シートを設置する



石詰の場合、
必要に応じ吸出防止材を設置する



指定事項	積勾配	別途安定計算書による
	詰石	φ15cm内外 割栗石
	土砂	岩砕、良質土 (現場採取)

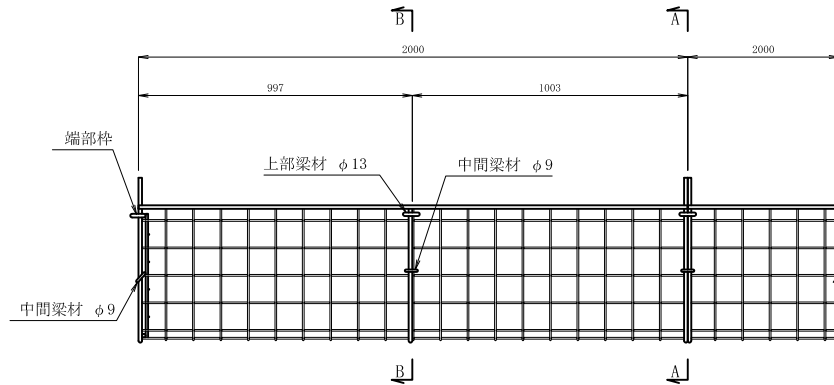
部材リスト (K08型)

部材名	部材記号	寸法 (mm)	質量 (kg)
前面枠 (長さ×奥行×高さ)	KF204	2000×400×500	11.40
	KF104	1000×400×500	6.32
後面枠 (長さ×奥行×高さ)	KB204	2000×400×500	10.80
	KB104	1000×400×500	6.51
端部枠 (奥行×高さ)	KE08	840×450	3.49
上部梁材 (φ径×長さ)	J08N	φ13×840	1.03
中間梁材 (φ径×長さ)	B08N	φ9×832	0.48
植生シート (幅×長さ)	KS113	1000×1200	-

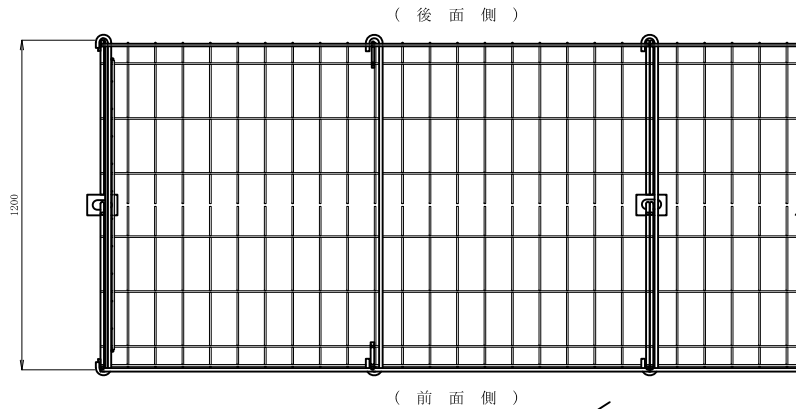
図面番号	9-2	平成23年
図名	かご枠積工 (K12型) 標準図	

かご枠積工 (12タイプ) 標準図

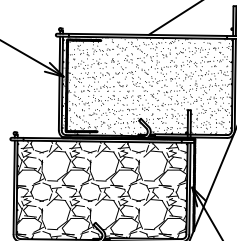
正面図



平面図



土砂詰の場合、
植生シートを設置する

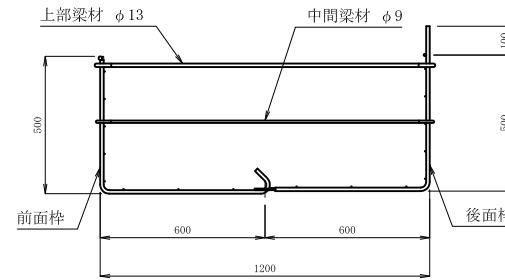


石詰の場合、
必要に応じ吸出防止材を設置する

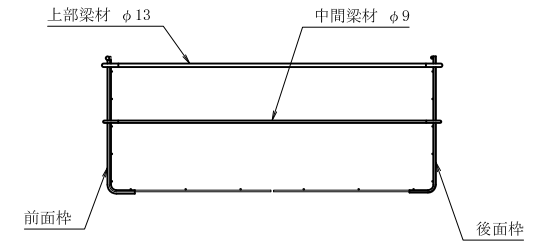


断面図

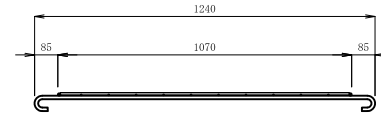
A-A矢視



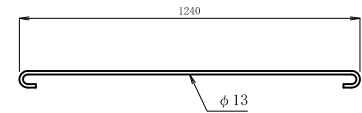
B-B矢視



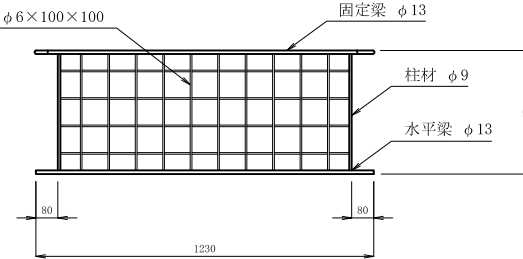
端部枠



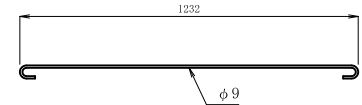
上部梁材



溶接金網 φ6×100×100



中間梁材

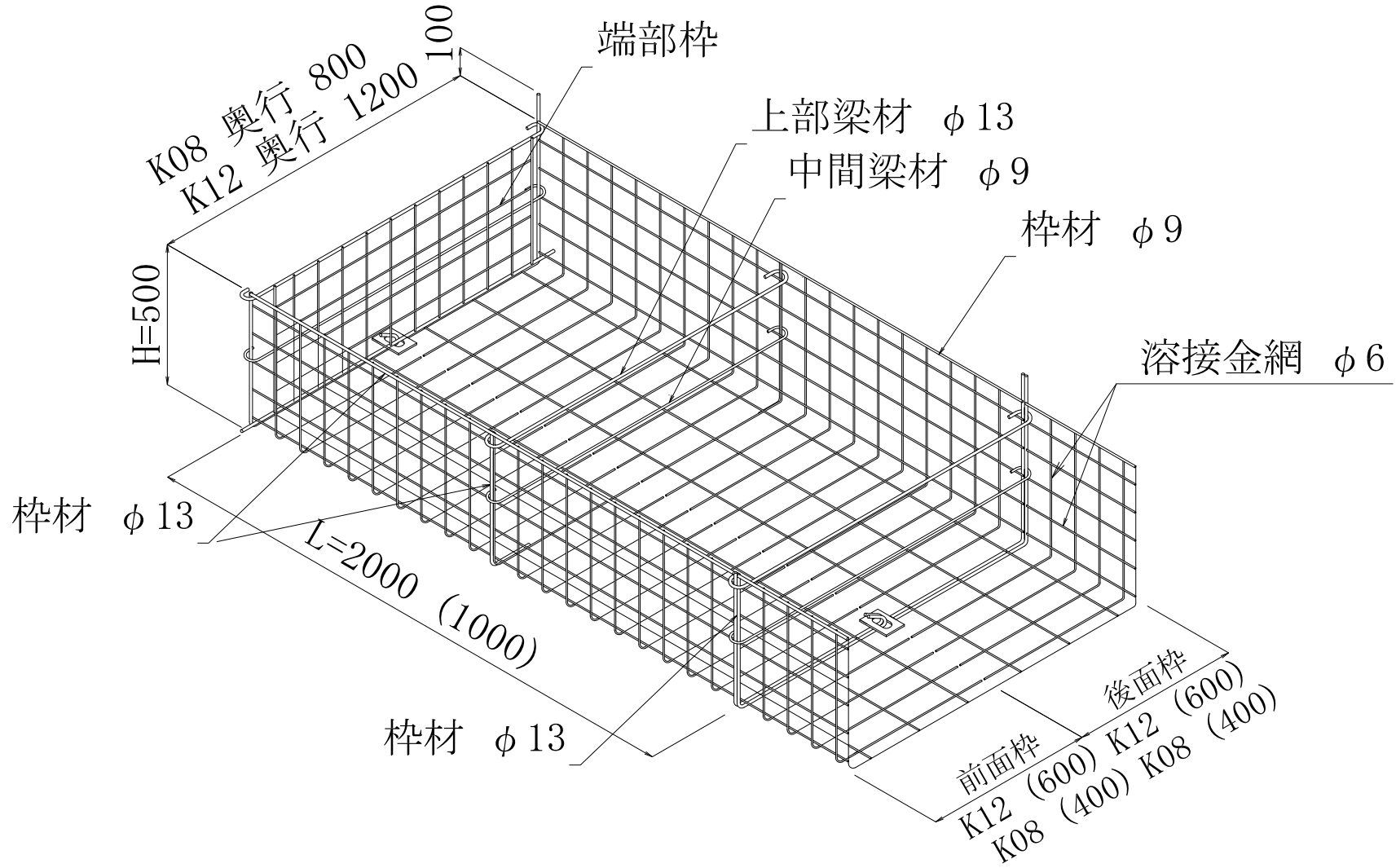


部材リスト (K12型)

指定事項	積勾配	別途安定計算書による
	詰石	φ15cm内外 割栗石
	土砂	岩砕、良質土 (現場採取)

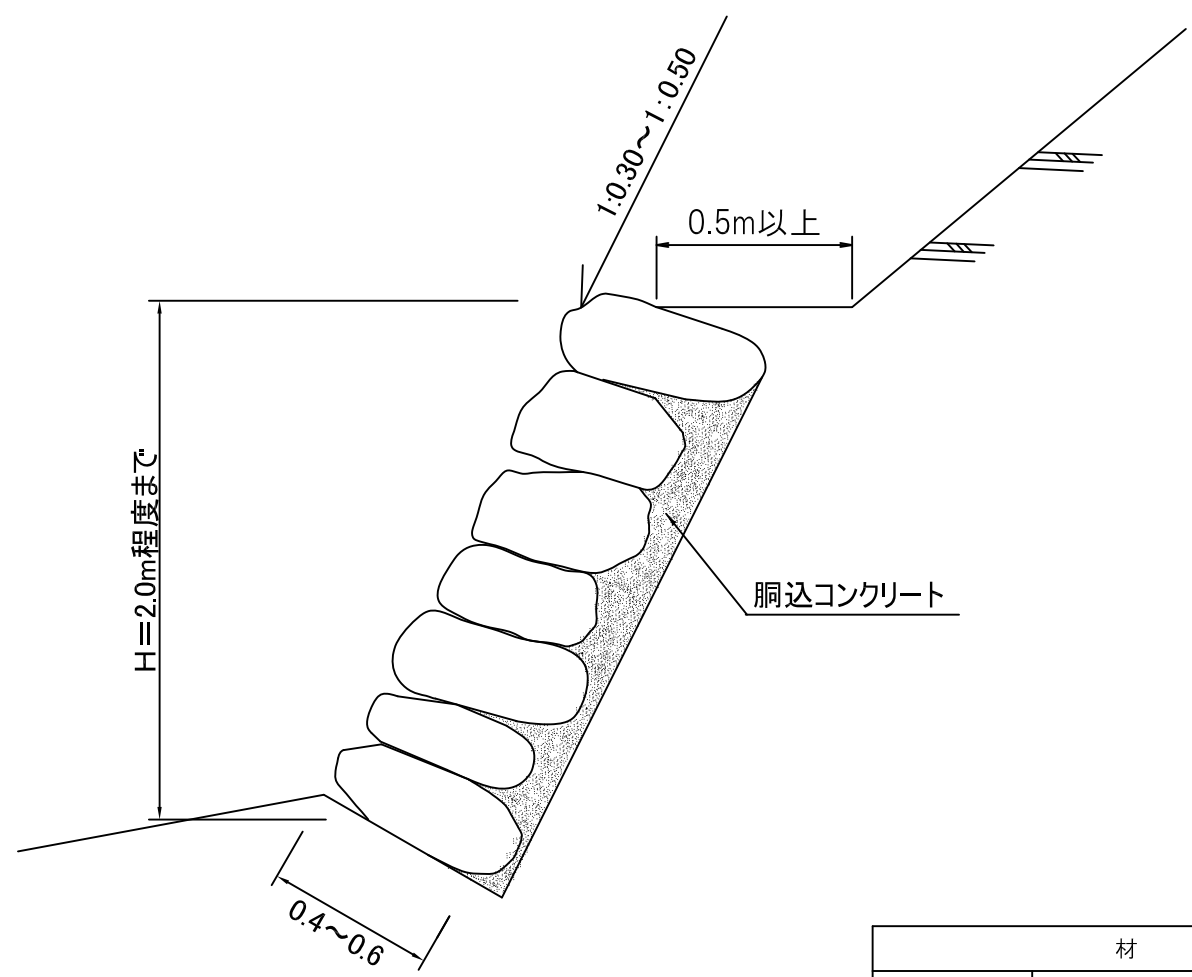
部材名	部材記号	寸法 (mm)	質量 (kg)
前面枠 (長さ×奥行×高さ)	KF206	2000×600×500	13.10
	KF106	1000×600×500	7.36
後面枠 (長さ×奥行×高さ)	KB206	2000×600×500	12.50
	KB106	1000×600×500	7.54
端部枠 (奥行×高さ)	KE12	1240×450	5.07
上部梁材 (φ径×長さ)	J12N	φ13×1240	1.44
中間梁材 (φ径×長さ)	B12N	φ9×1232	0.68
植生シート (幅×長さ)	KS113	1000×1200	-

図面番号	9-3	平成23年
図名	カゴ枠組立標準図	



図面番号	10-1	平成23年
図名	巨石練積工(控0.4~0.6m) 標準図	

単位 m



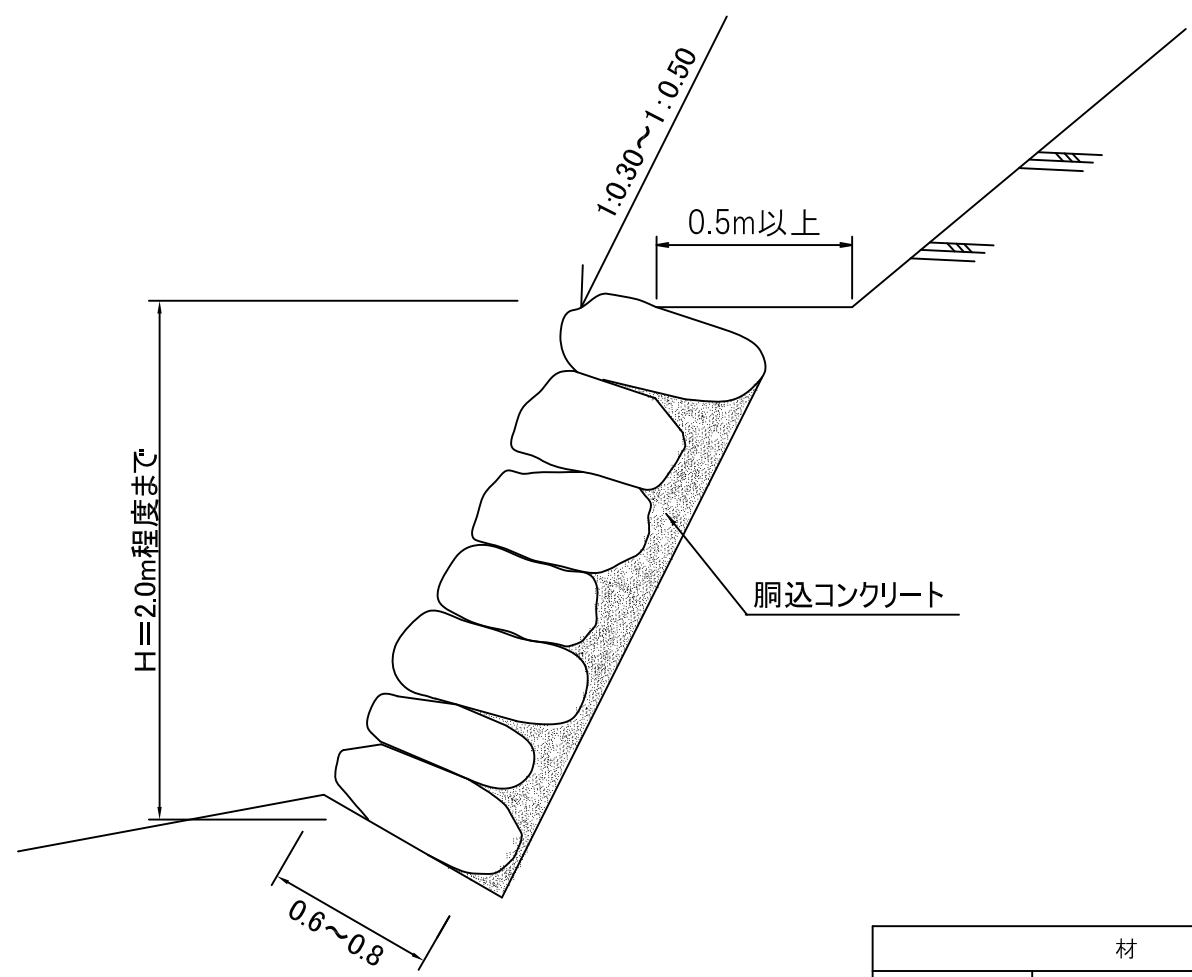
※輪荷重が影響する範囲には施工しないこと。

材 料 表				10㎡当たり
種 別	規 格	数 量	単 位	備 考
巨 石	0.4~0.6m	46.0	個	現地採取
胴込・裏込	6号 25(20)mm 18N/mm ²	2.45	m ³	ロスは含まない

現場条件により、必要に応じ水抜パイプ、吸出防止材または遮水シートを施工すること。
(水抜パイプについては、塩ビ管(VU)φ75mmを1箇所/4㎡以上を目安とする。)

図面番号	10-2	平成23年
図名	巨石練積工(控0.6~0.8m) 標準図	

単位 m



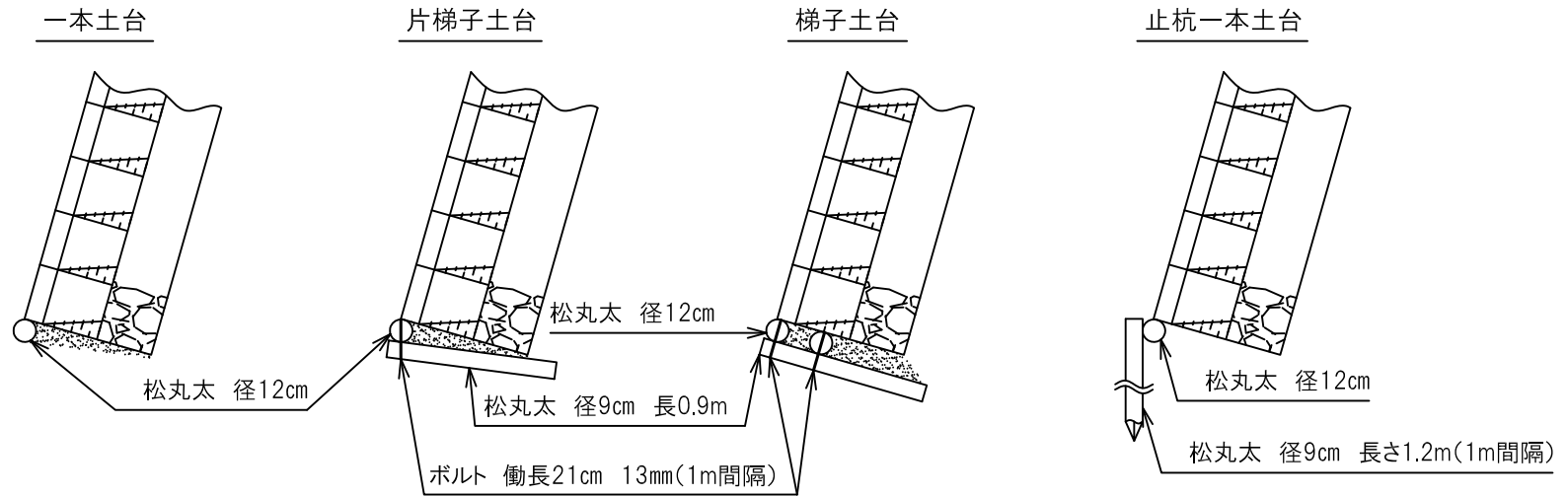
※輪荷重が影響する範囲には施工しないこと。

材 料 表				10㎡当たり
種 別	規 格	数 量	単 位	備 考
巨 石	0.6~0.8m	23.6	個	現地採取
胴込・裏込	6号 25(20)mm 18N/mm ²	6.74	m ³	ロスは含まない

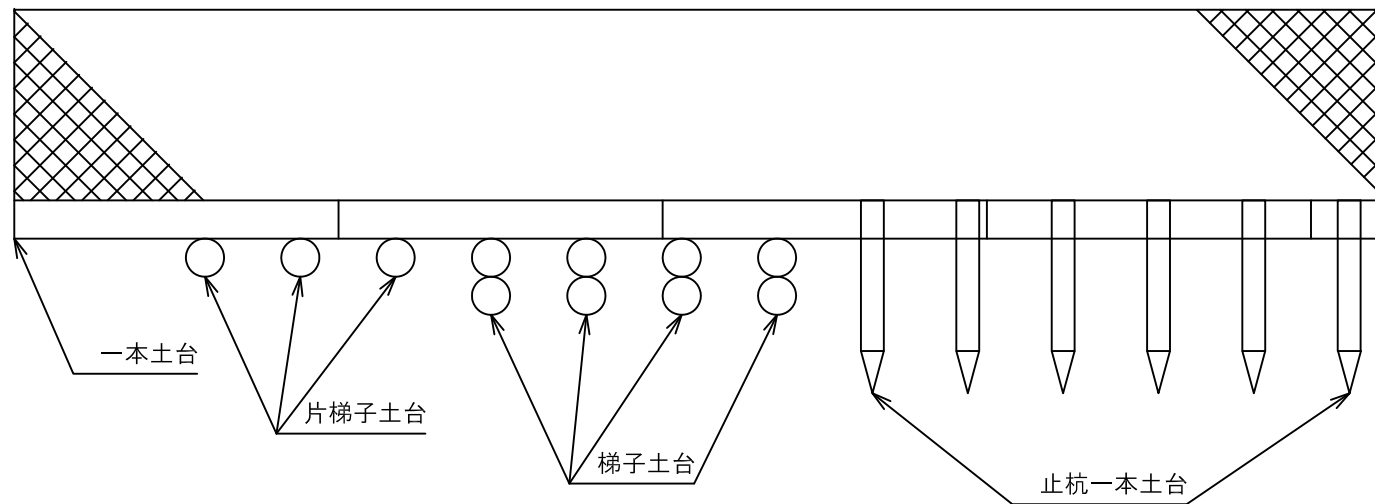
現場条件により、必要に応じ水抜パイプ、吸出防止材または遮水シートを施工すること。
(水抜パイプについては、塩ビ管(VU)φ75mmを1箇所/4㎡以上を目安とする。)

図面番号	11	平成元年
図名	土台基礎標準図	

側面図



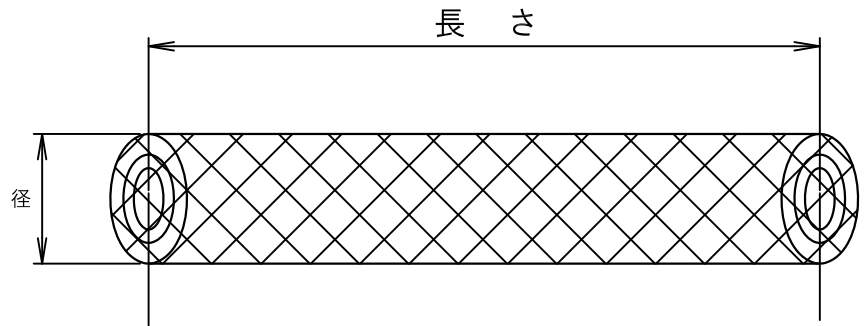
正面図



図面番号	12	平成4年
図名	じゃかご工 標準図	

単位 m

じゃかご



指定事項	じゃかご	網目	cm	径	cm
	詰石	Φ15cm内外 割栗石			

じゃかご規格寸法表

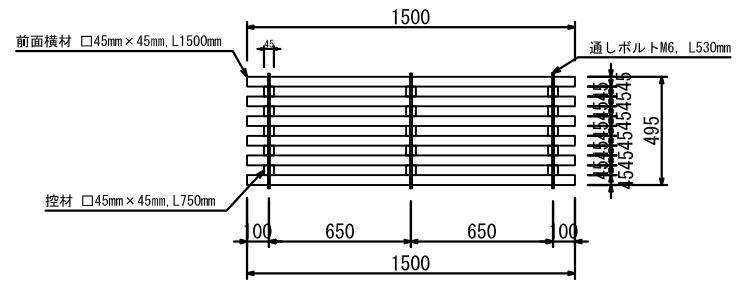
規 格		
用 線	網 目	径
#10 (3.2mm)	10cm	45cm 60
	13	
	15	
#8 (4.0mm)	10	45 60
	13	
	15	
#6 (5.0mm)	10	45 60
	13	
	15	

数量表(m当り)

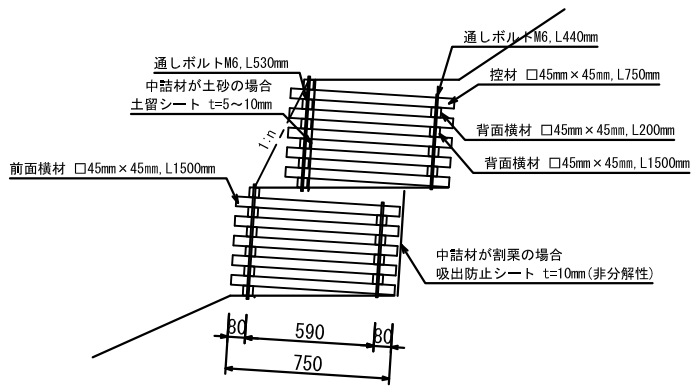
寸法(cm)		詰 石 (m ³)
径	網目	
45	10	0.15
	13	0.15
	15	0.15
60	10	0.27
	13	0.27
	15	0.27

縮尺 1:25

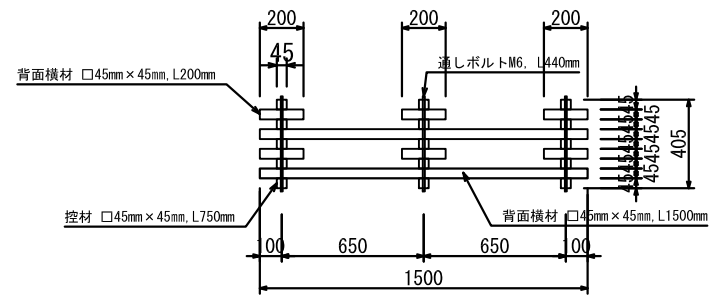
正面図



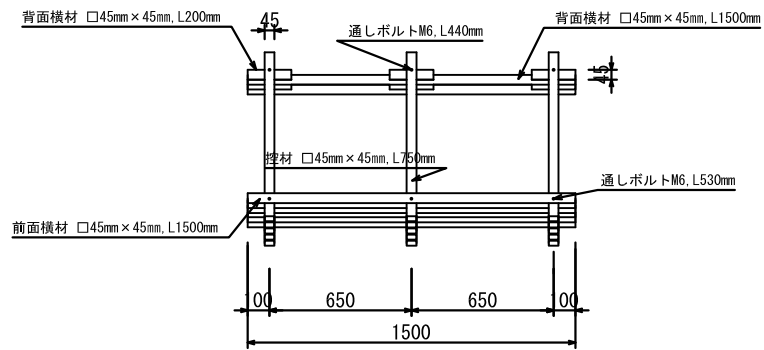
断面図



背面図



平面図



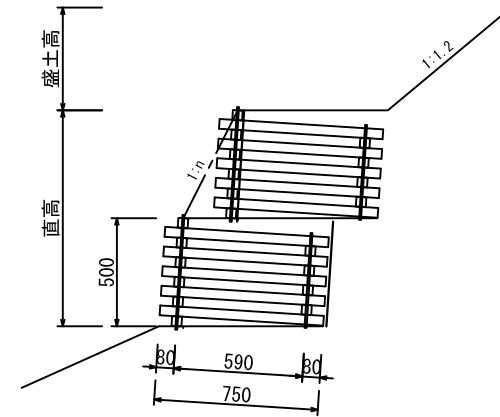
(10.0m2当り)

名称	規格・計算式	数量	備考	
木製柵	H=495・W=750 L=1.50m	12.38基	□45×45	
木製柵	H=495・W=750 L=0.75m	1.90基	□45×45 (端部部分はL=0.75タイプ利用)	
(表面積) (9.88m ²)				
中詰材 割栗	吸出防止シート	t=10mm (非分解性)	16.3 m ²	
	中詰割栗石		5.7 m ³	
	世話役		0.18人	組立等指導0.009人/m
	普通作業員		0.71人	小運搬、組立、据付、詰石、シート設置
中詰材 土砂	バックホウ運転	山積0.8m ³ 平積0.6m ³	1.13h	中詰材詰石0.05h/m
	土留シート	t=5~10mm	10.83 m ²	
	中詰土砂		6.07 m ³	木製柵延長×0.26m ³
	世話役		0.12人	組立等指導0.006人/m
	普通作業員		0.57人	小運搬、組立、据付、詰土補助、シート設置0.026人/m
	バックホウ運転	山積0.8m ³ 平積0.6m ³	0.24h	中詰材詰土0.01h/m
タンバ運転	60~80kg	0.18日	中詰材締固0.008日/m	

木材の保存処理仕様	
注入前処理	インサイジング+深浸潤特殊・圧縮処理加工
加圧注入処理	JIS A 9002による
保存処理薬剤	マイトレックACQ(JIS K 1570, ACQ-1)
品質規格	JASK4, AQ屋外製品部材 (吸収量5.2kg/m ³ 以上)

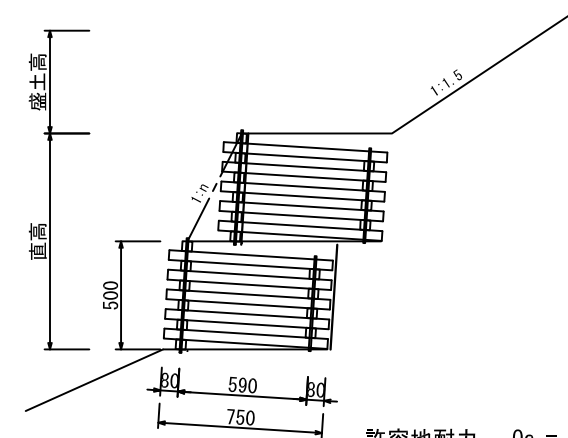
段数	直高	盛土高	壁勾配 1:0.3						1:0.5						1:0.6								
			上載盛土勾配 1:1.2						1:1.2						1:1.2								
			0	0.5	1.0	1.5	2.0	2.5	3.0	0	0.5	1.0	1.5	2.0	2.5	3.0	0	0.5	1.0	1.5	2.0	2.5	3.0
2	1.00																						
3	1.50																						
4	2.00																						
5	2.50																						

☒ 適用範囲外を表す
(適用範囲外及び別設計条件は別途検討する)

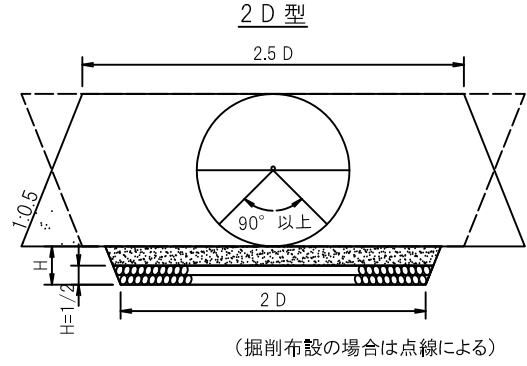
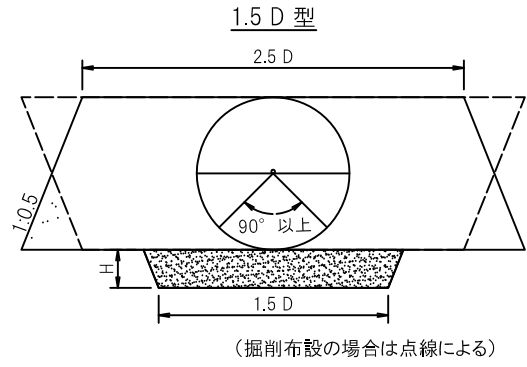
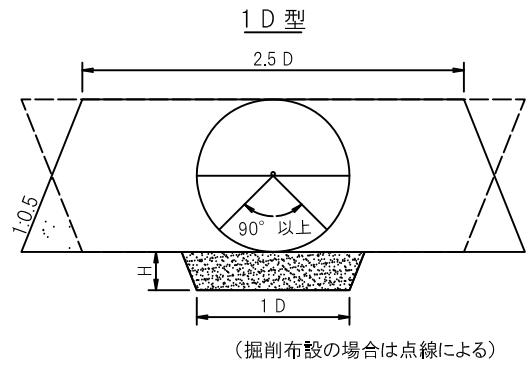


段数	直高	盛土高	壁勾配 1:0.3						1:0.5						1:0.6								
			上載盛土勾配 1:1.5						1:1.5						1:1.5								
			0	0.5	1.0	1.5	2.0	2.5	3.0	0	0.5	1.0	1.5	2.0	2.5	3.0	0	0.5	1.0	1.5	2.0	2.5	3.0
2	1.00																						
3	1.50																						
4	2.00																						
5	2.50																						

☒ 適用範囲外を表す
(適用範囲外及び別設計条件は別途検討する)



許容地耐力 $Qa = 300\text{kn/m}^2$
 背面土単位重量 $s = 18\text{kn/m}^3$
 過載荷重 $q = 9\text{kn/m}^3$
 背面内部摩擦角度 $\phi 35$
 基礎地盤摩擦係数 0.7

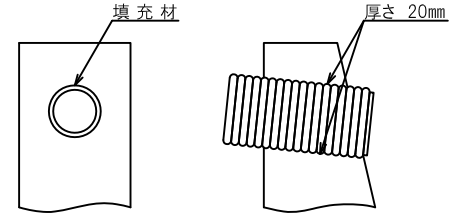


基礎幅 = b 及び 厚さ = H

単位 : m

使用管径	名称	基礎管区分	地盤	通常地盤	岩地盤	軟弱地盤
			b=管径×1.0	b=管径×1.5	b=管径×2.0	
		管径	1 D 型	1.5 D 型	2 D 型	基礎の厚さ=H (m)
円型 I 型 コランジ型	円型 I 型	0.40	0.20	0.20	0.50	
		0.60	0.20	0.20	0.50	
		0.80	0.20	0.20	0.50	
		1.00	0.30	0.30	0.50	
		1.20	0.30	0.30	0.50	
		1.35	0.30	0.30	0.60	
		1.50	0.30	0.30	0.60	
		1.65	0.30	0.30	0.60	
		1.80	0.30	0.30	0.70	
		2.00	0.40	0.40	0.80	
円型 II 型 ランジ型	円型 II 型	2.50	0.50	0.40	1.00	
		3.00	0.60	0.40	1.00	
		3.50	0.70	0.40	1.00	
		4.00	0.80	0.50	1.00	

指定事項	基礎栗石	φ5~15cm 割栗石
	基礎材	φ0~40cm 碎石 (RC) 岩砕 良質土 (現場採取)
	裏込材	岩砕 良質土 (現場採取)



(注) コンクリート擁壁、コンクリートブロック積等に設置した場合は填充材 (エラストイト等) で縁切りしなければならない。

土かぶりに応じた管厚は、林道必携による。

数量表

m 当り

管径	円型						
	1 D 型		1.5 D 型		2 D 型		
	基礎	裏込材 (m ²)	基礎	裏込材 (m ²)	基礎	裏込材 (m ²)	基礎栗石 (m ²)
0.40	0.454		0.494		0.648		0.231
0.60	0.937		0.997		1.191		0.331
0.80	1.597		1.677		1.911		0.431
1.00	2.560		2.710		2.808		0.531
1.20	3.594		3.774		3.883		0.631
1.35	4.546		4.697		4.988		0.855
1.50	5.478		5.703		6.018		0.945
1.65	6.570		6.818		7.155		1.035
1.80	7.762		8.032		8.620		1.321
2.00	9.758		10.138		10.698		1.680
2.50	15.216		15.421		16.716		2.625
3.00	21.911		21.811		23.306		3.125
3.50	29.824		29.309		31.004		6.325
4.00	38.954		38.559		39.809		4.125

数量表

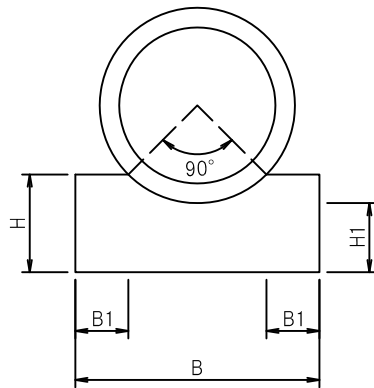
設計区分	管径(mm) 因子	300	350	400	450	500	600	700	800	900	1000	
		H.P 1.2 C	90°	B (m)	0.42	0.48	0.54	0.61	0.67	0.80	0.94	1.07
B1 (m)	0.08			0.09	0.10	0.12	0.13	0.15	0.18	0.21	0.23	0.25
H (m)	0.20			0.21	0.22	0.23	0.24	0.25	0.28	0.33	0.36	0.40
H1 (m)	0.15			0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.16	0.19	0.21	0.23
コンクリート (m ³)	0.075			0.089	0.103	0.121	0.136	0.165	0.216	0.291	0.353	0.435
型枠 (m ²)	0.40			0.42	0.44	0.46	0.48	0.50	0.56	0.66	0.72	0.80
端型枠 (m ²)	0.15			0.18	0.21	0.24	0.27	0.33	0.43	0.58	0.71	0.87
120°	B (m)		0.42	0.48	0.54	0.61	0.67	0.80	0.94	1.07	1.20	1.33
	B1 (m)		0.05	0.06	0.07	0.08	0.08	0.10	0.12	0.13	0.15	0.16
	H (m)		0.24	0.25	0.27	0.28	0.30	0.33	0.36	0.42	0.47	0.52
	H1 (m)		0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.16	0.19	0.21	0.23
	コンクリート (m ³)		0.081	0.094	0.112	0.128	0.149	0.189	0.236	0.316	0.395	0.484
	型枠 (m ²)		0.48	0.50	0.54	0.56	0.60	0.66	0.72	0.84	0.94	1.04
	端型枠 (m ²)		0.16	0.19	0.22	0.26	0.30	0.38	0.47	0.63	0.79	0.97
180°	B (m)		0.48	0.55	0.61	0.68	0.76	0.90	1.05	1.20	1.35	1.50
	B1 (m)		0.06	0.07	0.07	0.08	0.09	0.10	0.12	0.13	0.15	0.17
	H (m)		0.33	0.36	0.39	0.41	0.44	0.50	0.57	0.66	0.74	0.81
	H1 (m)		0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.16	0.19	0.21	0.23
	コンクリート (m ³)		0.108	0.131	0.151	0.170	0.200	0.258	0.337	0.451	0.566	0.683
	型枠 (m ²)		0.66	0.72	0.78	0.82	0.88	1.00	1.14	1.32	1.48	1.62
	端型枠 (m ²)		0.22	0.26	0.30	0.34	0.40	0.52	0.67	0.90	1.13	1.37

指定事項	管の種類	外圧管 B形 I種・II種
	基礎形式	コンクリート基礎 90° 120° 180°
	コンクリート	4号 25(20)mm 18N/mm ²

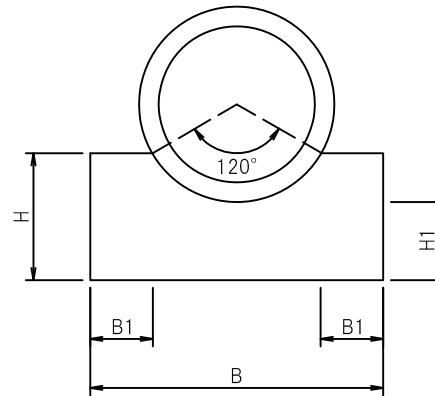
※ 基礎幅(B)
120° 以下については継手部の管外径とし、180° については継手部の管外径に管厚の2倍を加えた値を標準とする。

※ 管底からの基礎厚(H1)
管外径の1/5、又は、0.15mのいずれか大きい値を標準とし、40cm以下とする。

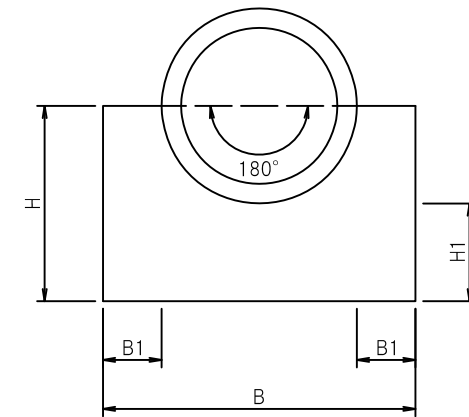
基礎型式



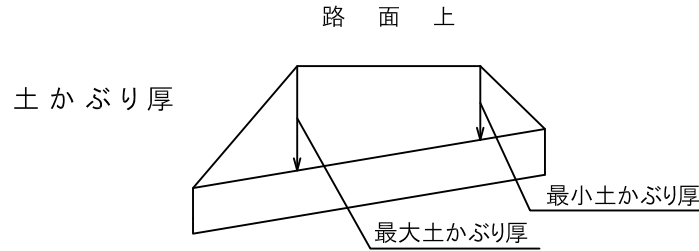
コンクリート基礎 90°



コンクリート基礎 120°

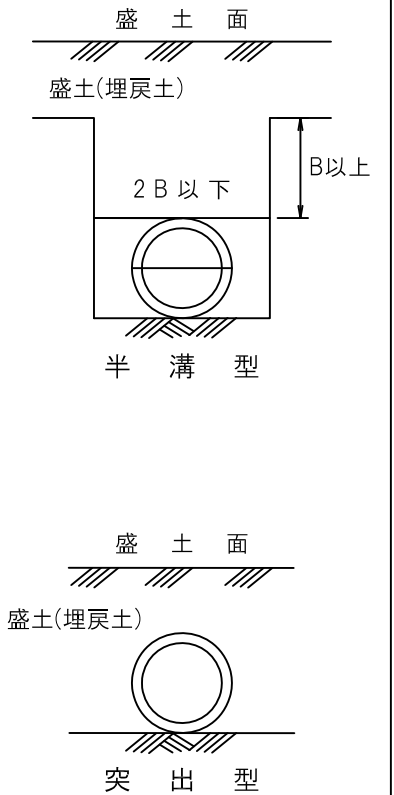


コンクリート基礎 180°

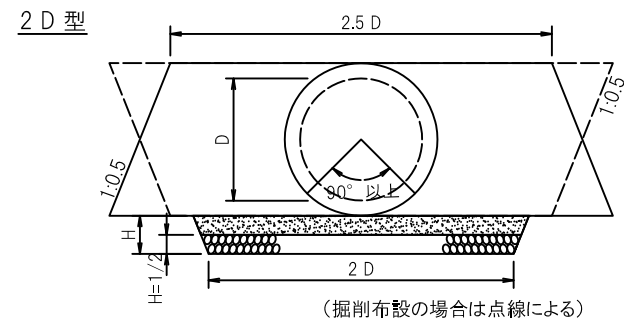
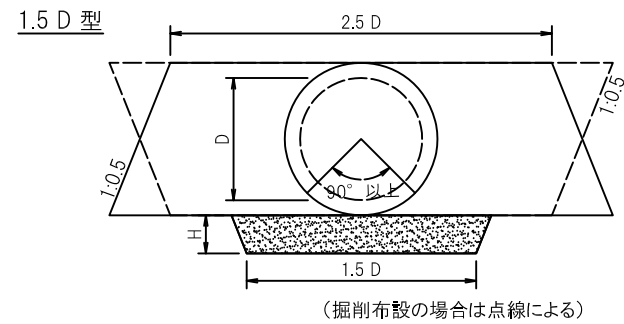
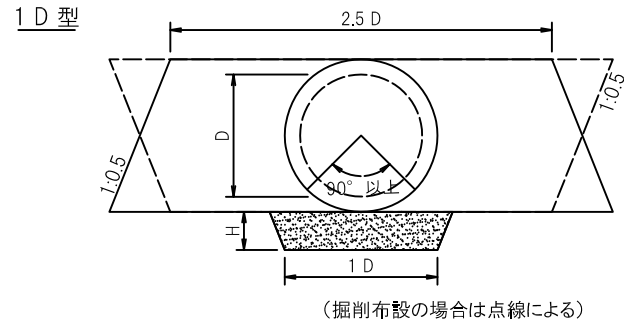


森林土木構造物標準設計
コンクリート管技術資料(平成14年林道技術基準対応版)より抜粋

区分	埋設方法	半溝型			突出型(砂質土)			突出型(粘性土)		
	基礎形式	コンクリート基礎			コンクリート基礎			コンクリート基礎		
	管種	90°	120°	180°	90°	120°	180°	90°	120°	180°
土かぶり厚(m)	D=600 H.P-1	0.5 2.8	0.5 3.6	0.5 4.0	0.5 2.4	0.5 3.0	0.5 3.3	0.5 1.8	0.5 2.3	0.5 2.6
	H.P-2	0.5 4.8	0.5 6.0	0.5 6.6	0.5 3.9	0.5 4.9	0.5 5.4	0.5 3.1	0.5 3.9	0.5 4.3
	D=700 H.P-1	0.5 2.6	0.5 3.4	0.5 3.8	0.5 2.3	0.5 2.9	0.5 3.2	0.5 1.8	0.5 2.3	0.5 2.5
	H.P-2	0.5 4.5	0.5 5.7	0.5 6.3	0.5 3.8	0.5 4.7	0.5 5.2	0.5 3.0	0.5 3.7	0.5 4.1
	D=800 H.P-1	0.5 2.5	0.5 3.3	0.5 3.7	0.5 2.3	0.5 2.9	0.5 3.2	0.5 1.8	0.5 2.3	0.5 2.5
	H.P-2	0.5 4.3	0.5 5.5	0.5 6.1	0.5 3.7	0.5 4.6	0.5 5.1	0.5 2.9	0.5 3.6	0.5 4.0
地盤反力(KN/m ²)	D=600 H.P-1	72.1 78.4	72.8 96.3	66.5 95.3	69.4 77.6	70.1 94.7	64.1 93.5	70.9 76.8	71.6 93.6	65.4 94.1
	H.P-2	72.1 122.7	72.8 151.2	66.5 148.6	69.4 120.0	70.1 150.5	64.1 148.9	70.9 121.2	71.6 151.6	65.4 149.9
	D=700 H.P-1	72.6 74.8	73.1 92.1	67.7 92.5	69.7 73.9	70.2 90.5	65.1 90.7	71.0 75.5	71.5 92.0	66.2 90.7
	H.P-2	72.6 116.0	73.1 143.9	67.7 143.5	69.7 115.6	70.2 142.6	65.1 143.2	71.0 116.0	71.5 142.1	66.2 142.8
	D=800 H.P-1	74.3 74.5	74.8 91.7	69.3 92.1	71.3 74.0	71.8 90.7	66.6 91.0	72.3 75.5	72.9 92.1	67.6 90.8
	H.P-2	74.3 113.3	74.8 141.3	69.3 140.9	71.3 113.0	71.8 140.0	66.6 140.8	72.3 112.5	72.9 138.6	67.6 139.5



基礎幅 = b 及び 厚さ = H



基礎 型区分	地盤	通常地盤	岩地盤	軟弱地盤
		b=管径×1.0 1 D 型	b=管径×1.5 1.5 D 型	b=管径×2.0 2 D 型
管径 (m)	基礎の厚さ=H (m)			
0.15	0.10	0.20	0.50	
0.20	0.10	0.20	0.50	
0.25	0.15	0.20	0.50	
0.30	0.15	0.20	0.50	
0.40	0.20	0.20	0.50	
0.45	0.20	0.20	0.50	
0.50	0.20	0.20	0.50	
0.60	0.20	0.20	0.50	
0.80	0.20	0.20	0.50	

指定事項	基礎栗石	φ5~15cm 割栗石
	基礎材	φ0~40cm 砕石(RC) 岩砕 良質土(現場採取)
	裏込材	岩砕 良質土(現場採取)

数量表

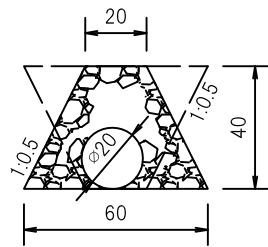
m 当り

管径 (m)	円 型				
	1 D 型 基礎裏込材 (m ³)	1.5 D 型 基礎裏込材 (m ³)	2 D 型 基礎裏込材 (m ³)		基礎栗石(m ³)
0.15	0.070	0.115	0.219		0.106
0.20	0.114	0.169	0.282		0.131
0.25	0.187	0.233	0.357		0.156
0.30	0.256	0.309	0.443		0.181
0.40	0.454	0.494	0.648		0.231
0.45	0.558	0.603	0.767		0.256
0.50	0.674	0.724	0.897		0.281
0.60	0.937	0.997	1.191		0.331
0.80	1.597	1.677	1.911		0.431

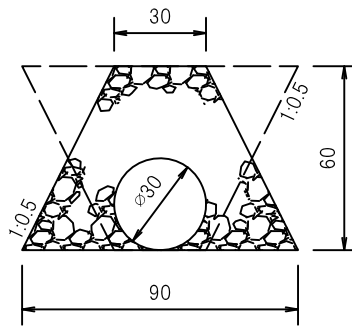
暗渠基礎図

単位 cm

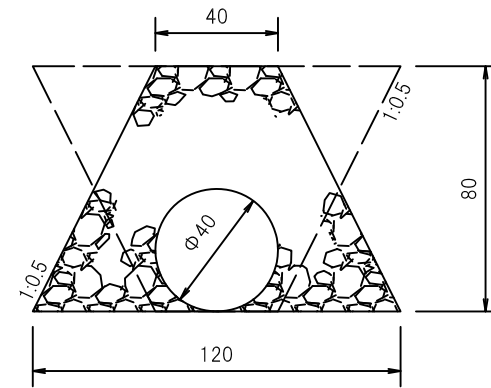
φ=20cm



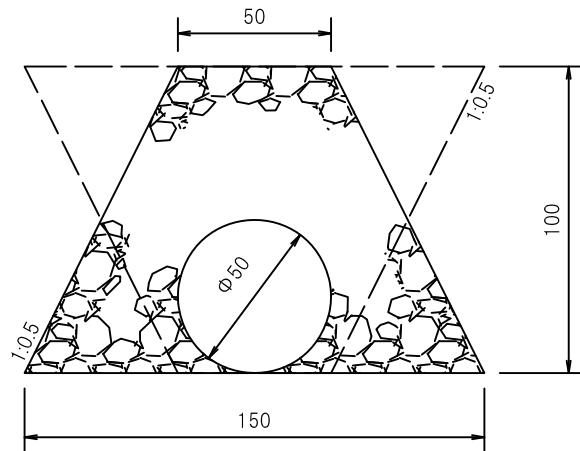
φ=30cm



φ=40cm



φ=50cm

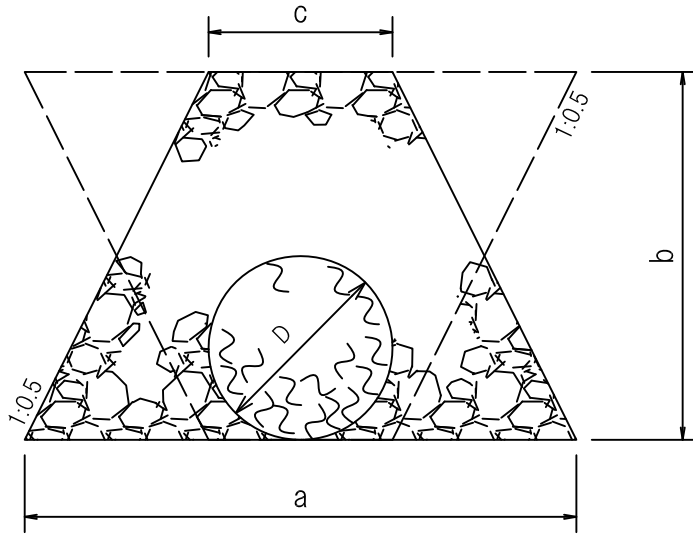


数量表 (m当たり)

管径	数量
20cm	0.129m ³
30cm	0.289m ³
40cm	0.514m ³
50cm	0.804m ³

(掘削布設の場合は点線による)

指定事項	フィルター材	φ0~4cm 砕石(RC) φ0~10cm 岩砕
------	--------	-----------------------------



(掘削布設の場合は点線による)

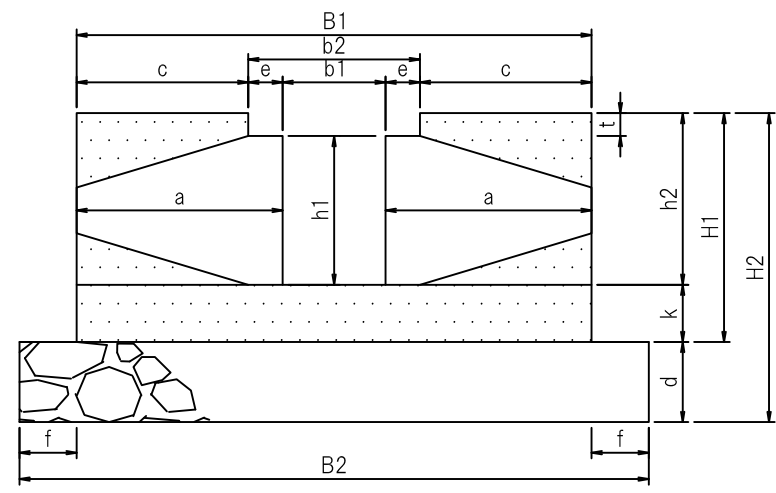
指定事項	フィルター材	φ0~ 4cm 砕石(RC) φ0~10cm 岩砕
------	--------	------------------------------

数 量 表 (m当たり)

径 (D) cm	a cm	b cm	c cm	砂 利 m ³
7.5	35	15	20	0.037
10.0	40	20	20	0.052
12.5	45	25	20	0.069
15.0	50	30	20	0.087
20.0	60	40	20	0.129
30.0	80	60	20	0.229

単位 mm

断面図



指定事項	ブロック	控 35mm
	胴込コンクリート	6号 25(20)mm 18N/mm ²
	基礎コンクリート	4号 25(20)mm 18N/mm ²
	基礎材	φ0~4cm 砕石(RC) φ5~15cm 割栗石

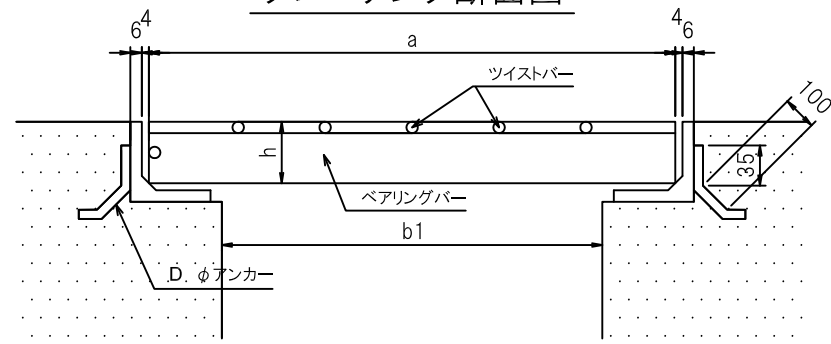
※ 設置箇所が盛土部及び埋戻部等の場合は、基礎材を栗石とする。

グレーチング横断溝寸法表

単位 m

型式	b1	b2	a	e	c	B1	h1	h2	t	k	H1	B2	f	H2	d
グレーチング 30-B型	0.30	0.42	0.35	0.060	0.290	1.00	0.30	0.356	0.056	0.10	0.456	1.20	0.10	0.606	0.15
30-A型	0.30	0.42	0.35	0.060	0.290	1.00	0.60	0.656	0.056	0.10	0.756	1.20	0.10	0.906	0.15
40-B型	0.40	0.52	0.35	0.060	0.290	1.10	0.30	0.366	0.066	0.10	0.466	1.30	0.10	0.616	0.15
40-A型	0.40	0.52	0.35	0.060	0.290	1.10	0.60	0.666	0.066	0.10	0.766	1.30	0.10	0.916	0.15
50-B型	0.50	0.62	0.35	0.060	0.290	1.20	0.30	0.381	0.081	0.10	0.481	1.40	0.10	0.631	0.15
50-A型	0.50	0.62	0.35	0.060	0.290	1.20	0.60	0.681	0.081	0.10	0.781	1.40	0.10	0.931	0.15

グレーチング断面図



グレーチング型式別寸法表

b1 mm	グレーチング			鎖		摘要
	b mm	a mm	h mm	有	無	
300	1.000	400	50			T-14荷重に耐えるもの コーナーアングル付き
400	1.000	500	60			〃
500	1.000	600	70			〃

グレーチング横断溝数量表

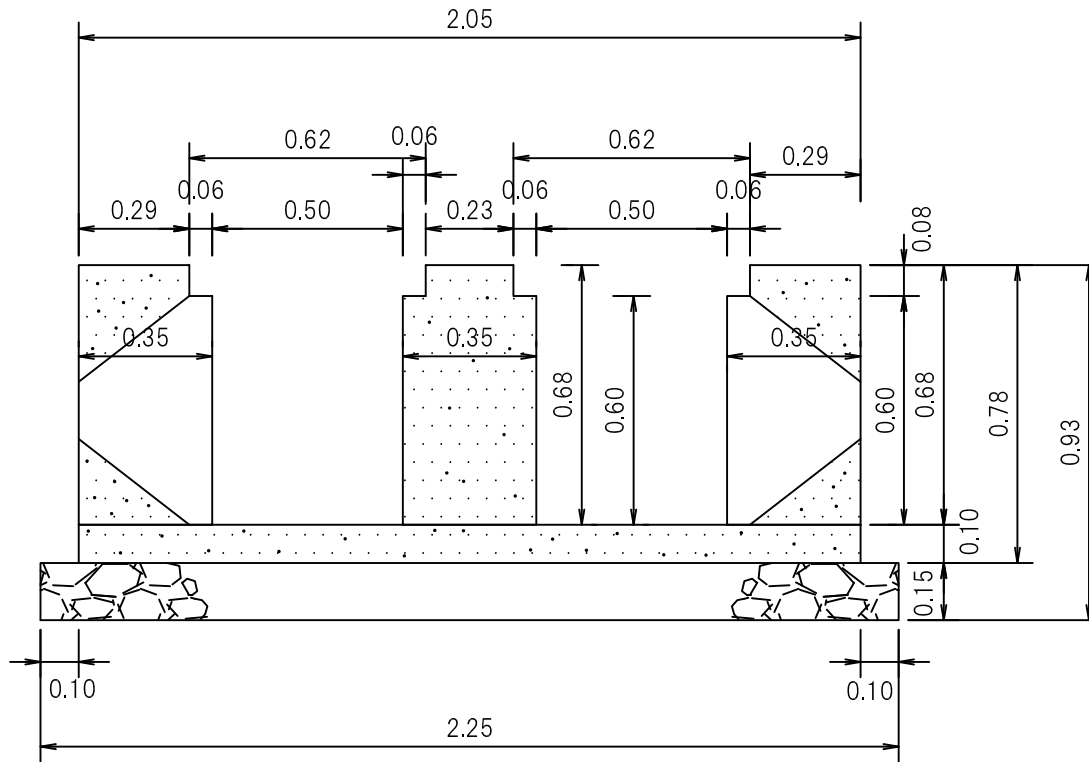
m当たり

	グレーチング (m)	ブロック (m ²)	コンクリート (m ³)	型 枠 (m ²)	基礎材 (m ³)	床 掘 (m ³)
30-B型	巾0.4m-1.000	0.600	0.132	0.424	1.20	0.727
30-A型	巾0.4m-1.000	1.200	0.132	0.424	1.20	1.087
40-B型	巾0.5m-1.000	0.600	0.148	0.464	1.30	0.801
40-A型	巾0.5m-1.000	1.200	0.148	0.464	1.30	1.191
50-B型	巾0.6m-1.000	0.600	0.167	0.524	1.40	0.883
50-A型	巾0.6m-1.000	1.200	0.167	0.524	1.40	1.303

図面番号	23-2	平成23年
図名	グレーチング横断溝L型 (2連式) 標準図	

単位 m

グレーチング横断溝L型(2連式) 断面図



指定事項	ブロック	控 35mm
	胴込コンクリート	6号 25(20)mm 18N/mm ²
	基礎コンクリート	4号 25(20)mm 18N/mm ²
	基礎材	φ0~4cm 砕石(RC) φ5~15cm 割栗石

※ 設置箇所が盛土部及び埋戻部等の場合は、基礎材を栗石とする。

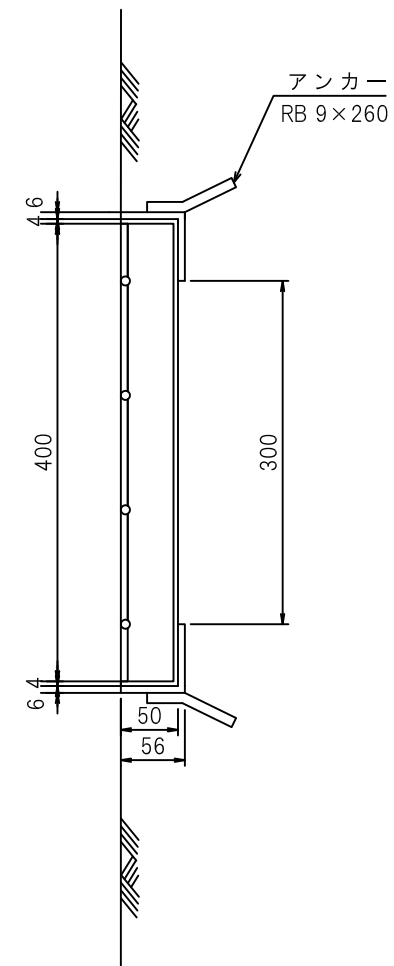
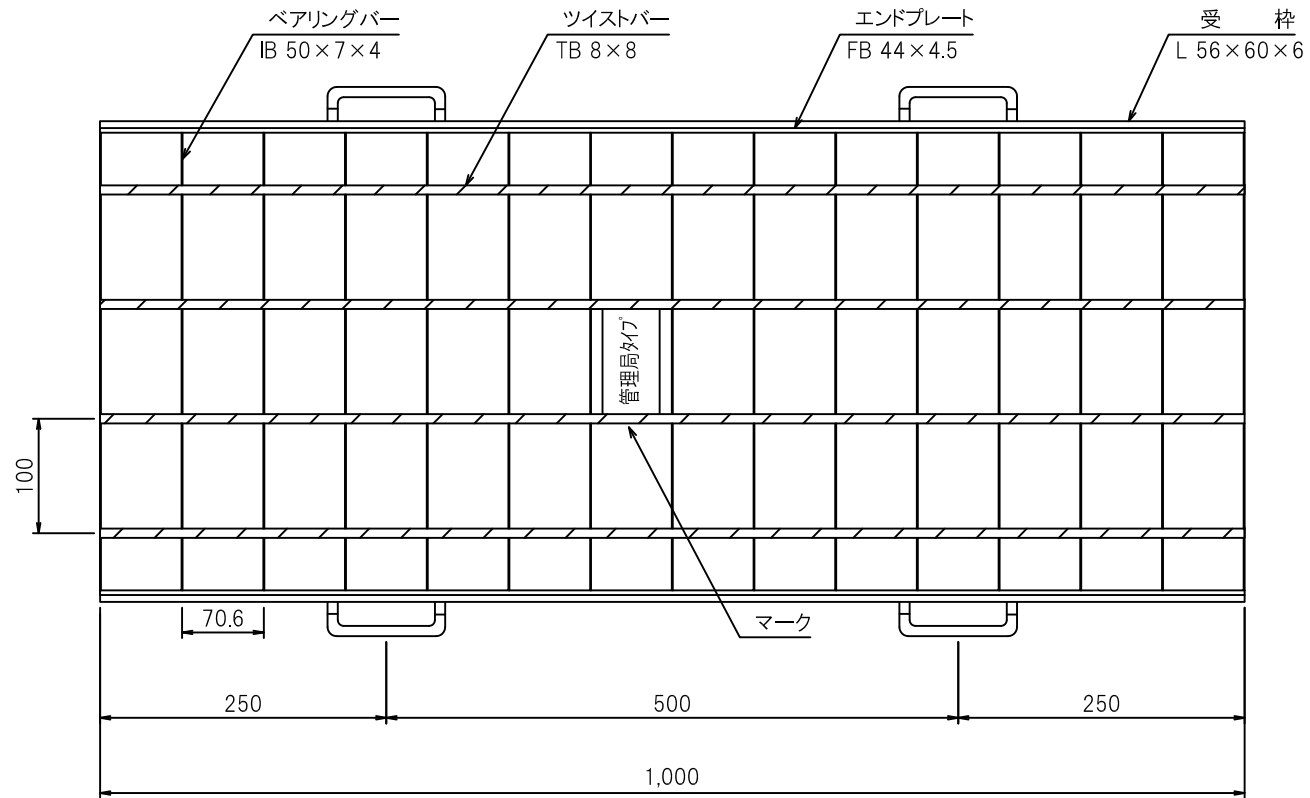
グレーチング横断溝数量表

m当たり

	グレーチング (m)	ブロック (m ²)	コンクリート (m ³)	型 枠 (m ²)	基礎材 (m ³)	床 堀 (m ³)
50-A型×2	巾0.6m×2.0m	1.200	0.481	1.706	2.25	2.09

図面番号	23-3	平成23年
図名	グレーチング(局タイプ) T-14溝幅300用	

単位 mm

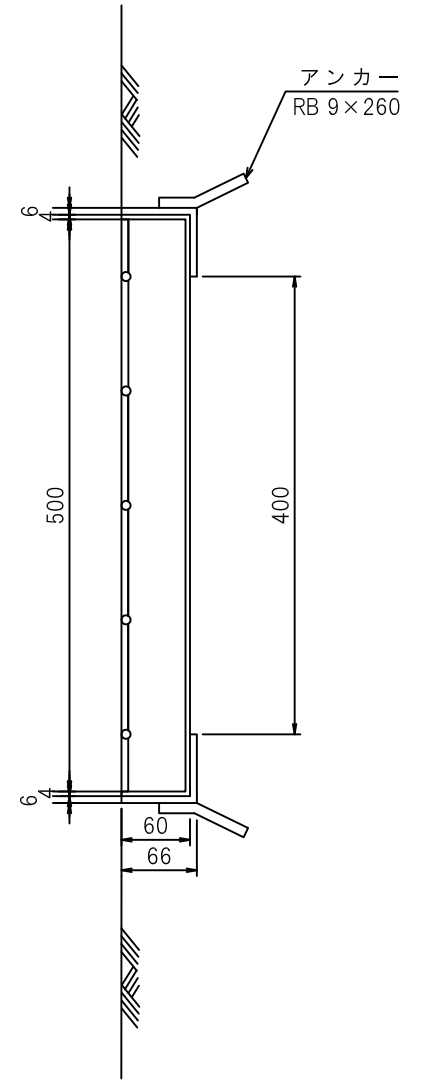
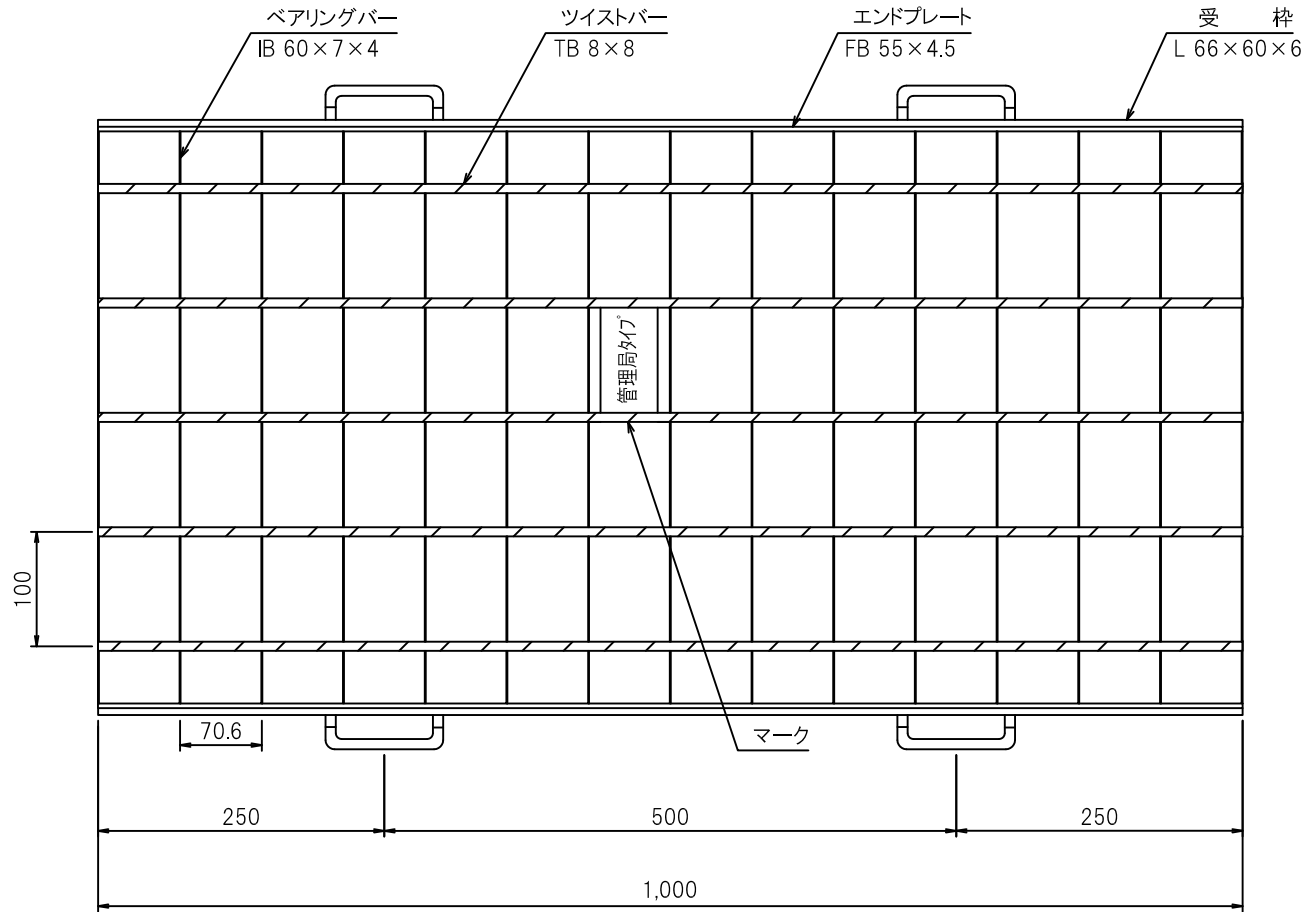


記事

型式	M050-30L
表面処理	グレーチング:亜鉛メッキ
	受 枠:黒ペイント

図面番号	23-4	平成23年
図名	グレーチング(局タイプ) T-14溝幅400用	

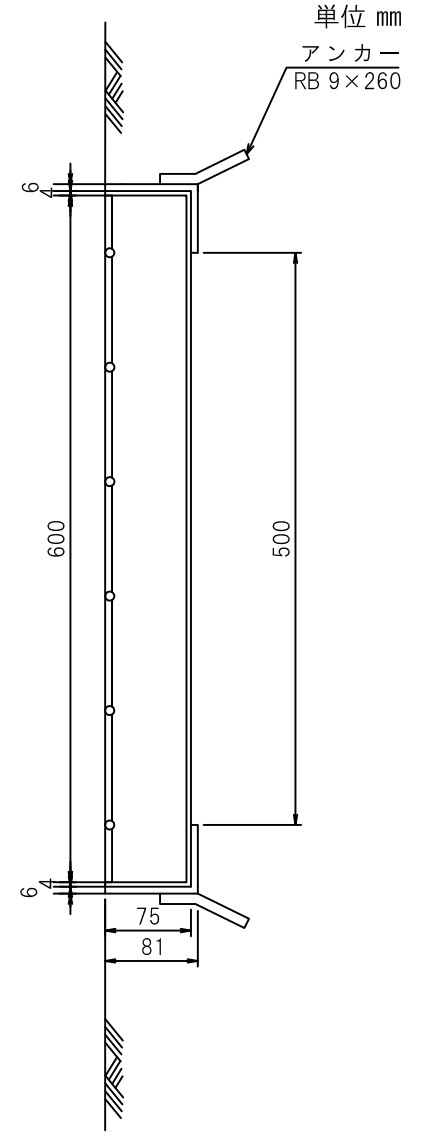
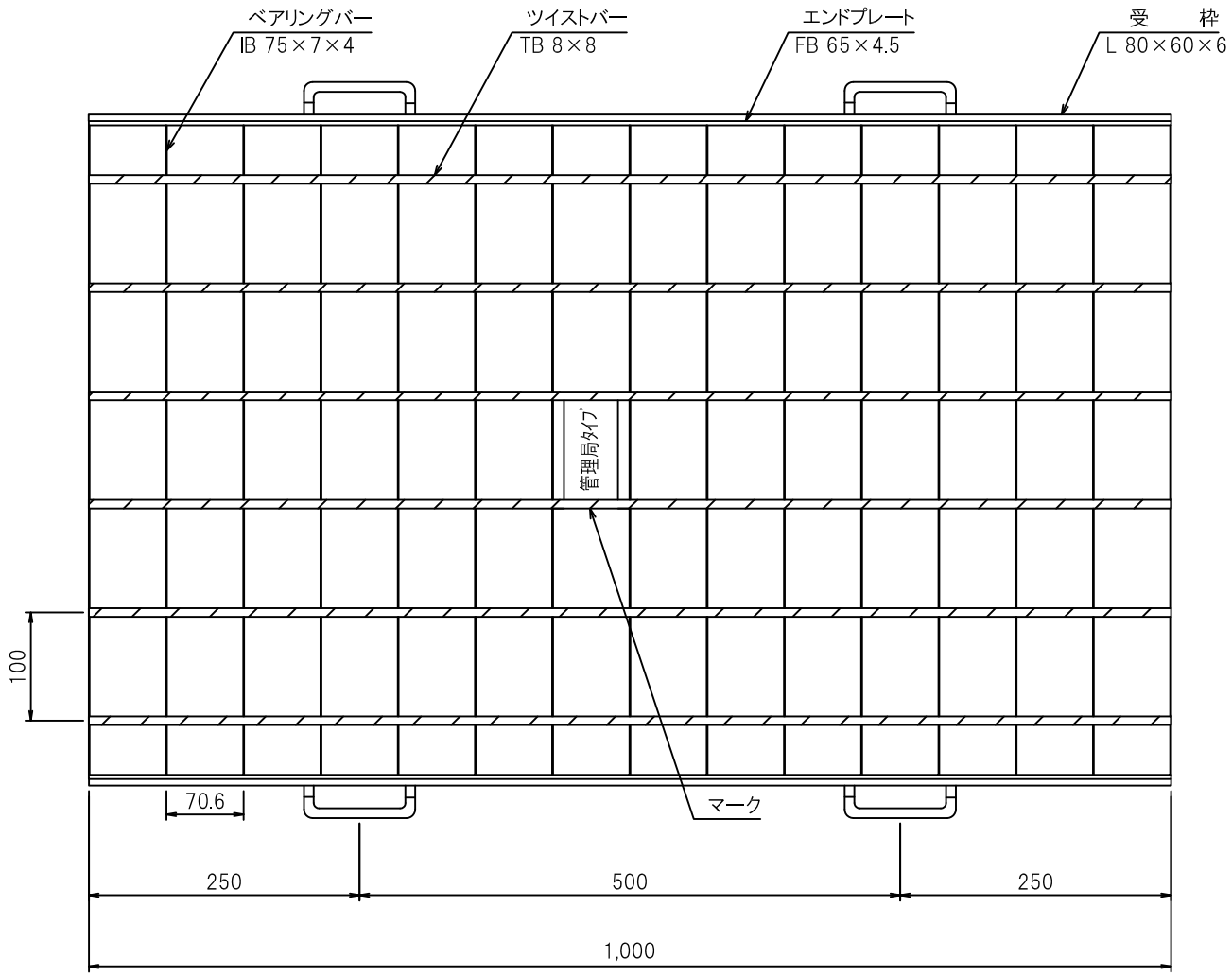
単位 mm



記 事

型 式	M060-40L
表面処理	グレーチング:亜鉛メッキ 受 枠:黒ペイント

図面番号	23-5	平成23年
図名	グレーチング(局タイプ) T-14溝幅500用	



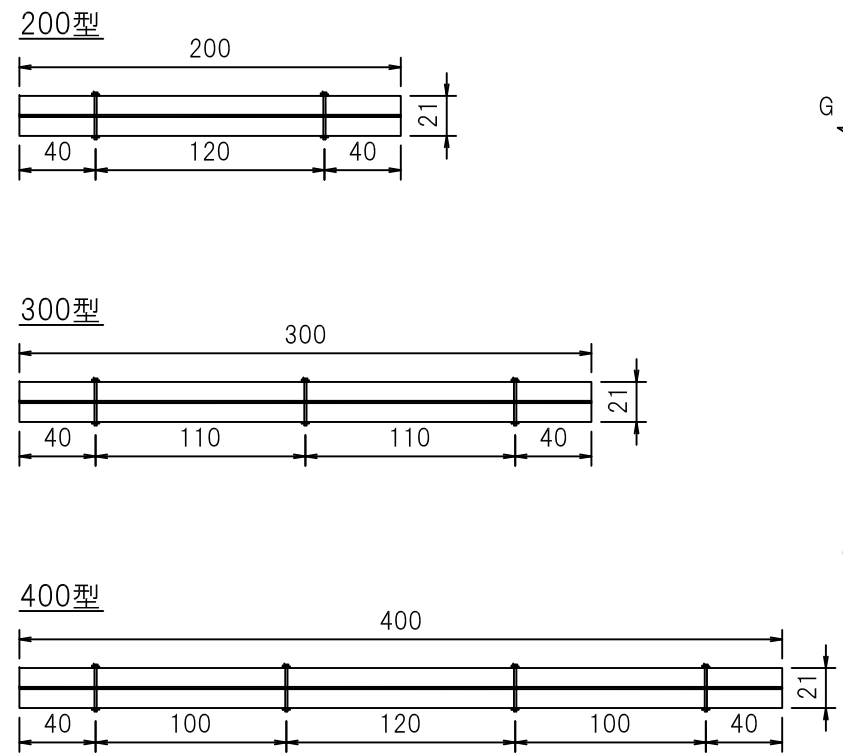
記事

型 式	M075-50L
表面処理	グレーチング:亜鉛メッキ 受 枠:黒ペイント

図面番号	25	平成10年
図名	木製路面排水工 標準図	

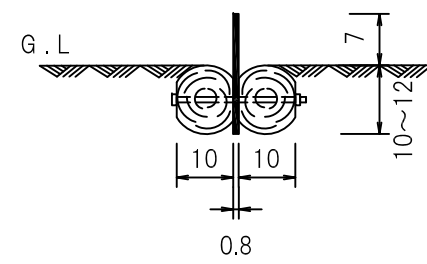
単位 cm

標準図

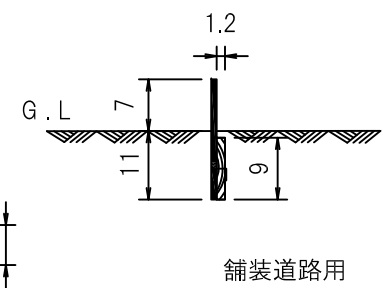


ウォーターガイドのサイズ
 厚さ 0.8cm 幅 18cm 長さ 200・300・400cm

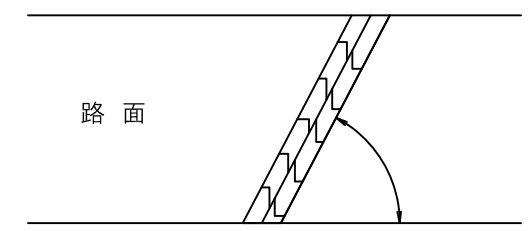
Aタイプ



Bタイプ



設置図



特記事項

- ① ベルトが路上にでる部分を最高8cmとする。
- ② 丸太は末口と元口を相互に使用しないこと。
- ③ 設置場所が広い場合山側に布設すること。
- ④ 丸太は路面よりやや低めとする。

取付角度による横断溝の布設勾配(x)

単位 %

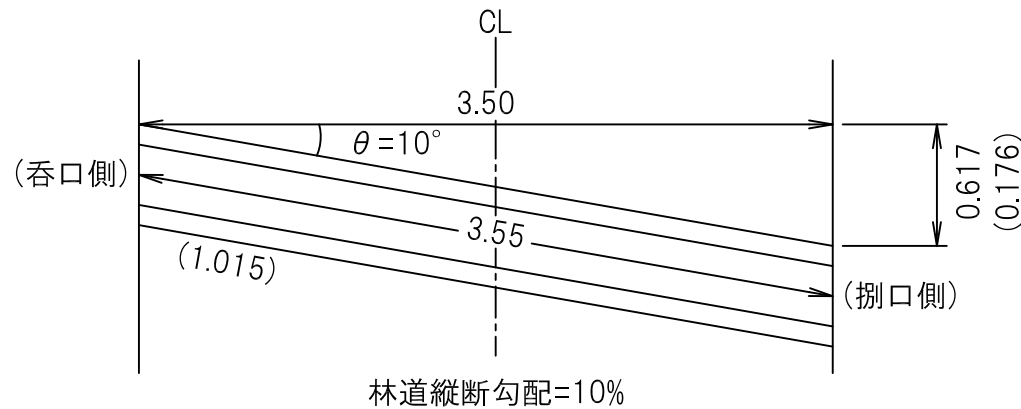
単位 m

取付角度 (θ)	斜係数	谷係数	縦断勾配 (%)					
			3%	5%	8%	10%	12%	15%
5度	1.004	0.087	(0.26)	(0.44)	0.70	0.87	1.05	1.31
10度	1.015	0.176	0.53	0.88	1.41	1.76	2.12	2.64
15度	1.035	0.268	0.80	1.34	2.14	2.68	3.22	4.02
20度	1.064	0.368	1.09	1.82	2.91	3.64	4.37	5.46
25度	1.103	0.466	1.40	2.33	3.73	4.66	5.60	6.99
30度	1.155	0.577	1.73	2.89	4.62	5.77	6.93	8.66
35度	1.221	0.700	2.10	3.50	5.60	7.00	8.40	10.50
40度	1.305	0.839	2.52	4.20	6.71	8.39	10.07	12.59
45度	1.414	1.000	3.00	5.00	8.00	10.00	12.00	15.00

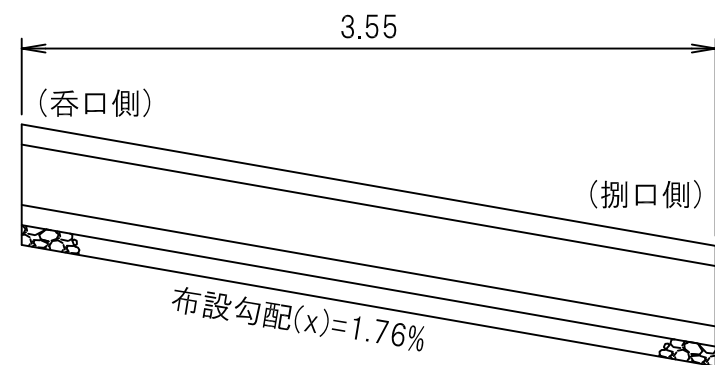
() 林道技術指計 0.5%以上

$$\text{布設勾配}(x)\% = \tan \theta \times \text{縦断勾配} \times 100$$

平面図



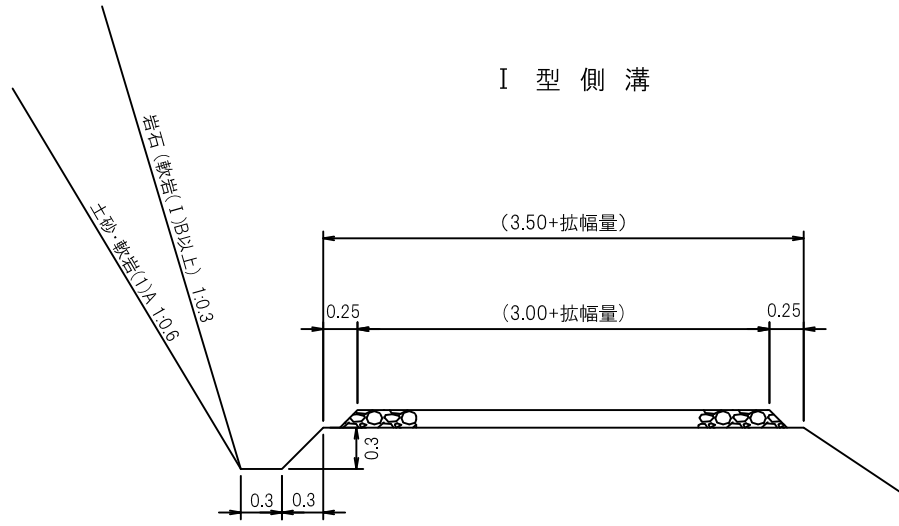
横断図



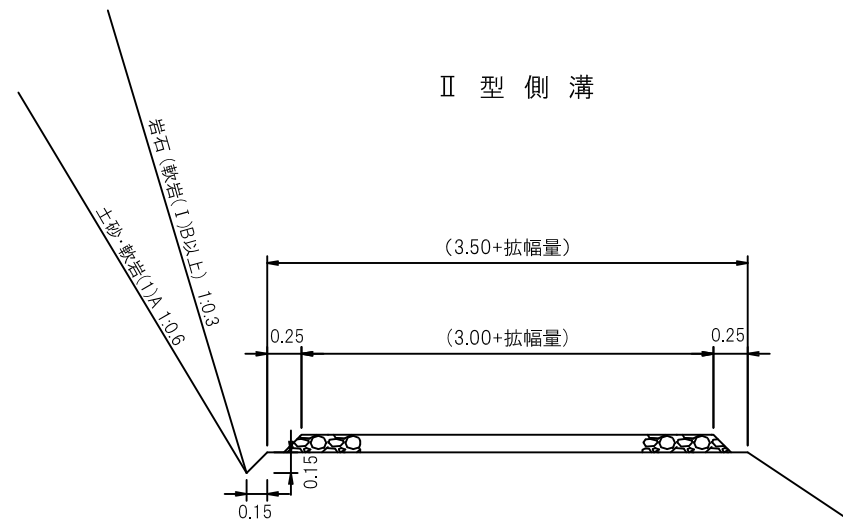
図面番号	30	平成23年
図名	素堀側溝 標準図	

単位 m

I 型側溝



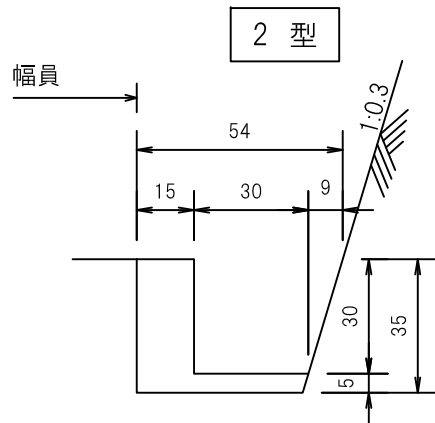
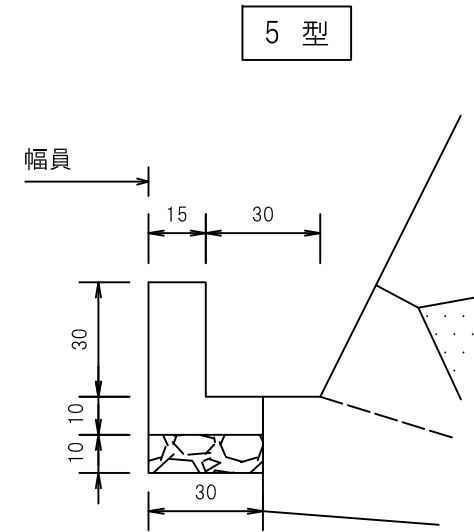
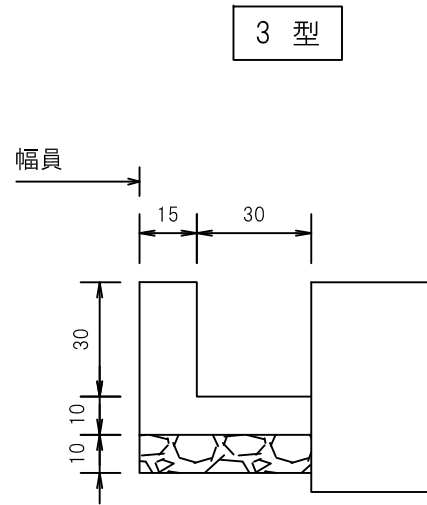
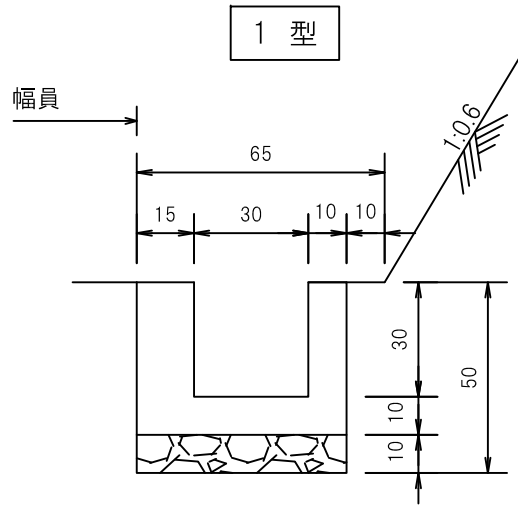
II 型側溝



図面番号	31	平成23年
図名	コンクリート側溝 標準図	

単位 cm

指定事項	型式	型
	コンクリート	4号 25(20)mm 18N/mm ²
	基礎碎石	φ0~10cm 岩砕、φ0~4cm 砕石(RC)



型式	材 料			
	基礎碎石(m ³)	コンクリート(m ³)	型枠(m ²)	床堀(m ³)
1 型	0.55	0.130	1.400	0.275
2 型		0.067	0.650	0.171
3 型	0.45	0.090	0.700	0.225
5 型	0.30	0.075	0.700	0.150

図面番号	32-1	平成23年
図名	R.C.U側溝 (添えコン有り) 標準図	

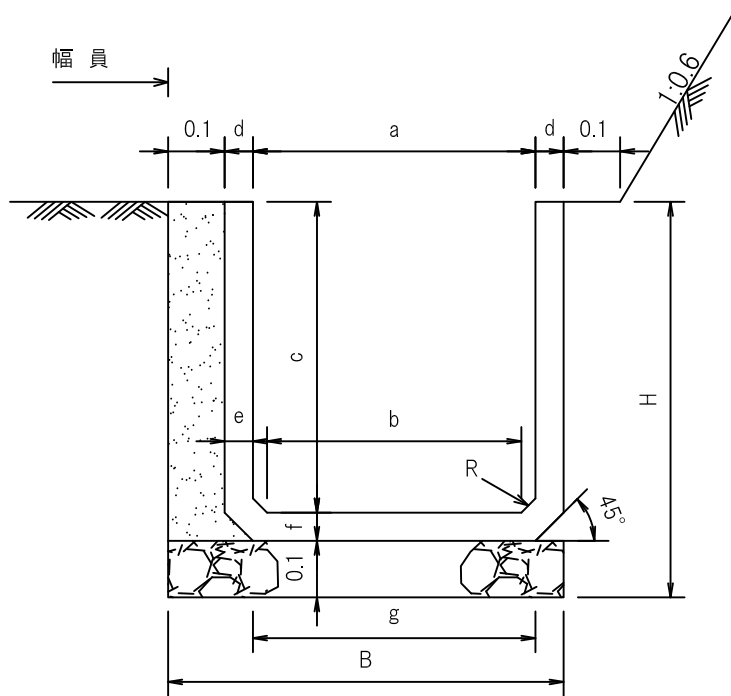
単位 m

指定事項	コンクリート	4号 25(20)mm 18N/mm ²
	基礎砕石	φ0~10cm 岩砕、φ0~4cm 砕石(RC)

※ R=30m以下の外カーブで輪荷重の
かかる箇所に適用する。

寸法表

型式	寸法 (m)							
	a	b	c	d	e	f	g	R
U150	0.15	0.14	0.15	0.030	0.035	0.035	0.16	0.03
U180	0.18	0.17	0.18	0.035	0.040	0.040	0.19	0.05
U240	0.24	0.22	0.24	0.045	0.050	0.050	0.24	0.05
U300A	0.30	0.26	0.24	0.050	0.060	0.060	0.30	0.05
U300B	0.30	0.26	0.30	0.050	0.060	0.060	0.30	0.05
U300C	0.30	0.26	0.36	0.050	0.060	0.065	0.30	0.05
U360A	0.36	0.31	0.30	0.050	0.065	0.065	0.36	0.05
U360B	0.36	0.31	0.36	0.050	0.065	0.065	0.36	0.05
U450	0.45	0.40	0.45	0.055	0.070	0.070	0.43	0.07
U600	0.60	0.54	0.60	0.070	0.080	0.080	0.60	0.07



基礎寸法及び数量表

型式	寸法 (m)				材 料 表 m当たり			
	a+2b	B	c+f	H	基礎砕石 (m ³)	コンクリート (m ³)	型枠 (m ²)	床掘 (m ³)
U150	0.21	0.31	0.185	0.285	0.31	0.019	0.185	0.088
U180	0.25	0.35	0.220	0.320	0.35	0.023	0.220	0.112
U240	0.33	0.43	0.290	0.390	0.43	0.030	0.290	0.168
U300A	0.40	0.50	0.300	0.400	0.50	0.031	0.300	0.200
U300B	0.40	0.50	0.360	0.460	0.50	0.037	0.360	0.230
U300C	0.40	0.50	0.425	0.525	0.50	0.044	0.425	0.263
U360A	0.46	0.56	0.365	0.465	0.56	0.038	0.365	0.260
U360B	0.46	0.56	0.425	0.525	0.56	0.044	0.425	0.294
U450	0.56	0.66	0.520	0.620	0.66	0.054	0.520	0.409
U600	0.74	0.84	0.680	0.780	0.84	0.070	0.680	0.655

指 定 事 項		
	基礎碎石	$\phi 0\sim 10\text{cm}$ 岩碎、 $\phi 0\sim 4\text{cm}$ 碎石(RC)

単位 m

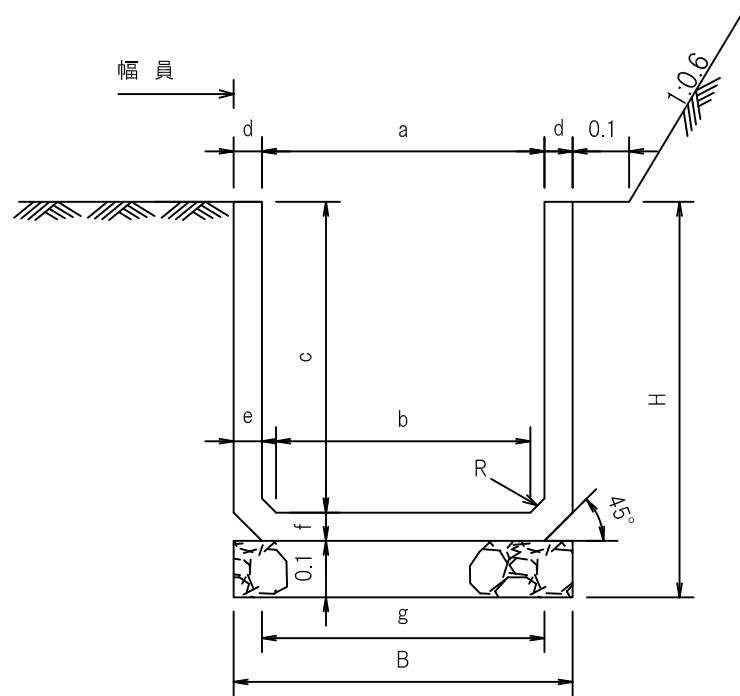
※ 輪荷重がかからない箇所に適用する。
(R=30m以下の外カーブであっても輪荷重がかからない場合は適用)

寸 法 表

型 式	寸 法 (m)							
	a	b	c	d	e	f	g	R
U150	0.15	0.14	0.15	0.030	0.035	0.035	0.16	0.03
U180	0.18	0.17	0.18	0.035	0.040	0.040	0.19	0.05
U240	0.24	0.22	0.24	0.045	0.050	0.050	0.24	0.05
U300A	0.30	0.26	0.24	0.050	0.060	0.060	0.30	0.05
U300B	0.30	0.26	0.30	0.050	0.060	0.060	0.30	0.05
U300C	0.30	0.26	0.36	0.050	0.060	0.065	0.30	0.05
U360A	0.36	0.31	0.30	0.050	0.065	0.065	0.36	0.05
U360B	0.36	0.31	0.36	0.050	0.065	0.065	0.36	0.05
U450	0.45	0.40	0.45	0.055	0.070	0.070	0.43	0.07
U600	0.60	0.54	0.60	0.070	0.080	0.080	0.60	0.07

基礎寸法及び数量表

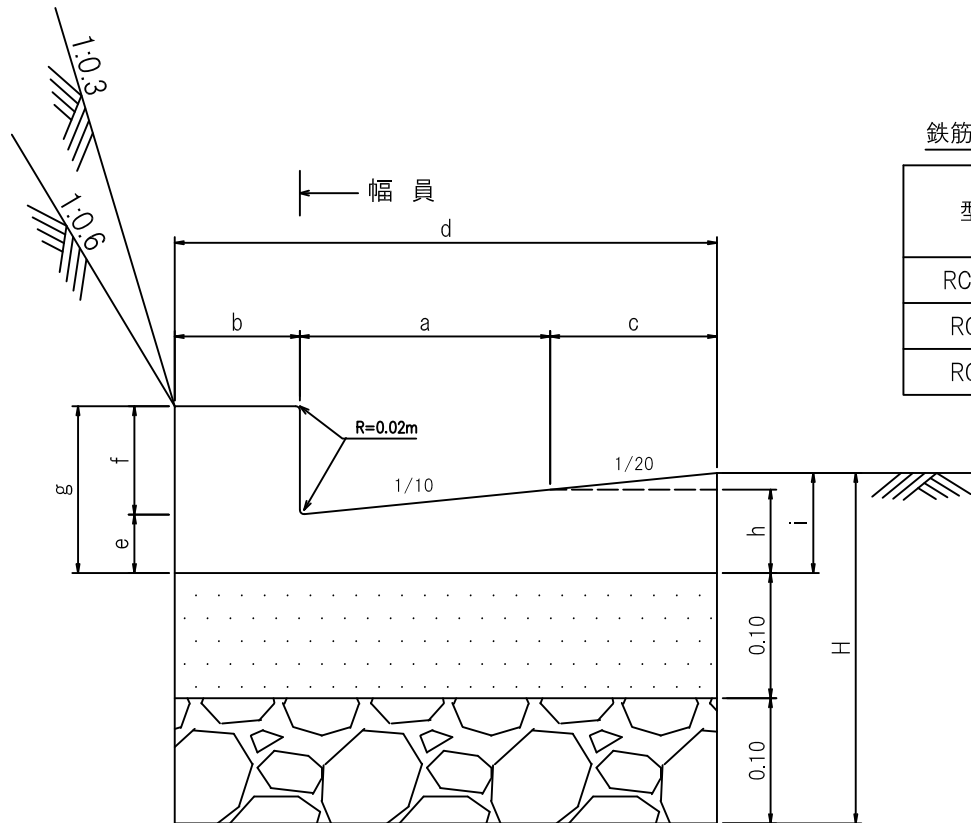
型 式	寸 法 (m)				材 料 表 m当たり	
	a+2b	B	c+f	H	基礎碎石 (m ²)	床 掘 (m ³)
U150	0.21	0.21	0.185	0.285	0.21	0.060
U180	0.25	0.25	0.220	0.320	0.25	0.080
U240	0.33	0.33	0.290	0.390	0.33	0.129
U300A	0.40	0.40	0.300	0.400	0.40	0.160
U300B	0.40	0.40	0.360	0.460	0.40	0.184
U300C	0.40	0.40	0.425	0.525	0.40	0.210
U360A	0.46	0.46	0.365	0.465	0.46	0.214
U360B	0.46	0.46	0.425	0.525	0.46	0.242
U450	0.56	0.56	0.520	0.620	0.56	0.347
U600	0.74	0.74	0.680	0.780	0.74	0.577



図面番号	33	平成23年
図名	R.C.L側溝 (鉄筋コンクリートL型) 標準図	

単位 m

指定事項	コンクリート	4号 25(20)mm 18N/mm ²
	基礎砕石	φ0~10cm 岩砕、φ0~4cm 砕石(RC)



鉄筋コンクリートL型側溝 寸法表

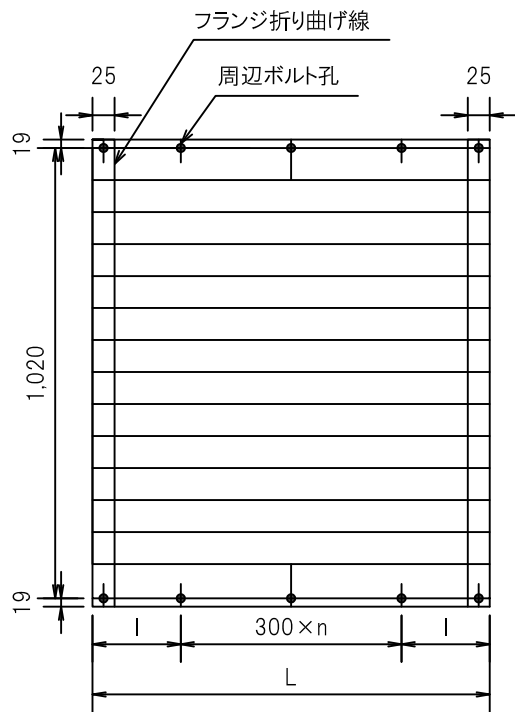
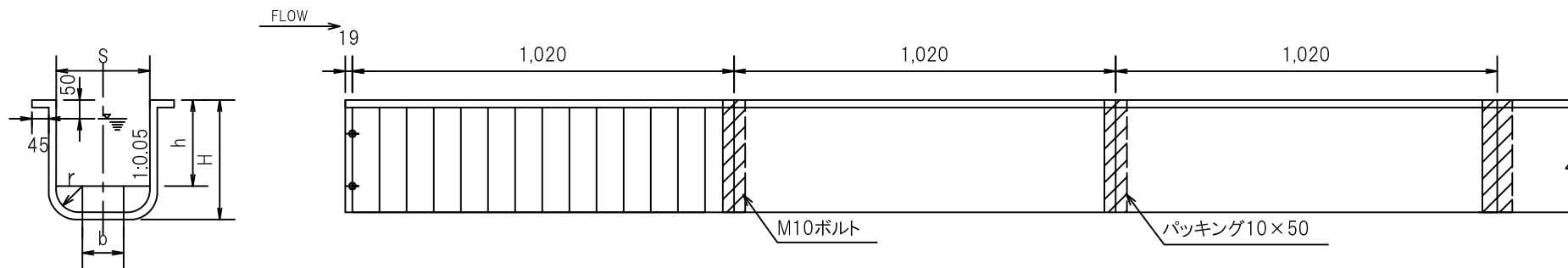
型別	寸法 (m)								
	a	b	c	d	e	f	g	h	i
RC-L250B	0.25	0.10	0.10	0.45	0.055	0.10	0.155	0.080	0.085
RC-L300	0.30	0.10	0.10	0.50	0.055	0.10	0.155	0.085	0.090
RC-L350	0.35	0.10	0.10	0.55	0.055	0.10	0.155	0.090	0.095

基礎寸法及び数量表

型別	寸法 (m)		材料 (m当たり)			
	d	H	基礎砕石 (m ²)	コンクリート (m ³)	型枠 (m ²)	床掘 (m ³)
RC-L250B	0.45	0.285	0.45	0.045	0.2	0.128
RC-L300	0.50	0.290	0.50	0.050	0.2	0.145
RC-L350	0.55	0.295	0.55	0.055	0.2	0.162

図面番号	37-1	平成3年
図名	コルゲートU字フリューム A型 標準図	

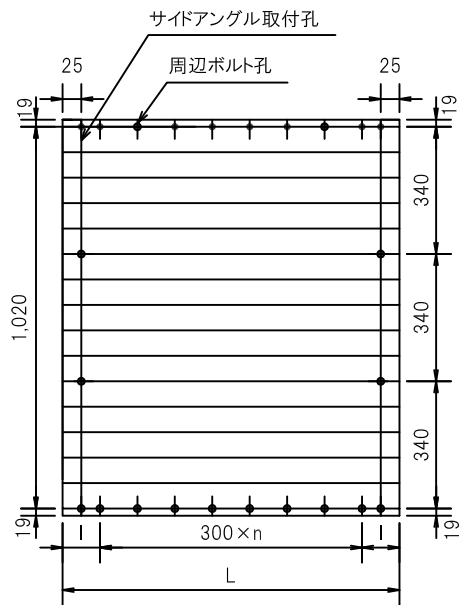
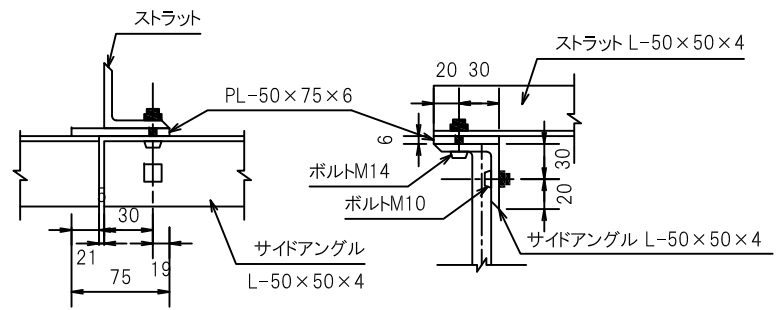
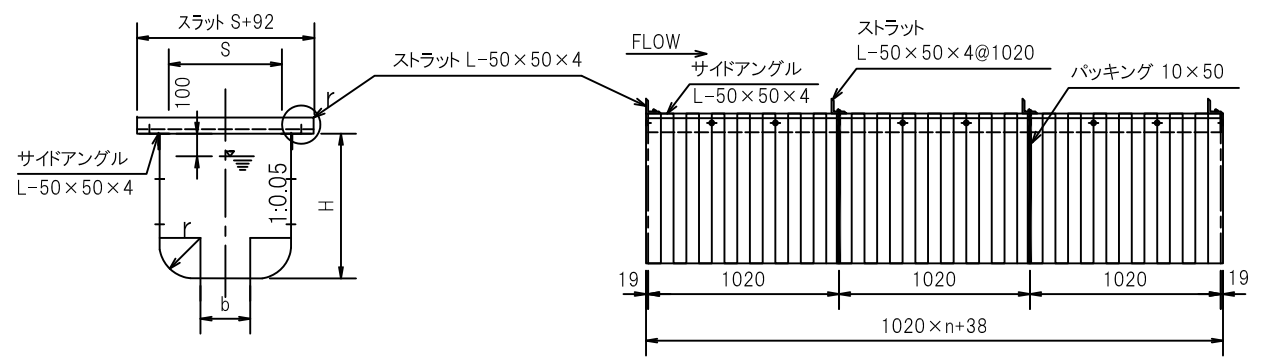
単位 mm



(単位 mm)

形 式	S	H	r	h	b	L	l	n	標準板厚
A-350×350	350	350	140	217	50	1027	213.5	2	1.6
A-400×400	400	400	140	267	95	1172	136	3	1.6
A-450×450	450	450	140	317	140	1318	209	3	1.6
A-500×500	500	500	140	367	185	1463	281.5	3	1.6
A-550×550	550	550	140	417	230	1608	204	4	1.6
A-600×600	600	600	140	467	275	1753	276.5	4	1.6
A-650×650	650	650	140	517	320	1898	199	5	1.6
A-700×700	700	700	140	567	365	2043	271.5	5	2.0
A-750×750	750	750	140	617	410	2188	194	6	2.7

単位 mm

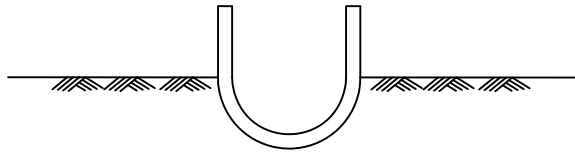


標準寸法

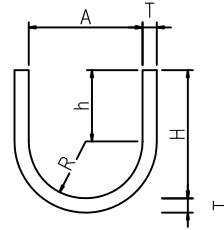
(単位 mm)

形式	S	H	r	h	b	L	l	n	ストラット長さ L-50×50×4	標準板厚
B-800×450	800	450	250	213	279	1488	144	4	892	1.6
B-800×750	800	750	250	513	249	2057	278.5	5	892	1.6
B-900×800	900	800	250	563	344	2253	226.5	6	992	1.6
B-1000×600	1000	600	250	363	464	1973	236.5	5	1092	1.6
B-1000×850	1000	850	250	613	439	2449	174.5	7	1092	1.6
B-1100×900	1100	900	250	663	534	2644	272	7	1192	1.6
B-1200×700	1200	700	250	463	654	2362	281	6	1292	1.6
B-1200×950	1200	950	250	713	629	2838	219	8	1292	1.6
B-1300×1000	1300	1000	250	763	724	3033	166.5	9	1392	1.6
B-1400×800	1400	800	250	563	844	2753	176.5	8	1492	1.6
B-1400×1050	1400	1050	250	813	819	3228	264	9	1492	2.0

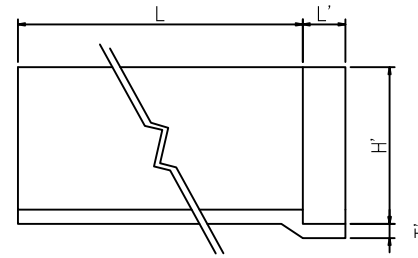
基礎図



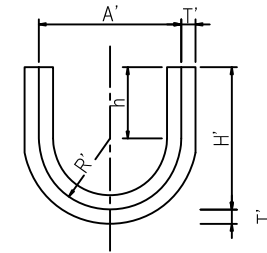
断面図



側面図



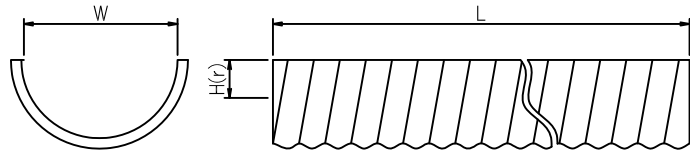
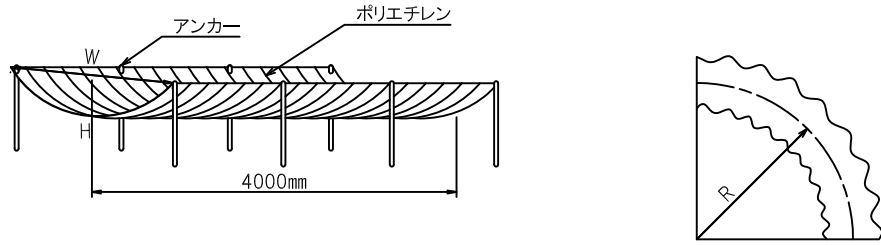
断面図



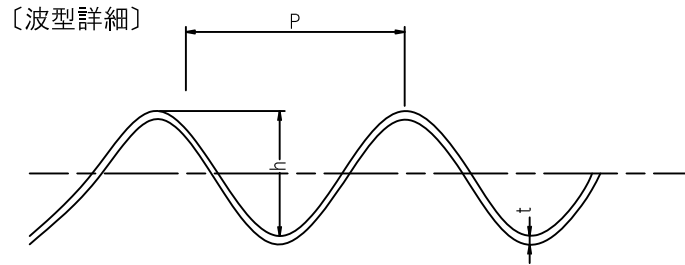
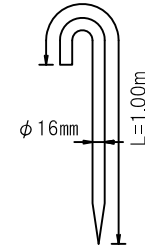
寸法表

型式	呼び方	公称寸法 A × H	寸法 (mm)								L	
			T	h	R	A'	H'	T'	L'	R'	公称 2m	公称 4m
1号	200	210×200	28	100	100	279	234	28	100	134	1995	3995
2号	250	260×240	30	115	125	332	276	30	100	161	1955	3995
3号	300	310×275	32	125	150	390	315	32	100	190	1955	3995
4号	350	360×315	35	140	175	446	358	35	120	218	1955	3995
5号	400	425×350	38	150	200	517	396	38	120	246	1955	3995
6号	450	480×390	45	165	225	590	445	45	140	280	1955	3995
7号	500	530×425	52	175	250	654	487	52	140	312	1955	-
8号	560	600×480	58	200	280	736	548	58	140	348	1955	-
9号	600	640×500	60	200	300	780	570	60	140	370	1955	-
10号	700	745×575	70	225	350	905	655	70	140	430	1955	-

図面番号	39	平成元年
図名	P型U字溝 標準図	



アンカー
(丸鋼)



形式別規格寸法表

単位=mm

呼称	平均内幅	深さ	平均肉厚	全長	波型部		アンカー(丸鋼φ16mm)		曲率半径
	W	H(r)	t	L	P	h	L×kg/m	本/4m	R
200	180	90	3.7	4000	50.8	9	1000×1.560	8	612
250	240	120	4.2	4000	50.8	9	1000×1.560	8	750
300	290	145	4.2	4000	63.5	22	1000×1.560	8	933
350	318	159	4.8	4000	63.5	22	1000×1.560	8	1020
400	366	183	5.1	4000	63.5	24	1000×1.560	8	1170
450	420	210	5.8	4000	63.5	26	1000×1.560	8	1335
500	460	230	6.5	4000	76.2	27	1000×1.560	8	1470
600	558	279	7.2	4000	76.2	28	1000×1.560	8	1770
800	800	400	8.2	4000	88.9	40	1000×1.560	8	2598
1000	1000	500	8.3	4000	88.9	60	1000×1.560	8	3270

特記事項

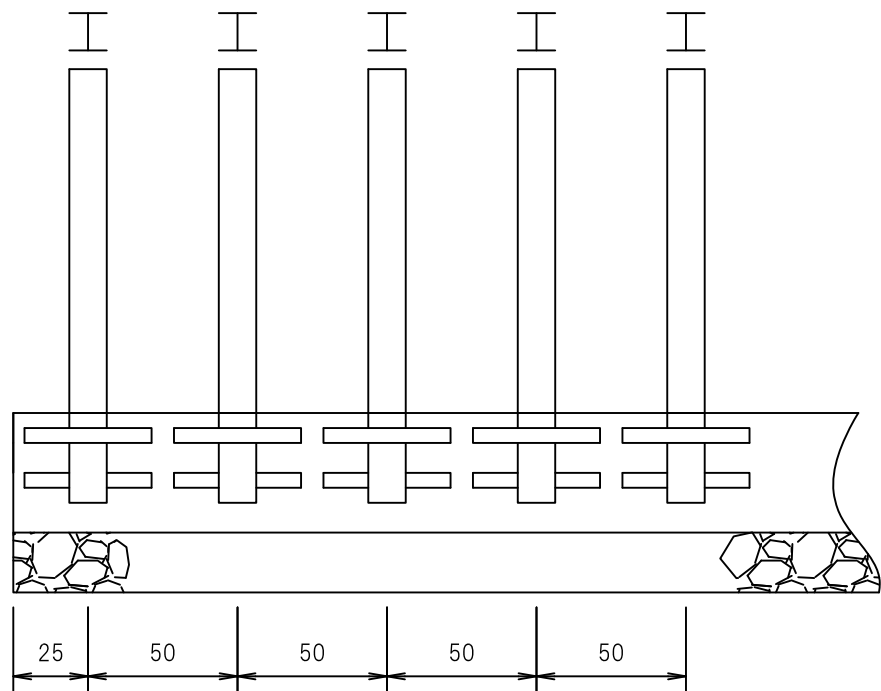
- ① 曲率半径Rは4mのU字溝に対し、一方を固定して他方を強制的に曲げて曲げる寸法。
- ② U字溝の接続部は、通常3山重ねて施工
有効長=L-(P×1.5)

図面番号	43	平成10年
図名	流木除け工 (H型) 標準図	

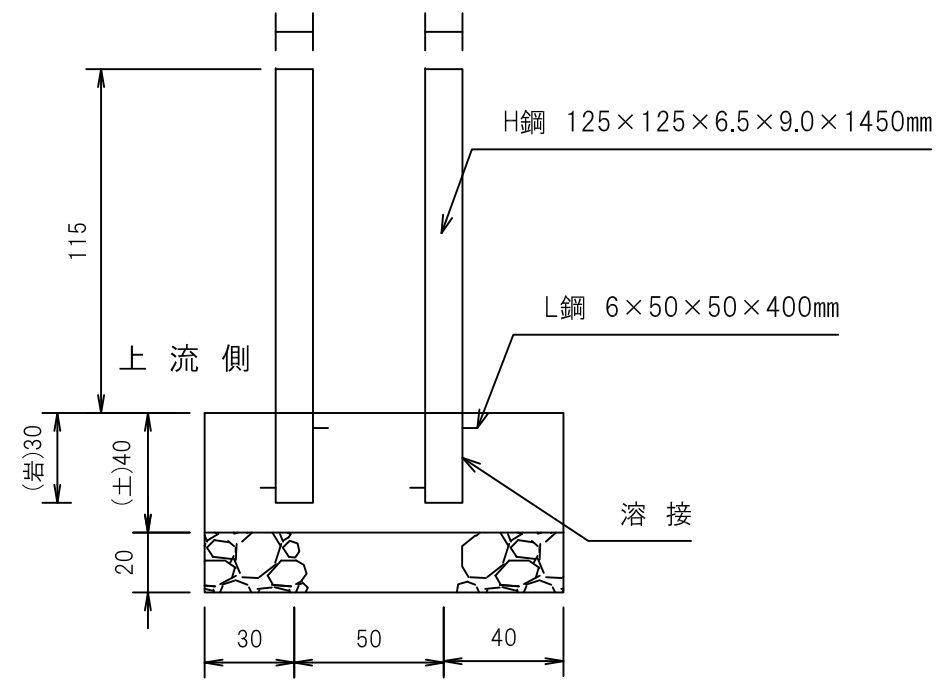
単位 cm

指定事項	コンクリート	1号 40mm 18N/mm ²
	基礎栗石	φ5~15cm 割栗石
	その他	

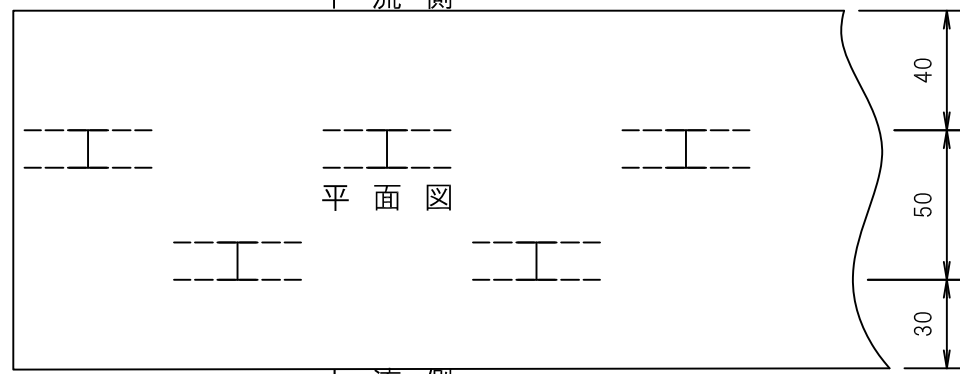
正面図



側面図



下流側



平面図

上流側

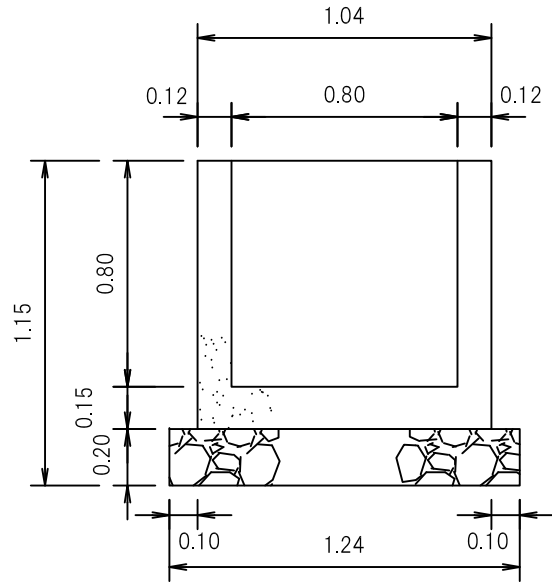
数量表

m当たり

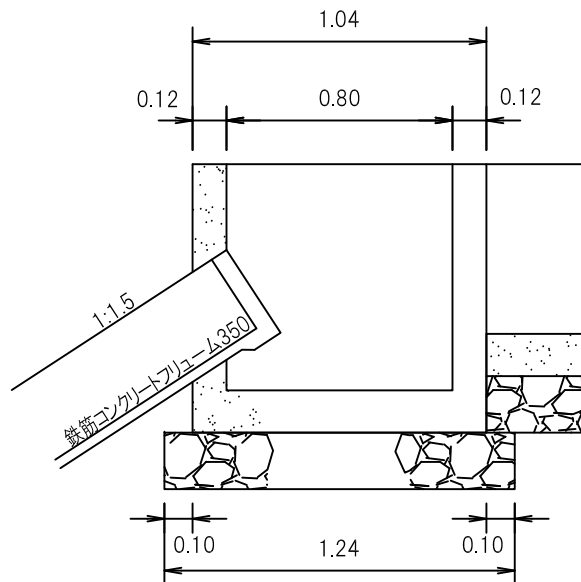
型式	基礎	コンクリート	型枠	鉄骨	基礎栗石	床堀
H型	土	0.480 m ³	0.80 (端)0.96	76 kg	1.2 m ²	0.72 m ³
	岩	0.360 m ³	0.60 (端)0.72	76 kg	—	0.36 m ³
材料寸法 及び 算定基礎	H鋼 125×125×6.5×9.0×1450mm				34.51kg	
	L鋼 6×50×50×400mm				34.51×2=69.02kg	
				1.77kg		
溶接 4箇所				1.77×4=7.08kg		

単位 m

SM80 正面図



側面図



指 定 事 項	コンクリート	5号 25(20)mm 18N/mm ²
	基礎碎石	φ3~5cm 岩碎 φ0~4cm 碎石(RC)

数 量 表

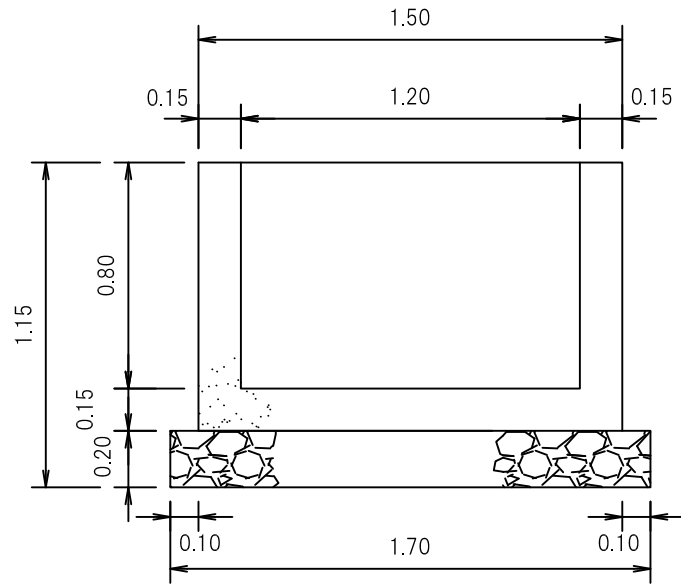
1箇所当たり

取付横断溝 名 称	コンクリート m ²				型 枠 m ²				基 礎 砕 石 m ²
	SM-80 (集水柵)	フリューム 控除量	横断溝 控除量	計	SM-80 (集水柵)	フリューム 控除量	横断溝 控除量	計	
30-B型	0.5155	0.0212	0.0130	0.48	6.512	0.3527	0.2160	5.9	1.54
30-A型	0.5155	0.0212	0.0238	0.47	6.512	0.3527	0.3960	5.8	1.54
40-B型	0.5155	0.0212	0.0173	0.48	6.512	0.3527	0.2880	5.9	1.54
40-A型	0.5155	0.0212	0.0317	0.46	6.512	0.3527	0.5280	5.6	1.54
木製30-B型	0.5155	0.0212	0.0270	0.47	6.512	0.3527	0.4500	5.8	1.54
木製30-A型	0.5155	0.0212	0.0162	0.48	6.512	0.3527	0.2700	5.9	1.54
U字溝横断用300A	0.5155	0.0212	0.0321	0.46	6.512	0.3527	0.5356	5.6	1.54
U字溝横断用400A	0.5155	0.0212	0.0484	0.45	6.512	0.3527	0.8064	5.4	1.54

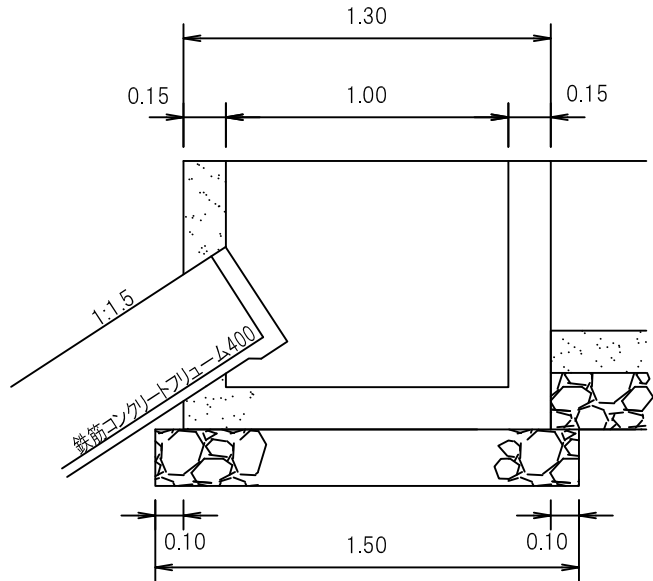
図面番号	44-2	平成23年
図名	集水柵工SM120 標準図	

単位 m

SM120 正面図



側面図



指 定 事 項	コンクリート	5号 25(20)mm 18N/mm ²
	基礎碎石	φ3~5cm 岩碎 φ0~4cm 碎石(RC)

数 量 表

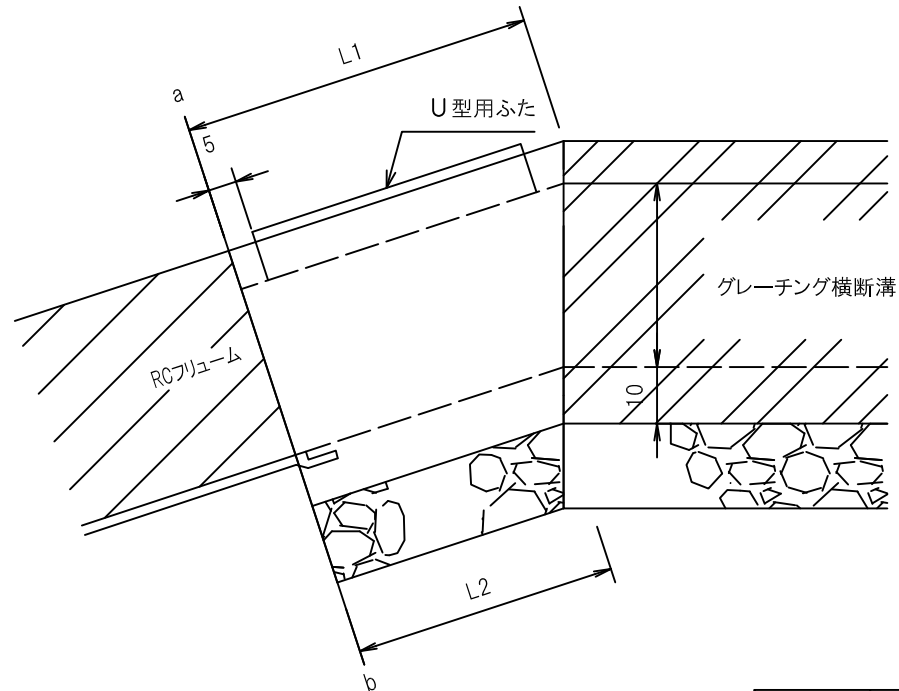
1箇所当たり

取付横断溝 名 称	コンクリート m ²				型 枠 m ²				基 礎 砕 石 m ²
	SM-120 (集水柵)	フリューム 控除量	横断溝 控除量	計	SM-120 (集水柵)	フリューム 控除量	横断溝 控除量	計	
50-B型	0.8925	0.0337	0.0278	0.83	8.8400	0.4497	0.3700	8.0	2.55
50-A型	0.8925	0.0337	0.0503	0.81	8.8400	0.4497	0.6700	7.7	2.55
U字溝横断用500A	0.5155	0.0212	0.0849	0.41	6.512	0.3527	1.1325	5.0	2.55

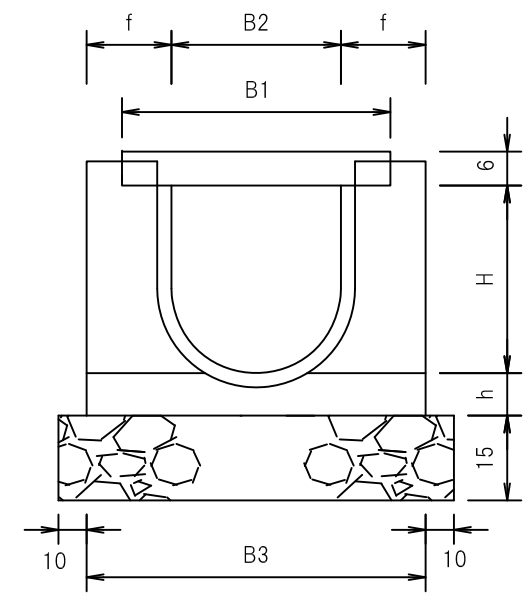
図面番号	45	平成23年
図名	飛水防止用作工物 標準図	

単位 cm

指 定 事 項	コンクリート	5号 25(20)mm 18N/mm ²
	基礎砕石	φ3~5cm 岩砕 φ0~4cm 砕石(RC)



a - b 断面



数 量 表

(単位:1ヶ所)

寸 法 表 (単位:cm)

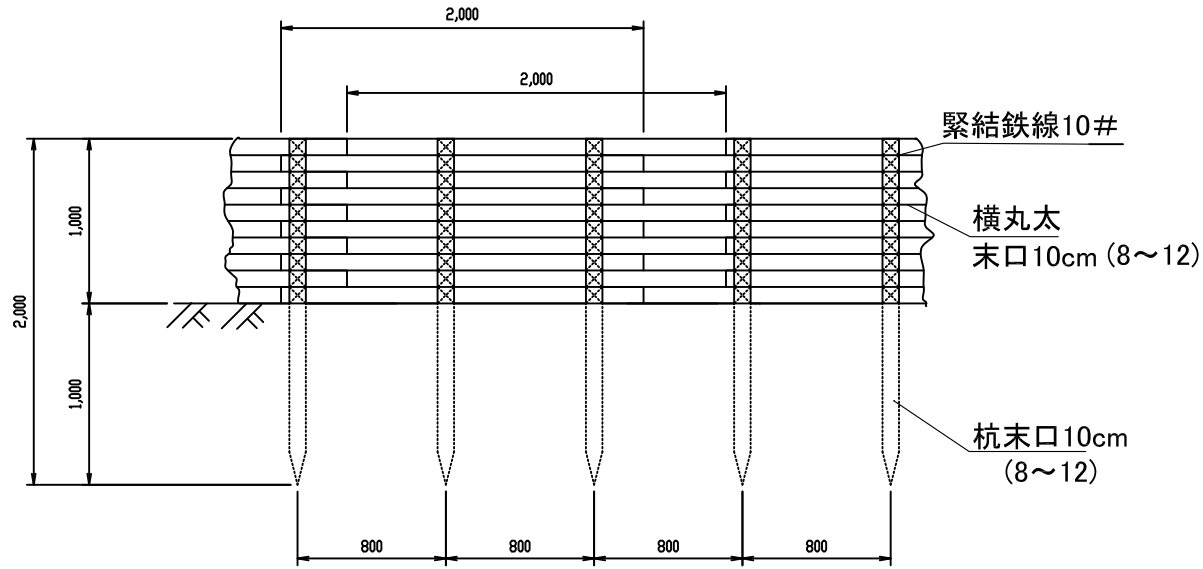
型 式	B1	f	B2	B3	H	h	L1	L2
Sm-30B	40	20	26	66	24	9	70	50
Sm-30A	46	20	36	76	31.5	10	70	40
Sm-40B	46	20	36	76	31.5	8	70	50
Sm-40A	56	20	48	88	39	10	70	40
Sm-50B	46	20	36	76	31.5	8	70	50
Sm-50A	74	20	53	93	53	10	70	40

型 式	組 合 せ		コンクリートU型用ふた				取 付 部		基 礎 砕 石 (m ³)
	横 断 溝	コンクリートフリューム	種 類	幅 (cm)	厚 (cm)	長 (cm)	コンクリート (m ³)	型 枠 (m ²)	
Sm-30B	グレーチング 30-B型	呼び名 2号(250)	呼び名 300	40	6	60	0.10	1.0	0.43
Sm-30A	"	"	"	46	6.5	60	0.13	1.2	0.38
Sm-40B	"	"	"	46	6.5	60	0.13	1.2	0.48
Sm-40A	"	"	"	56	7	60	0.16	1.4	0.43
Sm-50B	"	"	"	46	6.5	60	0.13	1.2	0.48
Sm-50A	"	"	"	74	7.5	60	0.23	1.6	0.45

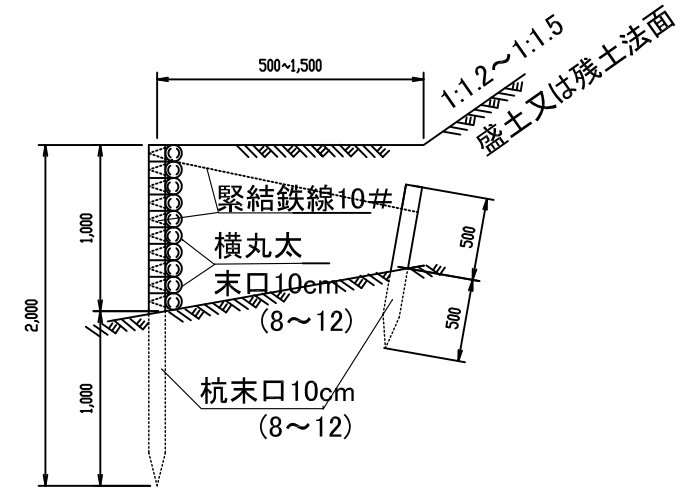
図面番号	49-1	平成23年
図名	木柵工(A) (柵高1.0m) 標準図	

単位 mm

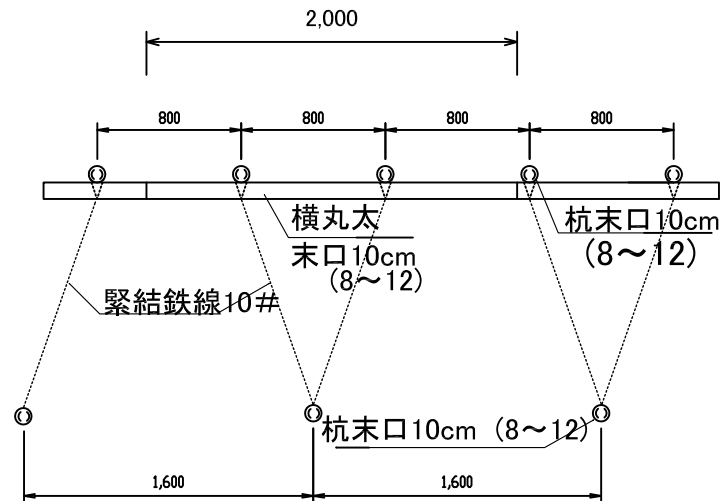
正面図



側面図



平面図



数量表

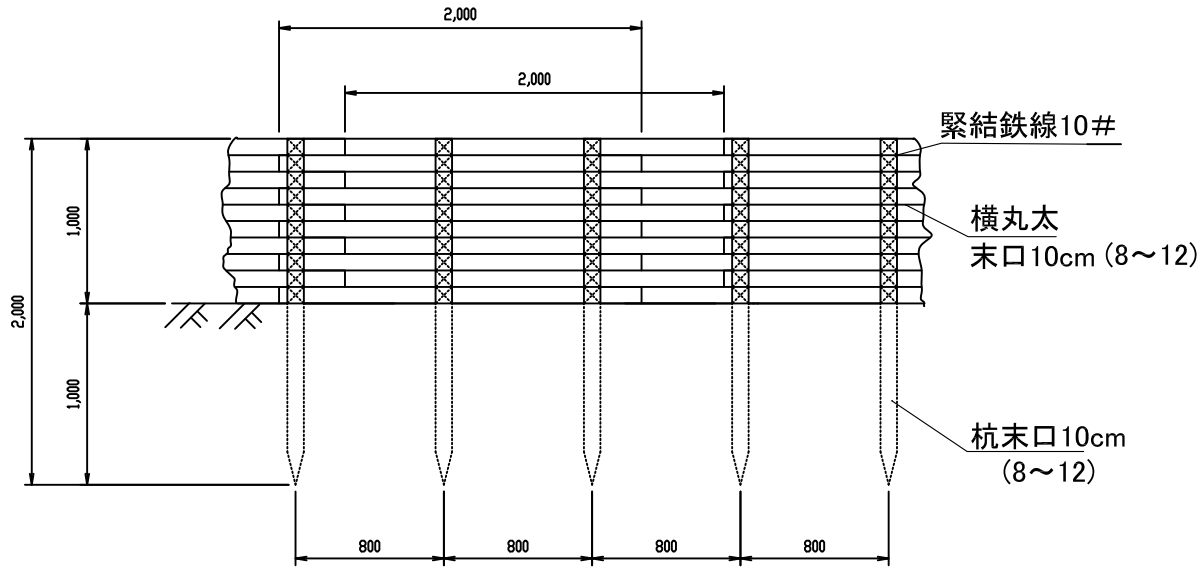
10m当たり

名称	規格	数量	摘要
主杭	末口径0.100×2.00長	13本 0.26m ³	必要に応じ防腐処理材
控杭	末口径0.10×1.00長	6本 0.06m ³	〃
横木	末口径0.10×2.00長	50本 1.00m ³	〃
小計		1.32m ³	
鉄線	#10 290m×0.062kg/m	17.98kg	130箇所×2m=260m(2重締) 6箇所×5m=30m
計			

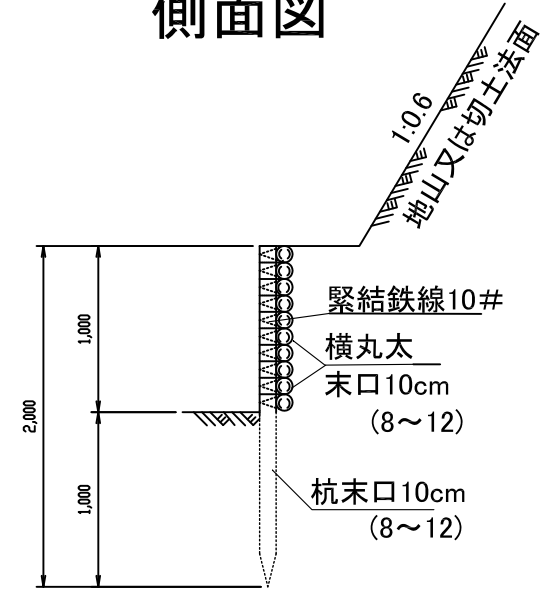
図面番号	49-2	平成23年
図名	木柵工(C) (柵高1.0m控杭なし) 標準図	

単位 mm

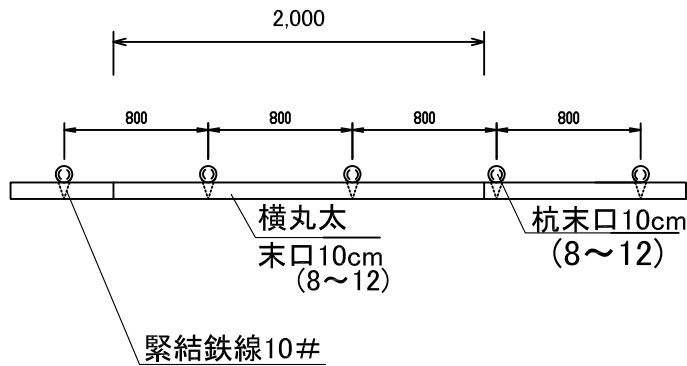
正面図



側面図



平面図



数量表

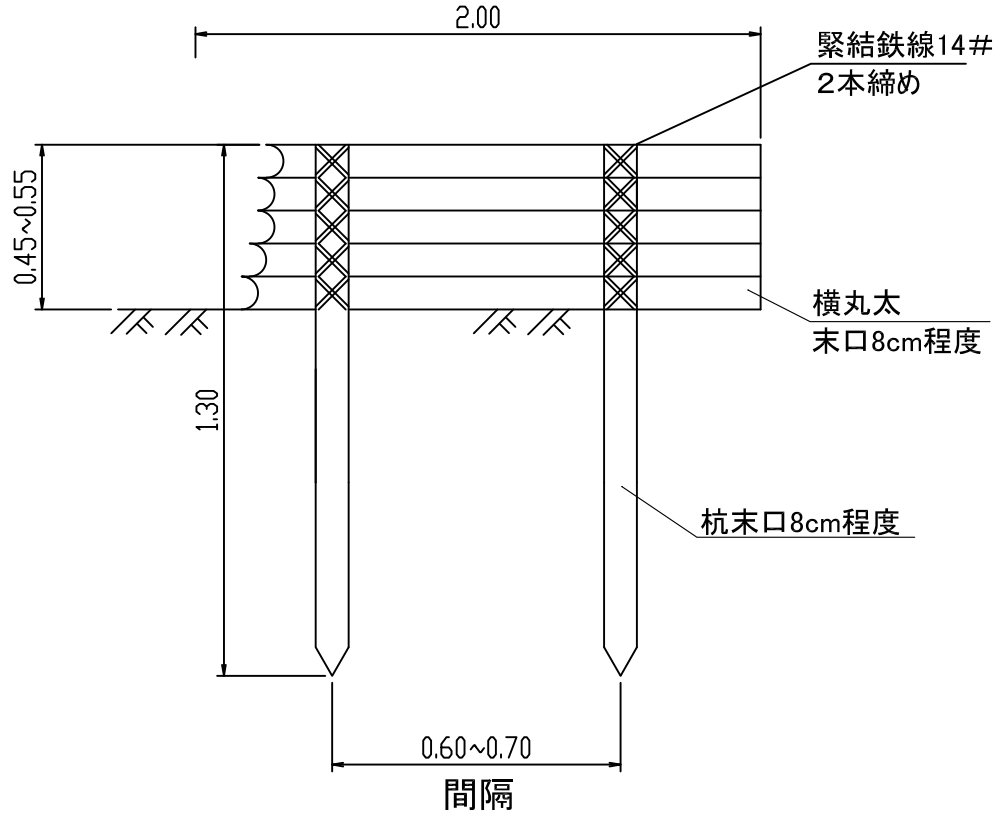
10m当たり

名称	規格	数量	摘要
主杭	末口径0.100×2.00長	13本 0.26m ³	必要に応じ防腐処理材
横木	末口径0.10×2.00長	30本 0.60m ³	"
小計		0.86m ³	
鉄線	#10 200m×0.062kg/m	12.40kg	100箇所×2m=200m(2重締)
計			

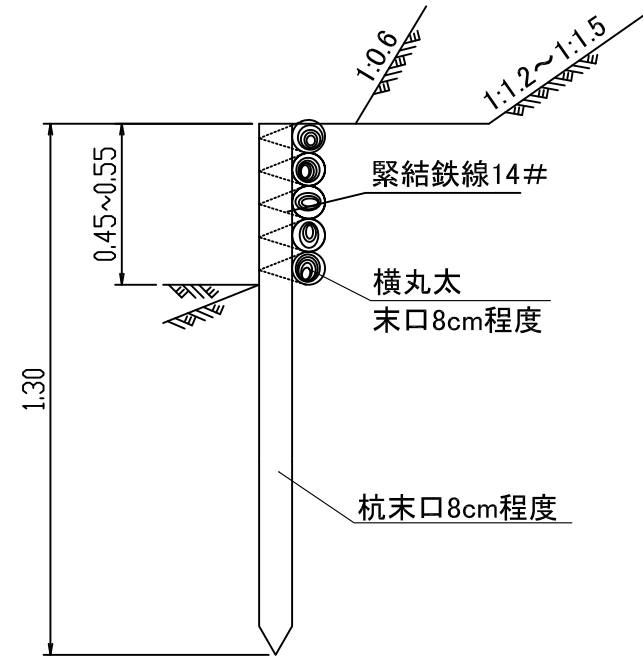
図面番号	49-3	平成23年
図名	木 柵 工 (柵高 0.45~0.55m) 標 準 図	

単位 m

正面図



側面図



数 量 表

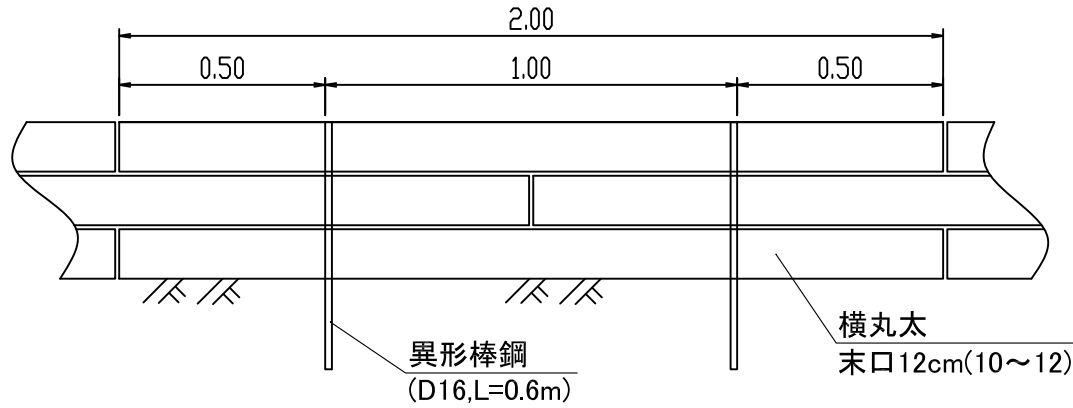
(10.0m当たり)

名称	規格	数量	単位	摘要
杭	木 L=1.3m 末口径8cm程度	(0.120) 15.00	(m3) 本	1本当たり0.008 スギ・ヒノキ
横	木 L=2.0m 末口径8cm程度	(0.325) 25.00	(m3) 本	1本当たり0.013 スギ・ヒノキ
鉄	線 14# 線なまし	3.56	Kg	1箇所2.0m 13×5=65箇所

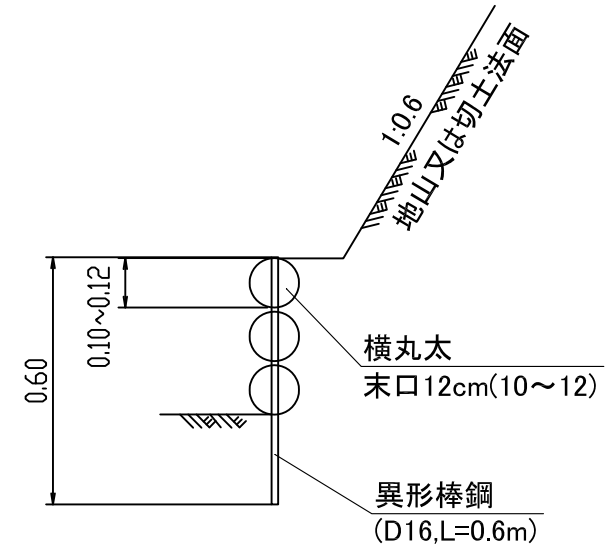
図面番号	50	平成23年
図名	丸太筋工 (横木3本・鉄筋杭) 標準図	

単位 mm

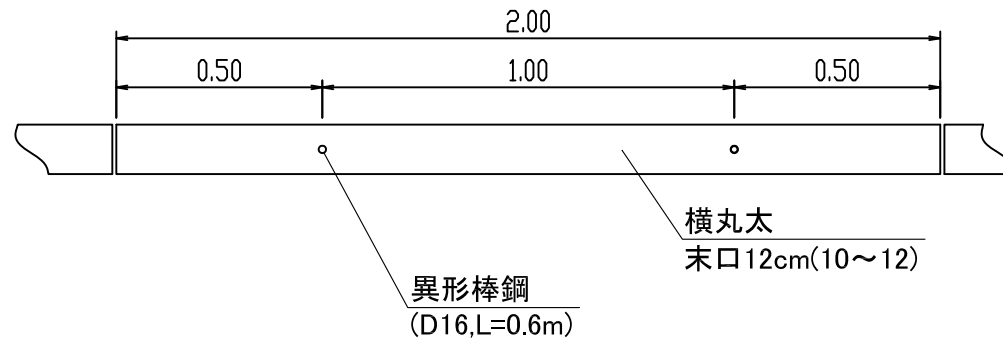
正面図



側面図



平面図



数量表

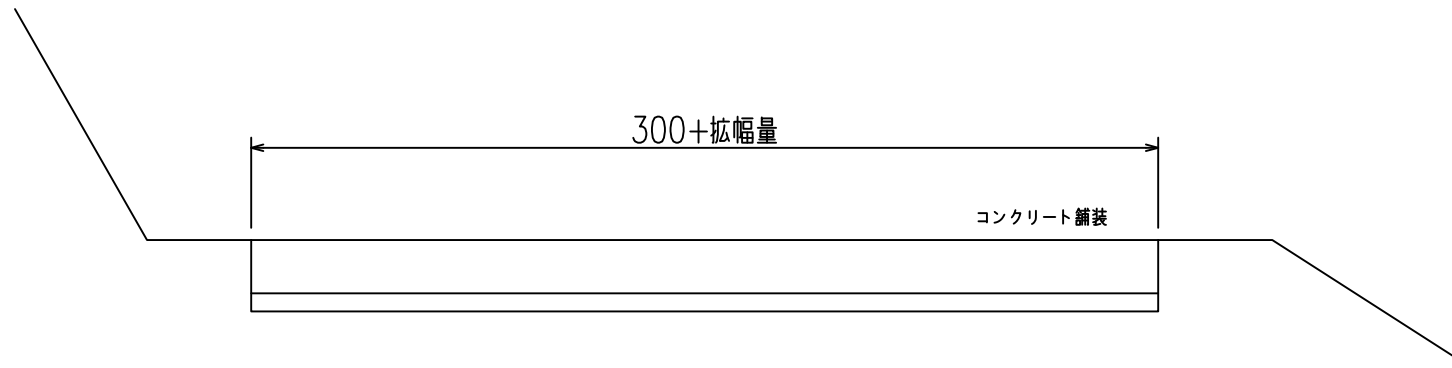
10m当たり

名称	規格	数量	単位	備考
横木	末口径10~12cm L = 2.0m	15.0 0.43	本 m ³	スギ・ヒノキ
鉄筋(異形)	鉄筋径 16mm L = 0.6m	10.0 (4.73)	本 (kg)	横木1本当たり2本使用

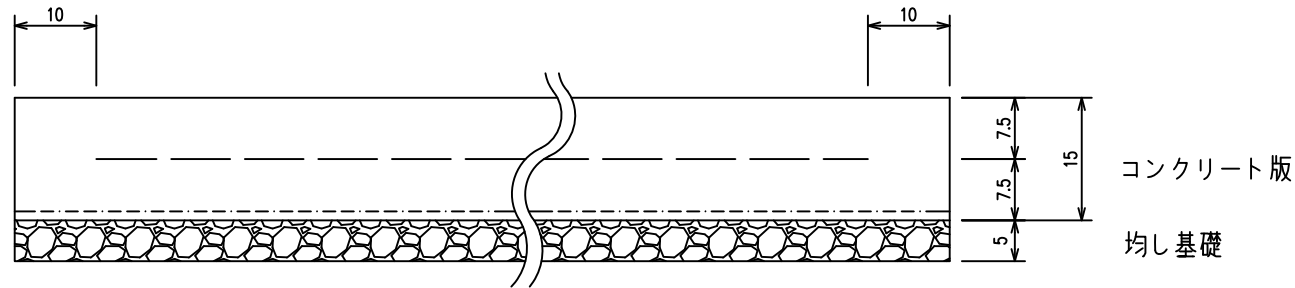
図面番号	54	平成23年
図名	コンクリート路面工 標準図	

単位 cm

コンクリート路面工



コンクリート路面詳細図



溶接金網 (6.0×150×150) — — — — —

路盤紙 — — — — —

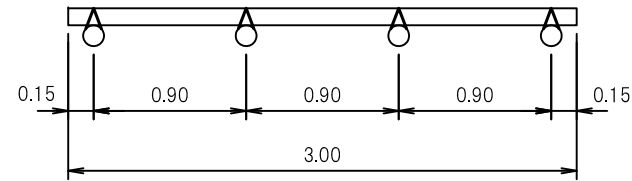
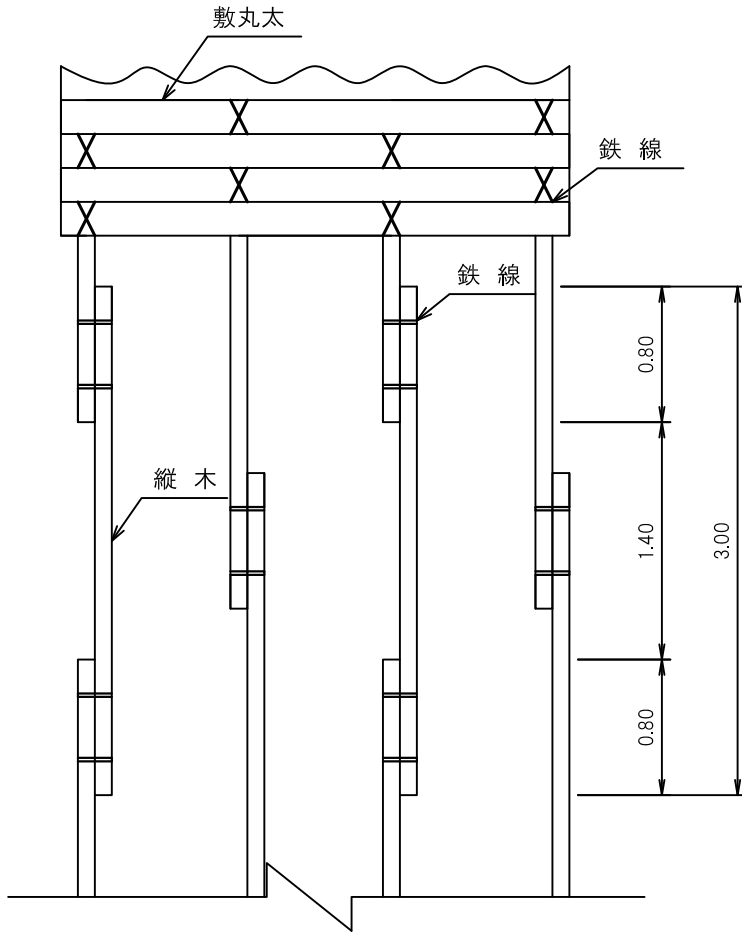
数量表 100㎡当たり

名称	規格	数量	単位	摘要
コンクリート	曲げ 4.5-6.5-40BB	15.0	m ³	ロスを含まない
路盤紙	クラフト紙	100.0	m ²	"
溶接金網	線径 6mm 網目 150×150mm	91.0	m ²	"
エラストイト	厚 10mm	1.8	m ²	" 概ね8m毎に設置
基礎碎石	Φ3~5cm 岩砕 Φ0~4cm 碎石(RC)	5.0	m ³	"
床堀	100.0×0.2m	20.0	m ³	

※ 基礎が岩盤の場合は、均し基礎・路盤紙は原則不要とする。
概ね8m毎に継目を設けること。

図面番号	55	平成13年
図名	丸太路盤基礎工 標準図	

単位 m



材 料 表

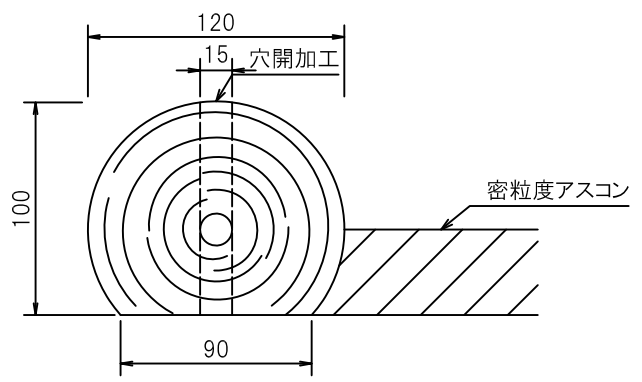
10m当たり

名 称	規格・寸法	単位	数 量	備 考
敷丸太	φ9~15cm L=3.0m	本	100.0	
縦 木	φ9~15cm L=3.0m	本	18.2	
鉄 線	#14 なまし	kg	8.8	

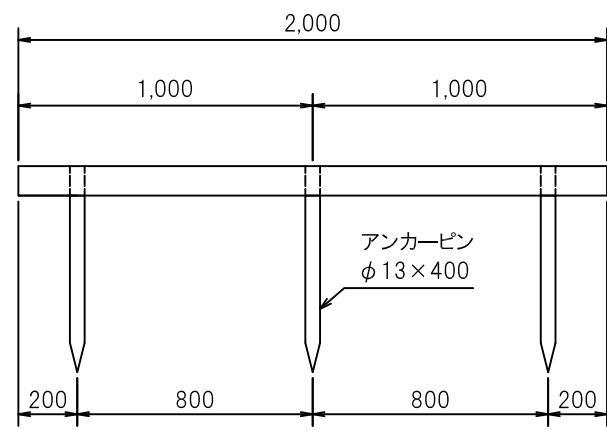
図面番号	56	平成23年
図名	木製カーブ 標準図	

単位 mm

断面詳細図



立面図

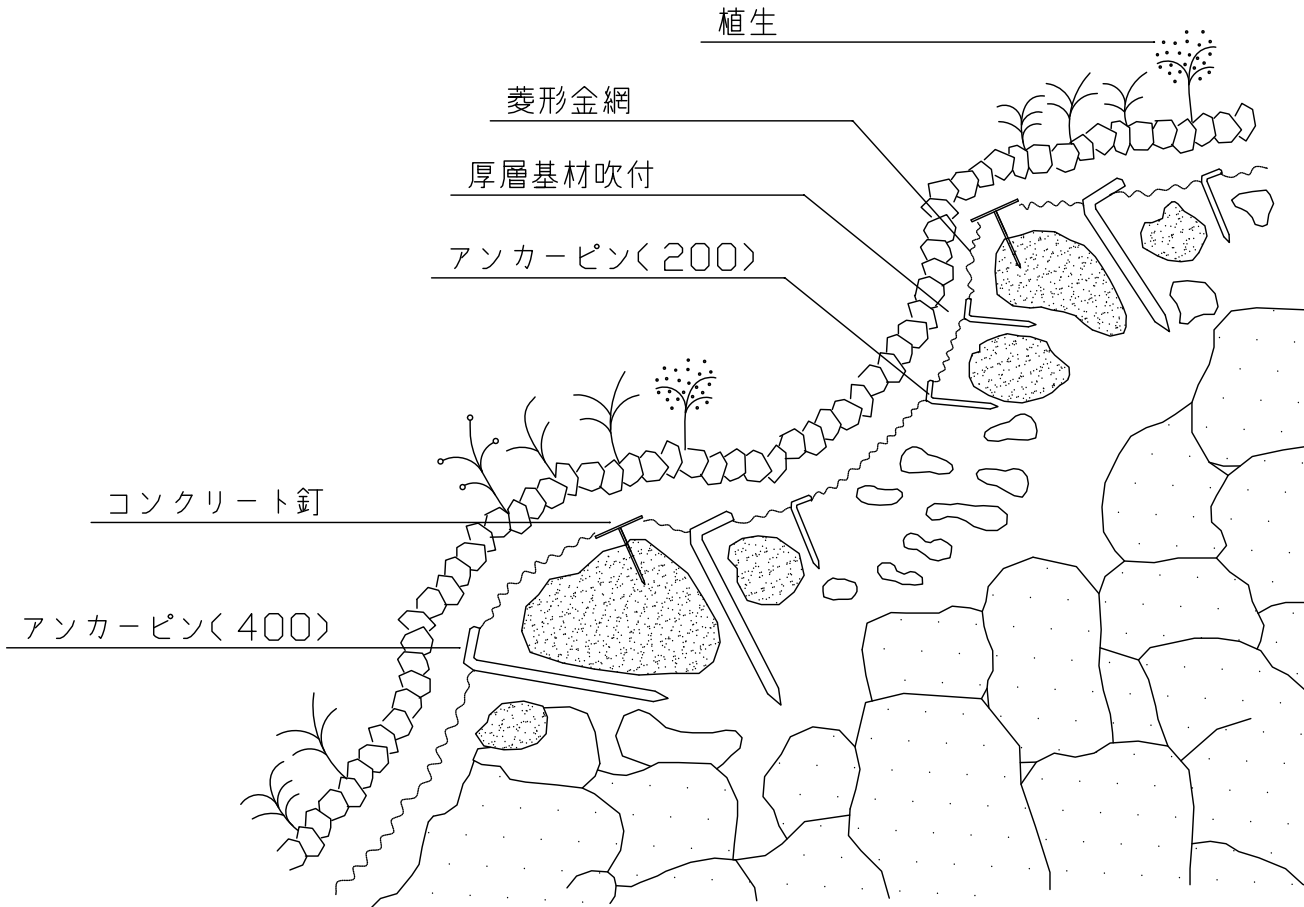


数量表

100m当たり

名称	規格・寸法	単位	数量	摘要
木材	スギ丸太 φ120×2,000	(本) m	(50) 1.5120	一面引き 必要に応じ防腐処理材
アンカーピン	鉄杭 φ13× 400	本	150	

図面番号	61	平成23年
図名	厚層基材吹付工 標準図	

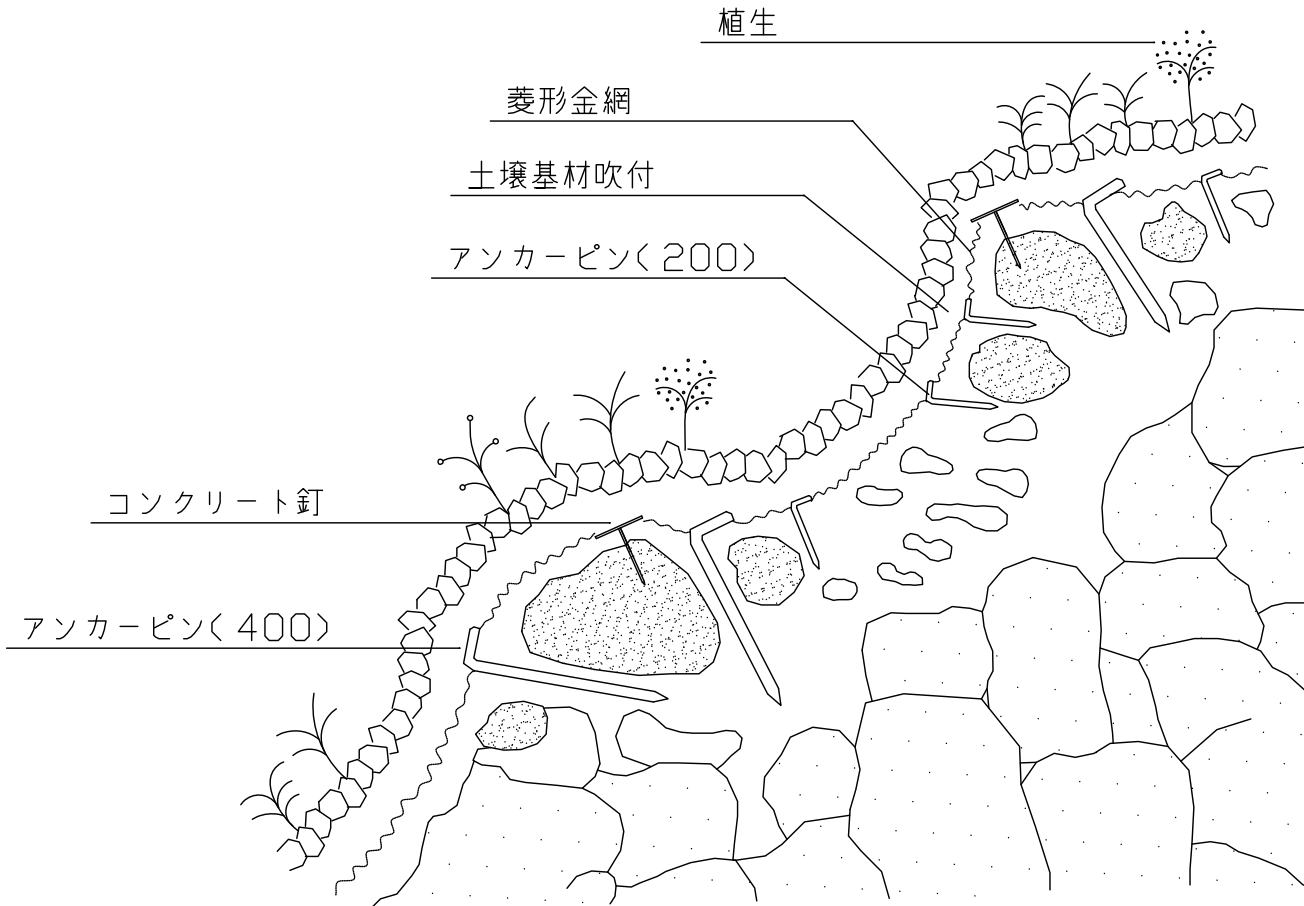


数量表

100㎡当たり

名称	規格	数量			単位	摘要
		3cm	5cm	7cm		
金網	線形 網目 菱形 2.0mm 50×50mm	140.0	140.0	140.0	㎡	ロスを含む
アンカーピン	径 16mm 長さ 400mm	30.0	30.0	30.0	本	
アンカーピン	径 9mm 長さ 200mm	150.0	150.0	150.0	本	
種子		1.0	1.0	1.0	式	別添吹付種子配合表による ロスは含まない
超緩効性肥料	N16-P5-K10	18.5	30.0	42.3	kg	ロスは含まない
土壌基材	ロックFB3号 同等品	6,000.0	10,000.0	14,000.0	L	〃
安定剤	ロックEC2号 同等品	12.3	20.0	27.7	kg	〃

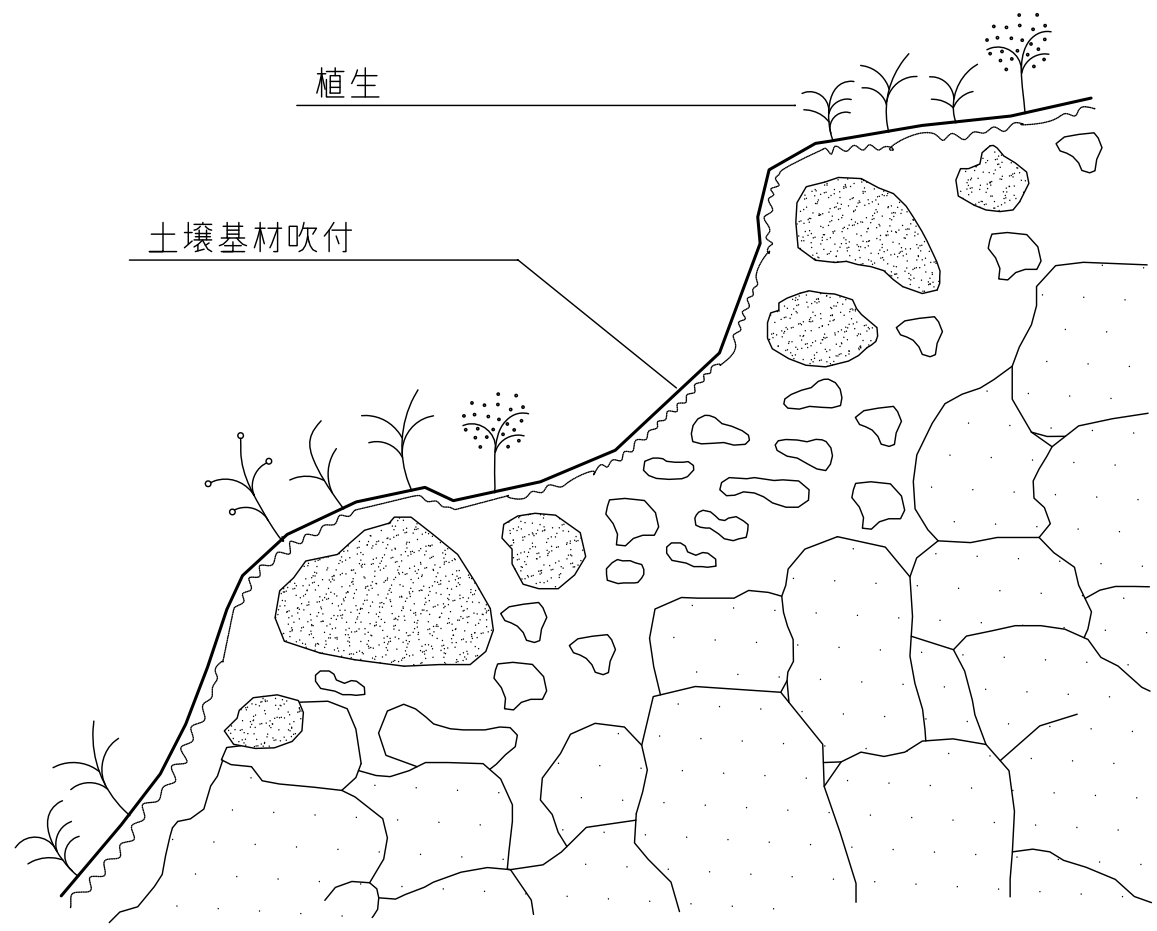
図面番号	62	平成23年
図名	客土吹付工 標準図	



数量表

100㎡ 当たり

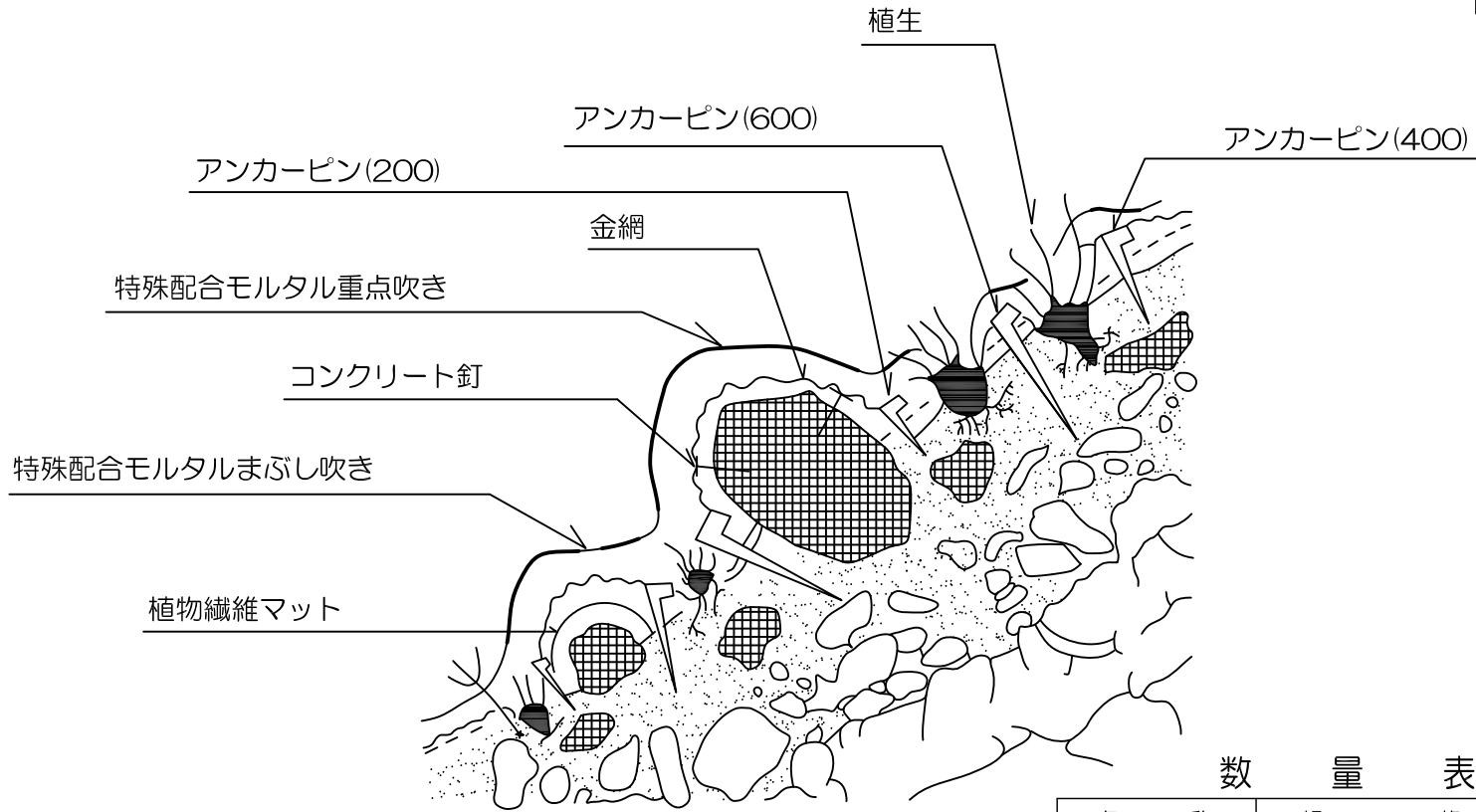
名称	規格	数量	単位	摘要
		1cm		
金網	線形 網目 菱形 2.0mm 50×50mm	140.0	㎡	ロスを含む
アンカーピン	径 16mm 長さ 400mm	30.0	本	
アンカーピン	径 9mm 長さ 200mm	150.0	本	
種子		1.0	式	別添吹付種子配合表による ロスは含まない
速効性肥料	N15-P15-K15	7.7	kg	ロスは含まない
超緩効性肥料	N16-P5-K10	3.8	kg	〃
土壌基材		1,250.0	L	〃
安定剤		3.8	kg	〃
養生材	ファイバー		kg	必要に応じて使用する ロスは含まない



数量表

100㎡当たり

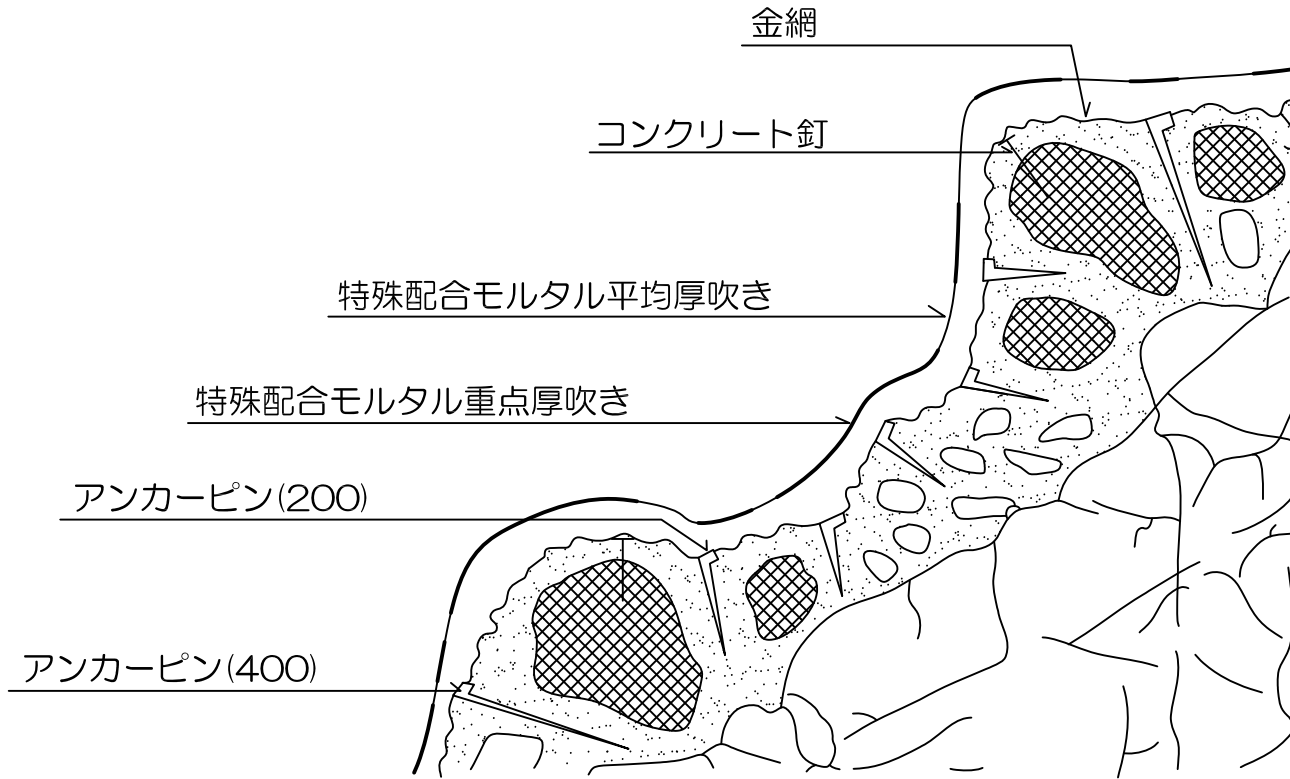
名称	規格	数量	単位	摘要
種子		1.0	式	別添吹付種子配合表による ロスは含まない
速効性肥料	N15・P15・K15	12.5	kg	ロスは含まない
超緩効性肥料	N16・P5・K10	4.2	kg	〃
土壌基材	ロックFB3号 同等品	41.7	L	〃
安定剤	ロックEC2号 同等品	0.8	kg	〃
養生材	ファイバー	12.5	kg	〃



数量表 100㎡当たり

名称	規格	数量	単位	摘要
特殊配合モルタル	特殊配合 混合液 セメント3.5 1	600.0	kg	
金網	亀甲 径 1.2mm 網目 40mm	140.0	㎡	ロスを含む
アンカーピン	径 13mm 長さ 600mm	50.0	本	
アンカーピン	径 13mm 長さ 400mm	50.0	本	
アンカーピン	径 9mm 長さ 200mm	300.0	本	
植物繊維マット	厚 1.0mm	110.0	㎡	種子肥料付の場合、種子吹付は行わない。ロスを含む
種子		1.0	式	別添吹付種子配合表による ロスは含まない
速効性肥料	N15・P15・K15	12.5	kg	ロスは含まない
超緩効性肥料	N16・P5・K10	4.2	kg	〃
土壌基材	ロックFB3号 同等品	41.7	L	〃
安定剤	ロックEC2号 同等品	0.8	kg	〃
養生材	ファイバー	12.5	kg	〃

図面番号	64-2	平成23年
図名	特殊モルタル吹付工B 標準図	

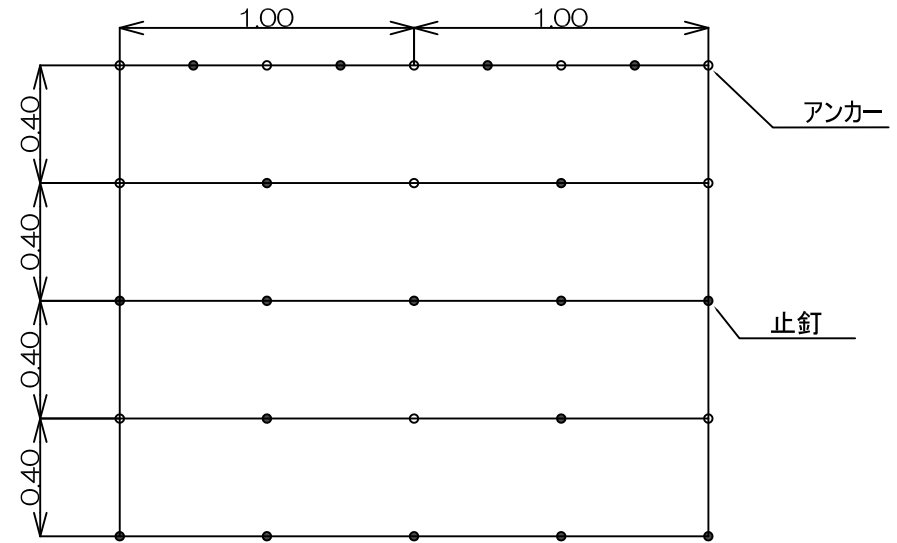
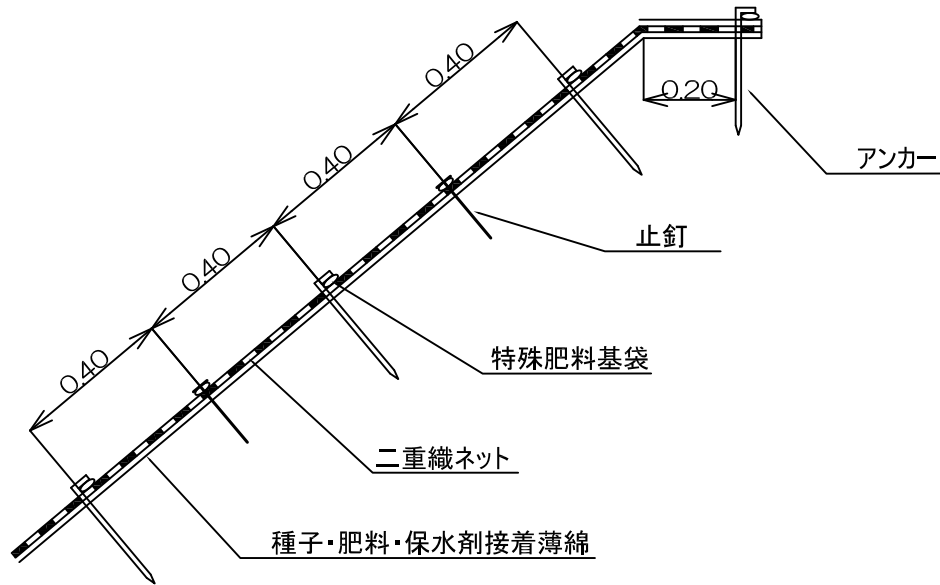


数量表

100㎡当たり

名称	規格	数量	単位	摘要
特殊配合モルタル	特殊配合 セメント3.5 混合液 1	1,000.0	kg	
金網	電甲 径 1.2mm 網目 40mm	140.0	㎡	ロスを含む
アンカーピン	径 13mm 長さ 400mm	100.0	本	
アンカーピン	径 9mm 長さ 200mm	300.0	本	

図面番号	65	平成23年
図名	植生ネット伏工 標準図	



数量表

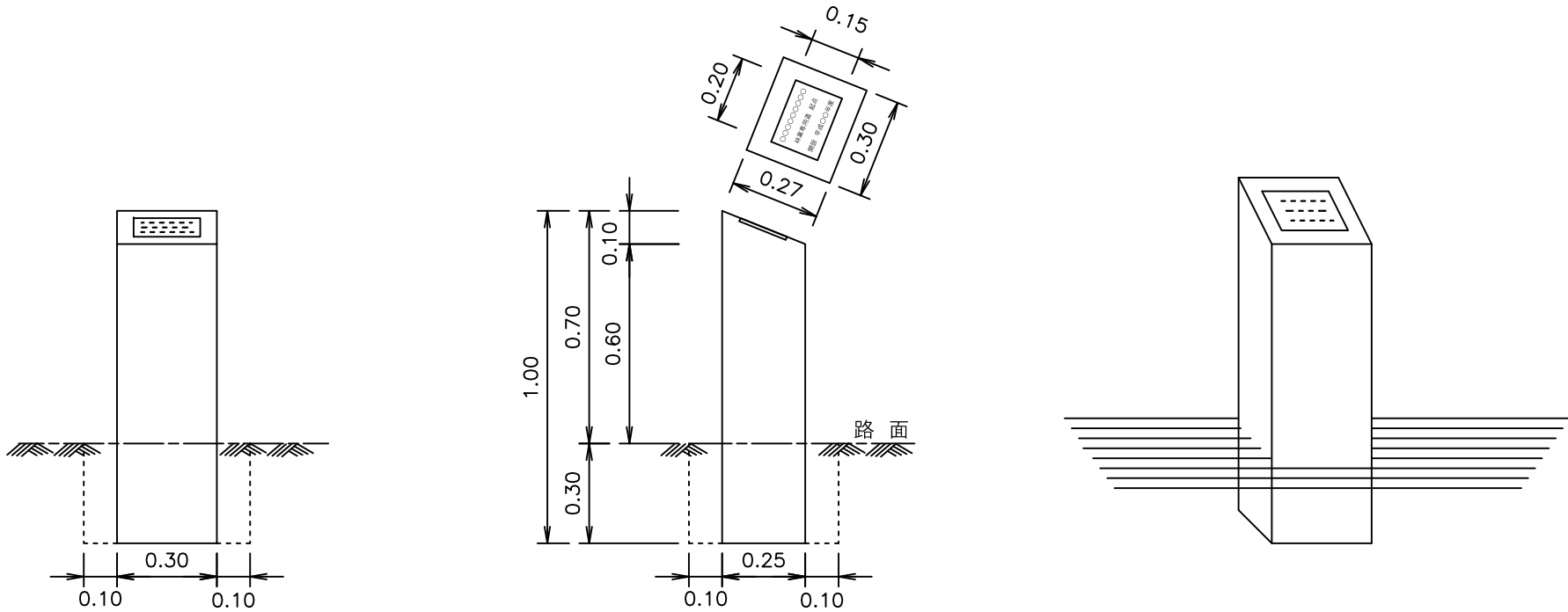
100m²当たり

名称	規格	数量	単位	摘要
肥料袋付ネット	ハリバカンガルー 同等品	120.00	m ²	ロス20%含む
アンカー	径 9mm 長さ 20cm	184.00	本	
止釘	かさ付 長さ 15cm	10.55	kg	422本/100m 2.5kg/100本

図面番号	69-1	令和元年
図名	林道標識 (起点) 標準図	

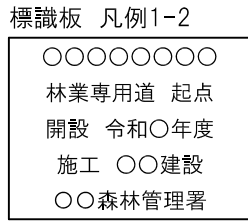
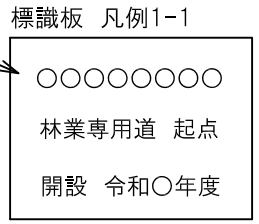
単位 m

S = 1/20



路線名
(○○線等)

最大行数(縦)=5
最大文字数(横)=8



数量表 1基当たり

標識板	1 枚
コンクリート	0.07m ³
型 枠	1.00m ²
床堀(礫質土)	0.07m ³
埋 戻	0.05m ³

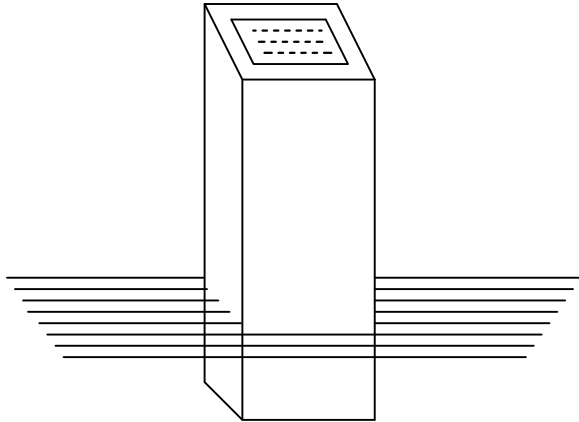
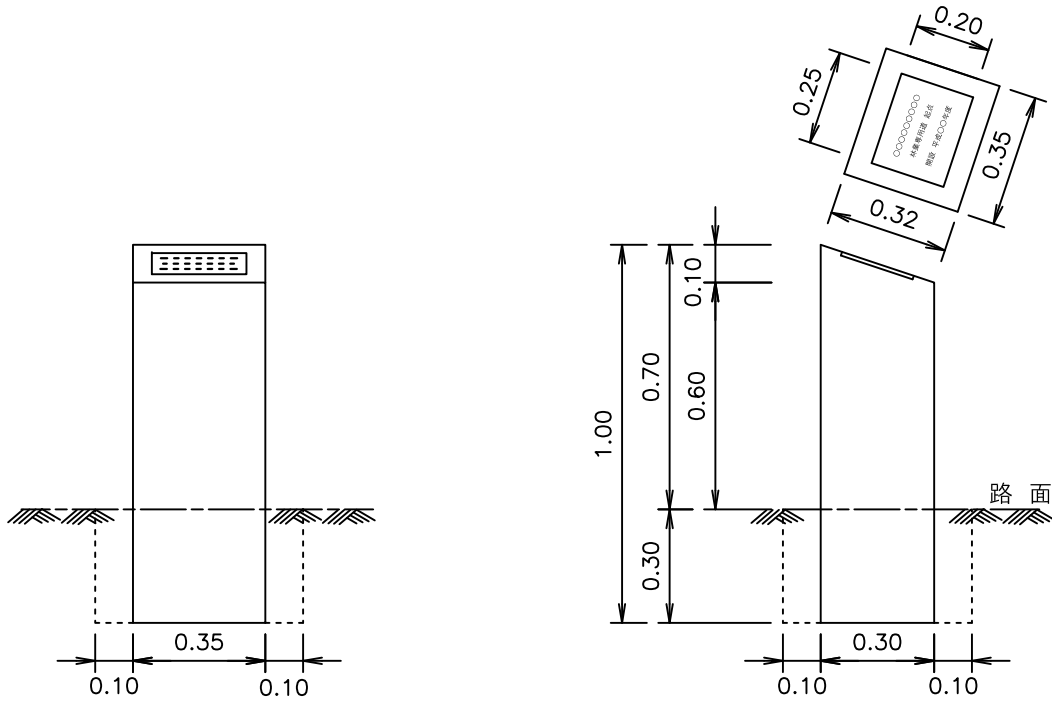
特記事項

標識板	アルミ軽合金 文字浮き上がり 20×15×1 cm (A型)
コンクリート	5号 25mm 18N/mm ²
<ul style="list-style-type: none"> 傾斜地に設置する場合は、最低床堀箇所の高さを0.3mとすること。 設置箇所が私有地となる場合は、所有者の承諾を得ること。 	

図面番号	69-2	令和元年
図名	林道標識 (起点) 標準図	

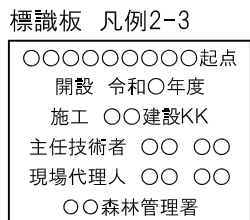
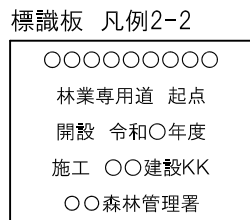
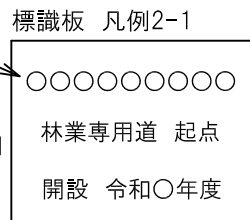
単位 m

S = 1/20



路線名
(○○線等)

最大行数(縦)=6
最大文字数(横)=11



数量表 1基当たり

標識板	1 枚
コンクリート	0.10m ³
型 枠	1.20m ²
床堀(礫質土)	0.08m ³
埋 戻	0.05m ³

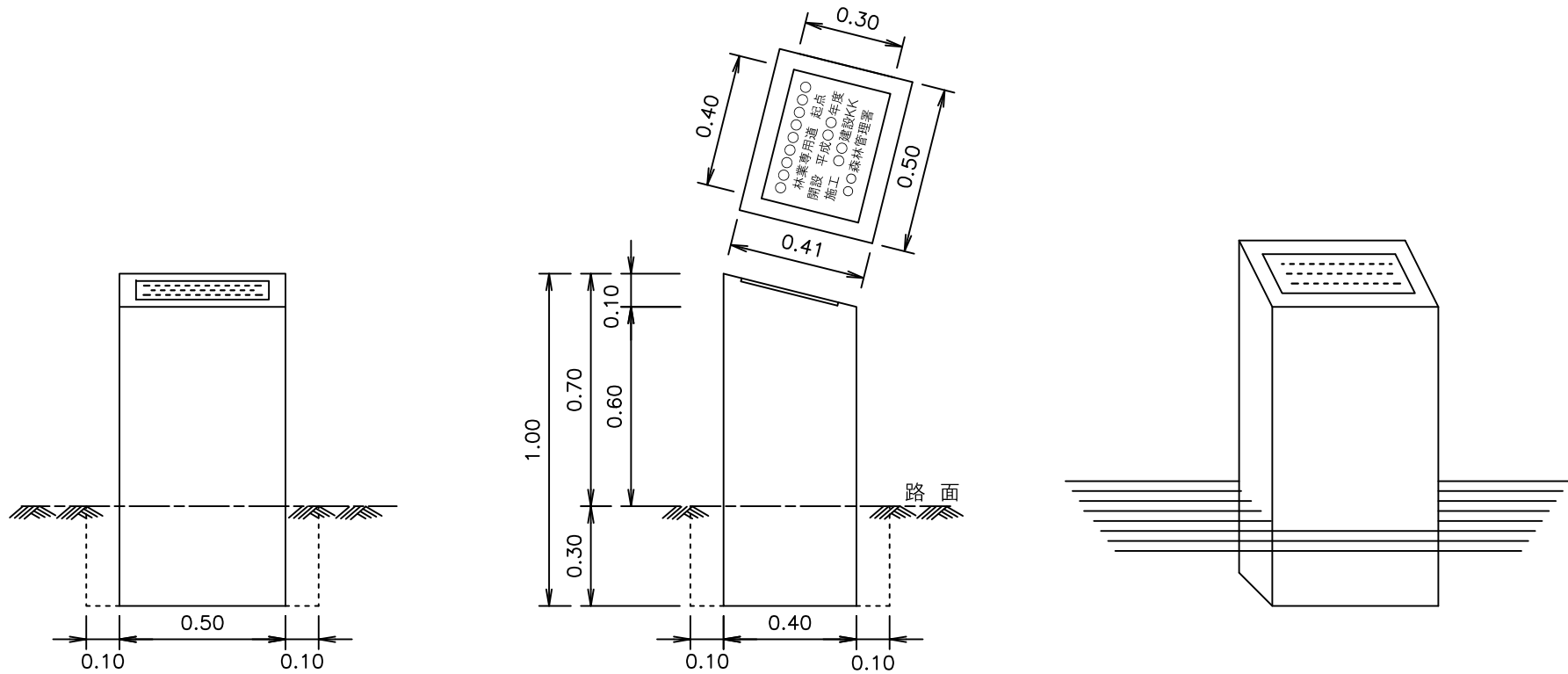
特記事項

標識板	アルミ軽合金 文字浮き上がり 25×20×1 cm (B型)
コンクリート	5号 25mm 18N/mm ²
<ul style="list-style-type: none"> 傾斜地に設置する場合は、最低床堀箇所の高さを0.3mとすること。 設置箇所が私有地となる場合は、所有者の承諾を得ること。 	

図面番号	69-3	令和元年
図名	林道標識 (起点) 標準図	

単位 m

S = 1/20



路線名
(○○線等)

最大行数(縦)=7
最大文字数(横)=12

標識板 凡例3-1

○○○○○○○○○
林業専用道 起点
開設 令和○年度
施工 ○○建設KK
○○森林管理署

標識板 凡例3-2

○○○○○○○○○
林業専用道 起点
開設 令和○年度
施工 ○○建設KK
主任技術者 ○○ ○○
現場代理人 ○○ ○○
○○森林管理署

数量表 1基当たり

標識板	1 枚
コンクリート	0.19m ³
型 枠	1.70m ²
床堀(礫質土)	0.13m ³
埋 戻	0.07m ³

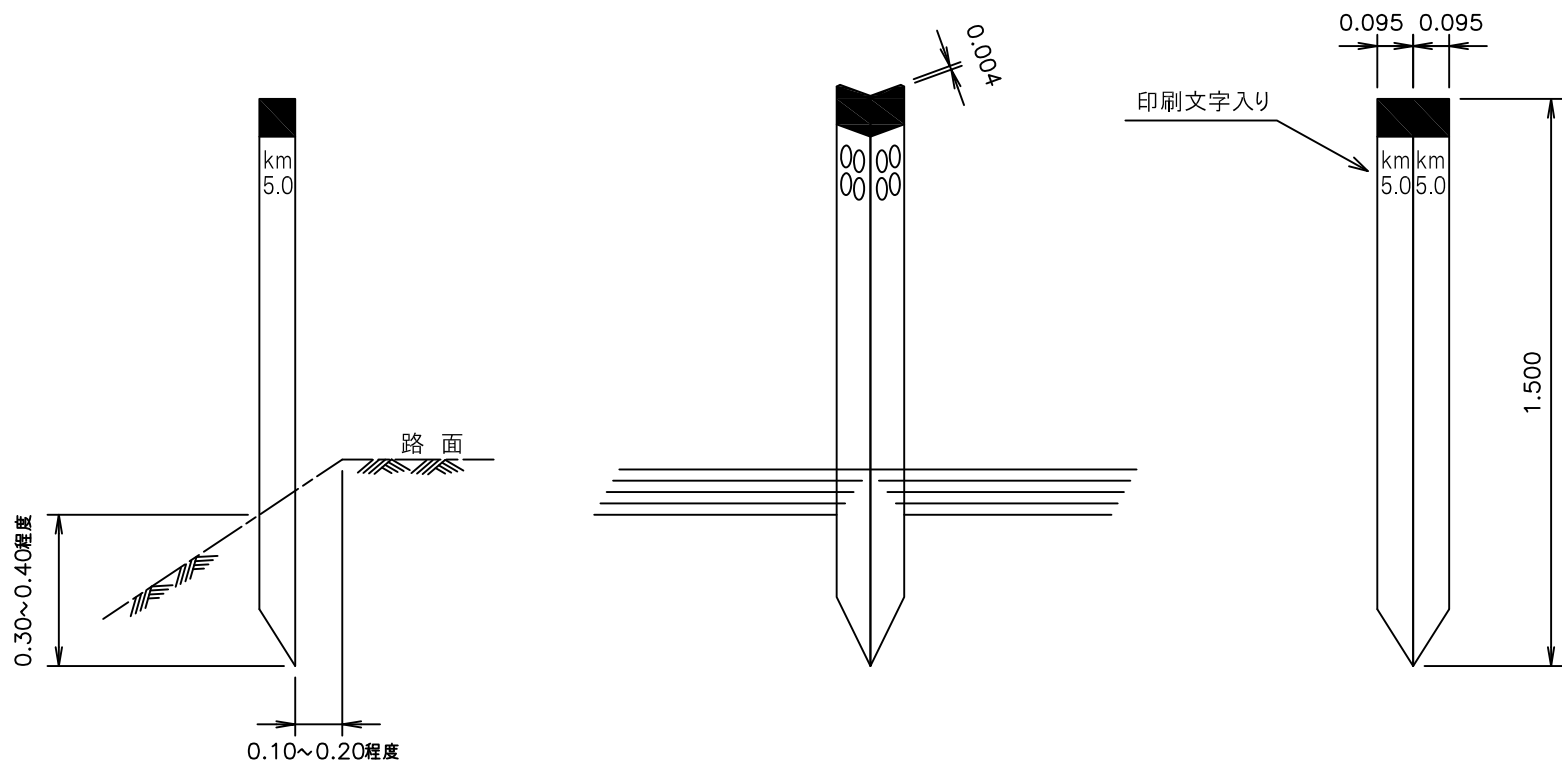
特記事項

標識板	アルミ軽合金 文字浮き上がり 40×30×1 cm (C型)
コンクリート	5号 25mm 18N/mm ²
<ul style="list-style-type: none"> ・ 傾斜地に設置する場合は、最低床堀箇所の高さを0.3mとすること。 ・ 設置箇所が私有地となる場合は、所有者の承諾を得ること。 	

図面番号	70	平成23年
図名	林道標識 (距離標) 標準図	

単位 m

S = 1/20

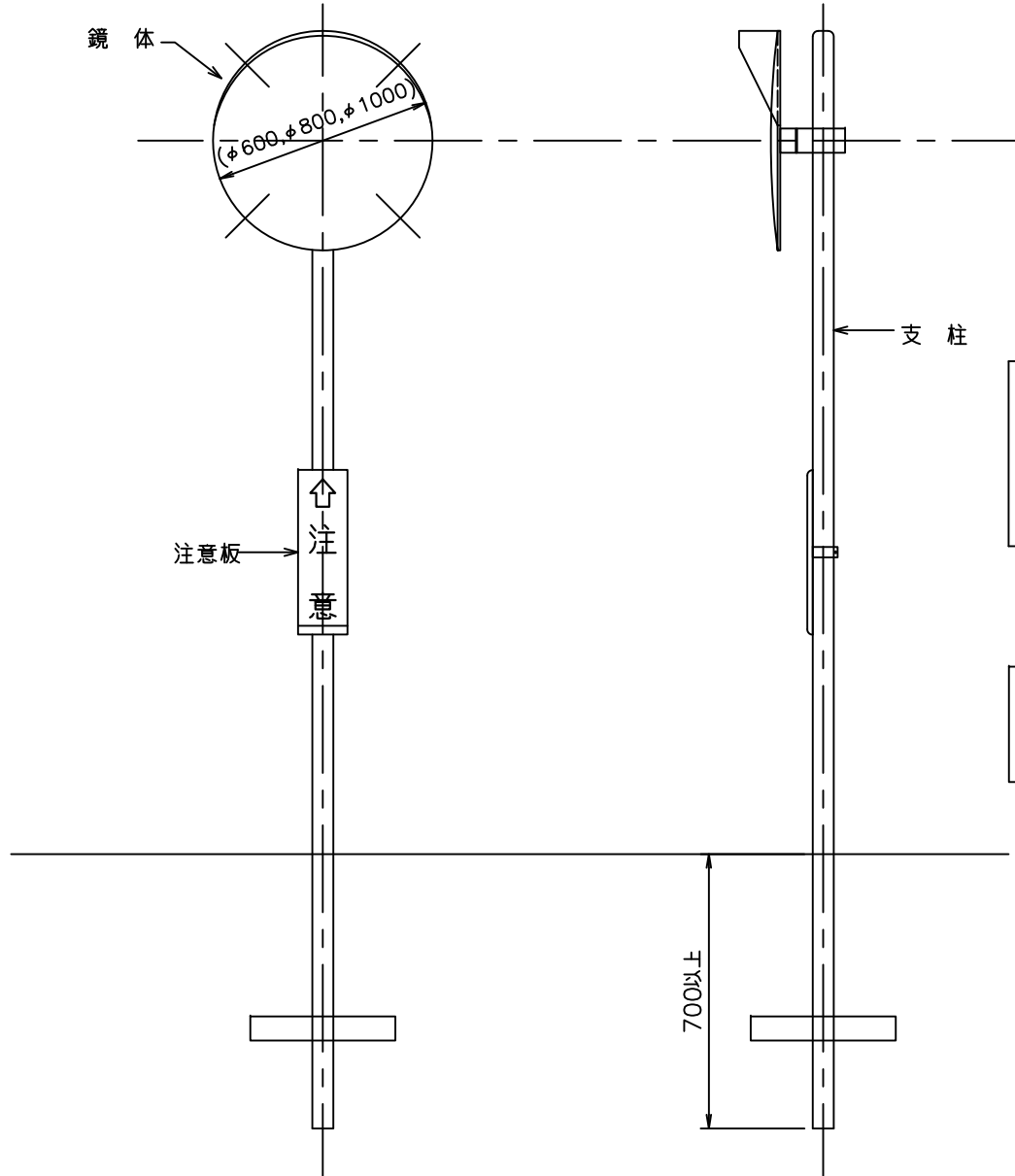


特記事項

距離標	L型 4×95×95×1,500 mm 印刷文字入り
<ul style="list-style-type: none"> ・ 設置間隔は0.5km毎を目安とする。 ・ 打ち込みの際、頂部が欠損しないよう留意すること。 	

図面番号	71	平成3年
図名	カーブミラー設置工 標準図	

単位 mm



指定事項	品名	材質	規格 (道路反射鏡設置基準適合品)
	鏡体	ステンレス	丸 φ600×0.8、φ800×0.9、φ1000×1.0
	支柱	鋼管 STK41	φ76.3×2.3×3500、φ76.3×3.2×4000
	注意板	アルミ板	600×180×1.0 全面反射 取付バンド2個

特記事項

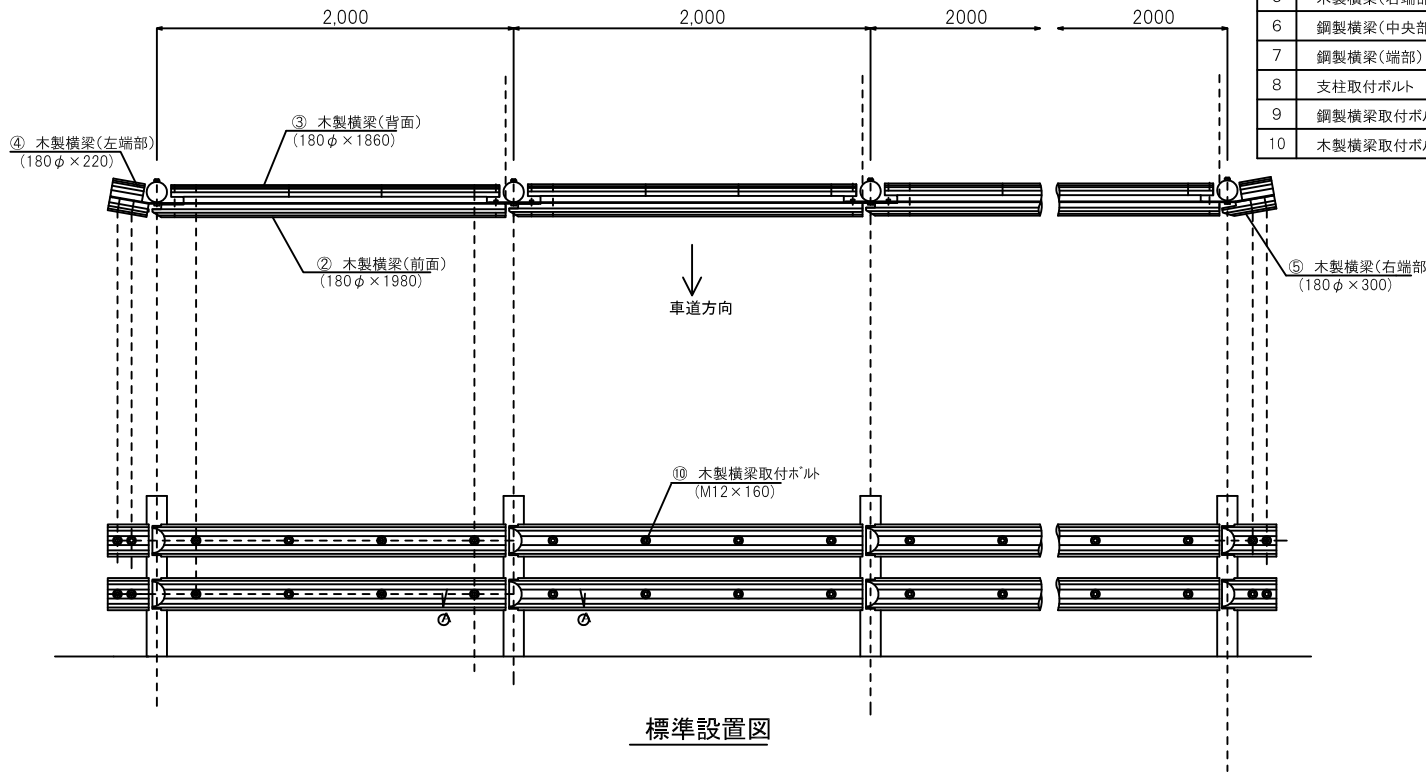
1. 通常は、丸φ800×0.9とする。
2. 支柱の長さは、現地の実態に応じて選択するものとする。

木製ガードレール

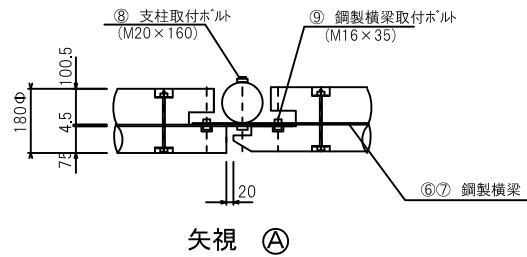
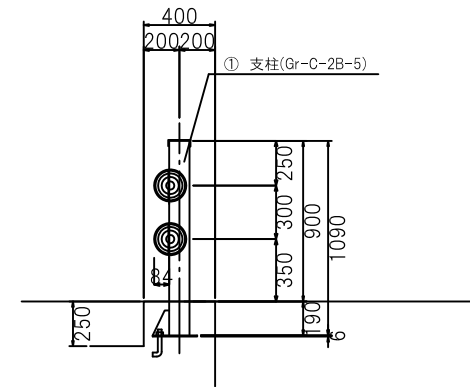
単位 mm

部材一覧表(10m当り)

番号	部材名	形状・寸法	材質	数量	
1	支柱(Gr-C-2B-5)	114.3φ×1090		6	塗装
2	木製横梁(前面)	180φ×1980	杉	10	防腐処理+塗装
3	木製横梁(背面)	180φ×1860	杉	10	防腐処理+塗装
4	木製横梁(左端部)	180φ×220	杉	2	防腐処理+塗装
5	木製横梁(右端部)	180φ×300	杉	2	防腐処理+塗装
6	鋼製横梁(中央部)	PL4.5×177×2240	SS400	6	HDZ55
7	鋼製横梁(端部)	PL4.5×177×2390	SS400	4	HDZ55
8	支柱取付ボルト	M20×160(B,N,2W,SW)	強度区分4.8	12	HDZ35
9	鋼製横梁取付ボルト	M16×35(B,N,2W,SW)	強度区分8.8	32	国土交通省認定品(8T)
10	木製横梁取付ボルト	M12×160(B,N,2W)	強度区分4.8	48	HDZ35



標準設置図



矢視 (A)

木材特記事項

材質	杉材
加工	丸太材はロータリー加工
木材の保存処理仕様	注入前処理 深浸潤特殊・圧縮処理加工
	加圧注入処理 JIS A 9002Iによる
	保存処理薬剤 マイトレックACQ(JIS K 1570,ACQ-1)
	品質規格 JASK4,AQ屋外製品部材(吸収量5.2kg/m3以上)